エレクトロマルチビジョン取扱書

よくお読みになってご使用ください。

取扱書は車の中に保管しましょう。

TOYOTA

ELECTRO MULTIVISION

●本書は、エレクトロマルチビジョンの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
●トヨタ販売店で取りつけられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

- 車をゆずられるときは次のオーナーのために本書を車につけておいてください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。

本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
本書の画面と実際の画面は、地図ＤＶＤ－ＲＯＭの作成時期・種類等によって異なることがあります。

お使いになる前の注意事項

ＧＰＳボイスナビゲーションについて

ＧＰＳボイスナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

表示について

本書でのスイッチ表示

- フロント エレクトロマルチビジョン本体（画面外）のスイッチは、 ○○○ （ 現在地 ・ テレビ など）でスイッチ名称を表示しています。
- 画面のスイッチ（タッチスイッチ）は、 ○○○ でスイッチ名称を表示しています。
- ナビリモコンのスイッチ・リヤオーディオコントローラーのスイッチは、 ○○○ でスイッチ名称を表示しています。
- ＤＶＤ・テレビリモコンのスイッチは、 ○○○ でスイッチ名称を表示しています。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」や「車両の故障や破損につながるおそれがあること」と、その回避方法を下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、必ず読んで遵守してください。

⚠ 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること
⚠ 注意	記載事項を守らないと、傷害、車両の故障や破損につながるおそれがあること

その他の表示

「知っておくと便利なこと」、「知っておいていただきたいこと」を下記の表示で記載しています。

知 識	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

イラストのマークについて

してはならない行為を示すイラストには、下記のマークが記載されています。

🚫	してはならない行為

操作について

フロント エレクトロマルチビジョンは、おもに画面のスイッチ（タッチスイッチ）に直接タッチして、操作します。

●画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
●スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
●操作できないタッチスイッチは、灰色になります。

スイッチの機能が働いているときは、以下のようになります。

●タッチスイッチの色が明るくなる
●タッチスイッチに作動表示灯があるものは、作動表示灯が点灯する

1つ前の画面に戻すときは、 戻る にタッチします。
タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

リヤ エレクトロマルチビジョンは、ＤＶＤ・テレビリモコンおよびナビリモコンを使用して、ディスプレイに表示されているタッチスイッチを操作します。

地上デジタルテレビの操作は、フロント エレクトロマルチビジョン、リヤ エレクトロマルチビジョンともにＤＶＤ・テレビリモコンを使用して、ディスプレイに表示されているスイッチを操作します。

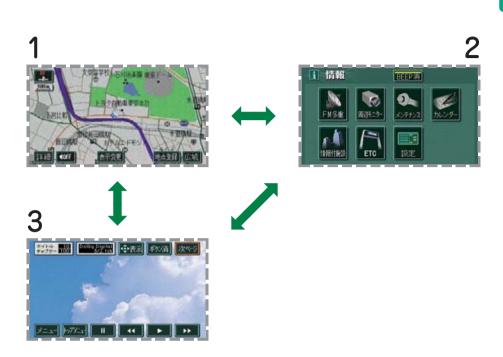
運転者は走行中に極力操作をしないでください。

●安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
●走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートが表示されることがあります。

操作できないタッチスイッチは、灰色になり、タッチしても操作できません。

エレクトロマルチビジョンについて

エレクトロマルチビジョンでできること

	モード	主な機能	記載場所
1	GPSボイスナビゲーション	●現在地の表示 ●目的地への案内 ●メモリ地点の登録 ●ＶＩＣＳ情報の地図への表示	24～242ページ
2	情報	●ＦＭ多重放送の受信 ●メンテナンス機能の設定 ●施設の情報の検索	391～419ページ
3	デジタルテレビ	●地上デジタルテレビ放送の受信	244～291ページ
	DVDプレーヤー	●ＤＶＤプレーヤーの操作	293～344、492ページ

1～3のどのモードからでも、ほかの希望のモードへの切り替えが可能です。

作動条件

次の条件（エンジン スイッチの位置など）により操作できるときと、できないときがあります。
○：操作できます。
×：操作できません。

エンジンスイッチ／モード	“LOCK”	“ACC”	“ON”停車中	“ON”走行中
GPSボイスナビゲーション／情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
デジタルテレビ	×	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。
バックガイドモニター	×	×	○ エンジン回転中でシフトレバーが🅡のときのみ。※	○ シフトレバーが🅡のときのみ。

※エンジン停止中は表示のみ。

ＤＶＤプレーヤーの作動条件については、294ページをご覧ください。

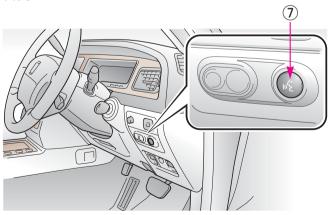
各部の操作

Ⅰ 操作スイッチ

■インパネ中央

ここに7ページの各画面が映り、画面のタッチスイッチに直接タッチして、操作します。

●デジタルテレビはリモコンを使用して操作します。（タッチスイッチに直接タッチしても、操作することはできません。）

■インパネ右側

①現在地スイッチ…………ナビゲーション画面で現在地を表示させるときなどに使用します。
②目的地設定スイッチ……目的地を設定するときに使用します。
③メニュースイッチ………ナビゲーションの設定をするときに使用します。
④情報スイッチ……………情報画面を表示させるときに使用します。
⑤画質・消スイッチ………17ページ
⑥テレビスイッチ…………デジタルテレビ／ビデオ操作画面を表示させるときに使用します。
⑦トークスイッチ…………347ページ

 （タッチスイッチ）…… 画面に直接タッチして操作します。

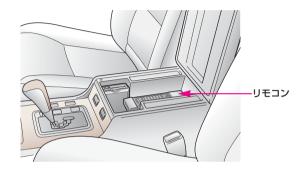
⚠注意	画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。 手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

知 識

●液晶ディスプレイは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
●太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
●偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

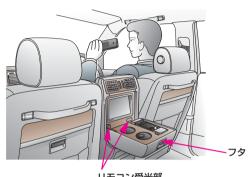
Ⅱ ＤＶＤ・テレビリモコン

収納場所

前席用ＤＶＤ・テレビリモコンはフロントコンソールボックスに収納されています。

後席用リモコンについては、「リヤ エレクトロマルチビジョン」（484ページ）をご覧ください。

リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときにリモコンが足下に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

操作のしかた

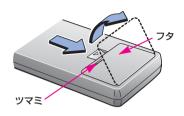
リヤコンソールのフタが開いている状態（487ページ参照）で、リモコンを後方に向けて操作します。

後席用リモコンと同時に操作をしないでください。誤操作の原因になります。

警告

運転者は運転中にリモコンを操作しないでください。リモコンを落とし、ブレーキペダルなどの下に入り込むと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意　**リモコンの取り扱いにはご注意ください。**

●リモコンは、高温になる場所（インパネ上面など）に長時間、放置しないでください。
●リモコンを落としたり、衝撃をあたえないでください。
●リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
●リモコンを分解しないでください。
●受光部にリモコンを近づけないと操作できないときは、電池を交換してください。
●受光部に直接日光が当たると、リモコンの操作ができないことがあります。このときは、受光部の日光をさえぎってから操作してください。

電池の入れ方

1 リモコンの裏側のツマミを押しながら、フタを開けます。

2 単3形乾電池を、向きに注意して図のように入れます。

3 フタを閉めます。

注意　**電池の取り扱いにはご注意ください。**

- 電池の⊕極と⊖極は必ず正しい向きにして取りつけてください。
- 電池を交換するときは2個とも新品の同銘柄のものに交換してください。

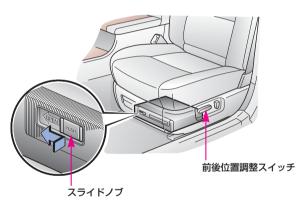
Ⅲ 地図ＤＶＤ－ＲＯＭの出し入れ

次の要領でナビゲーションユニット内に収納されている地図ＤＶＤ－ＲＯＭの出し入れを行うことができます。
ナビゲーションユニットは助手席シート下に取りつけられています。

取り出すには

1 エンジン スイッチを“ＡＣＣ”にします。

2 助手席シートの前後位置調整スイッチを操作して、シートを一番うしろの位置にします。

3 ナビゲーションユニットのスライドノブを押しながら左にスライドさせると、ＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口が開き、地図ＤＶＤ－ＲＯＭが自動で排出されます。

4 地図ＤＶＤ－ＲＯＭを挿入口から取り出したあと、スライドノブを右にスライドさせて、ＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口を閉めます。

地図ＤＶＤ－ＲＯＭが完全に排出される前にスライドノブを右にスライドさせないでください。（ＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口を閉めようとしないでください。）故障の原因になります。

挿入するには

1 ＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口を開けます。（前ページ参照）

2 地図ＤＶＤ－ＲＯＭのラベル面を上にしてＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口に挿入します。

3 スライドノブを右にスライドさせ、ＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口を閉めます。

注意　**地図ＤＶＤ－ＲＯＭの取り扱いにはご注意ください。**

●地図ＤＶＤ－ＲＯＭは直射日光を避けて保管してください。地図ＤＶＤ－ＲＯＭがそり、使用できなくなるおそれがあります。
●地図ＤＶＤ－ＲＯＭを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
●レンズクリーナーを使用すると、ナビゲーションユニットのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
●地図ＤＶＤ－ＲＯＭのよごれは、プラスチック用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、地図ＤＶＤ－ＲＯＭが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
●信号面（ラベルが印刷されていない側）に直接触れると、地図ＤＶＤ－ＲＯＭがよごれ、エラーの原因となることがありますので、必ず地図ＤＶＤ－ＲＯＭの中心の穴と端を挟んで持つか、地図ＤＶＤ－ＲＯＭの両端を挟んで持ってください。
●地図ＤＶＤ－ＲＯＭにボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールを貼りつけないでください。
●地図ＤＶＤ－ＲＯＭはナビゲーションユニット内部で高速回転しますので、ヒビがはいったり、大きくそった地図ＤＶＤ－ＲＯＭは使用しないでください。ナビゲーションユニットの故障の原因になります。
●ＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口には地図ＤＶＤ－ＲＯＭ以外の物を挿入しないでください。故障の原因になります。
●ＤＶＤ－ＲＯＭ挿入口を開けたままで使用しないでください。故障の原因になります。

Ⅳ 画面の調整

画質調整

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。
（初期状態）
●ライト消灯時…〈昼画表示〉
●ライト点灯時で周囲が暗いとき…〈夜画表示〉

●昼画表示〈ライト消灯時〉

●夜画表示〈ライト点灯時〉

知 識

●メーター明るさ調整ダイヤルを右にいっぱいにまわした位置（“カチッ” と音がする位置）にすると、ライト点灯時でも昼画表示になります。メーター明るさ調整ダイヤルについては、**「センチュリー取扱書」**の**「計器類」**の項目をご覧ください。
●夜画表示への切り替えは、ライトの点灯と周囲の暗さの両方を判断して行います。
したがって、周囲が明るいとき（昼間など）にライトを点灯しても、夜画表示には切り替わりません。

●ナビゲーションなどの画質調整画面例（ライト点灯時の昼画表示）

●ＤＶＤなどの画質調整画面例（ライト点灯時の昼画表示）

画質・消（10ページ参照）を押します。

●画質調整画面の操作については次ページをご覧ください。

●調整完了にタッチする、または約20秒以上操作しなかったときは、画質調整画面は自動的に解除されます。

ライト点灯時に昼画表示にするには

昼画面にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●昼画表示のときは、タッチスイッチの作動表示灯が点灯します。

知識

ライト消灯時の画質調整画面には昼画面は表示されません。

画面を消すときは

フロント エレクトロマルチビジョンの画面を消すときは、 画面消 にタッチします。

●再度、画面を表示させるには、フロント エレクトロマルチビジョン本体の各モードのスイッチを押します。

知 識

画面を消しても、ＧＰＳによる現在地測位は継続されています。

リヤ エレクトロマルチビジョンの画面を消すときは、 後席ＯＦＦ にタッチします。

●画面が消えているときは、タッチスイッチの作動表示灯が点灯します。

●再度、画面を表示させるには、再度この画面で、 後席ＯＦＦ にタッチする、またはＤＶＤ・テレビリモコン、ナビリモコンの各モードのスイッチを押します。

画質調整

■色合い※

緑色を強くするときは 緑 、赤色を強くするときは 赤 にタッチします。

■色の濃さ※

色を濃くするときは 濃 、色を淡くするときは 淡 にタッチします。

■コントラスト

強くするときは 強 、弱くするときは 弱 にタッチします。

■明るさ

明るくするときは 明 、暗くするときは 暗 にタッチします。

※色合い、色の濃さは、ＤＶＤなどの映像を表示しているときに調整できます。
　ナビゲーション画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

知 識

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

ワイド画面モード切り替え

●ワイド画面モード切り替え画面

1 デジタルテレビ／ビデオ操作画面（254ページ参照）で、設定 にタッチします。

2 Normal ・ Wide 1 ・ Wide 2 のいずれかにタッチして、ワイド画面モードを選択します。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

●標準画モード（Ｎｏｒｍａｌ）

■標準画モード（Ｎｏｒｍａｌ）

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。

●ワイド1画モード（Ｗｉｄｅ 1）

■ワイド1画モード（Ｗｉｄｅ 1）

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。

●ワイド2画モード（Ｗｉｄｅ ２）

■ワイド2画モード（Ｗｉｄｅ ２）

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

＊お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

V アンテナ

ナビゲーション用（GPSアンテナ）

インストルメントパネル中央に内蔵されています。

インストルメントパネル上やウインドウガラス面には、次の物を設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。詳しくは、**「GPSについて」**（39ページ参照）をご覧ください。

●金属を含有するウインドウフィルム
●その他の金属物（トヨタ純正品以外の電子機器やアンテナなど）

デジタルテレビ用

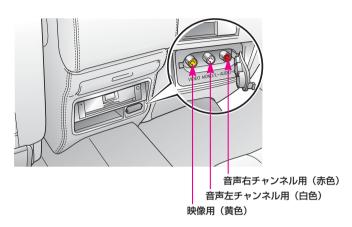
デジタルテレビ用アンテナはフロントウインドウガラス貼りつけ、およびリヤウインドウガラス埋め込みです。

⚠注意 **ウインドウガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。**

●ウインドウガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。
次のような取り扱いをすると、アンテナを傷めたり故障するおそれがあります。
- ガラスクリーナーを使用したり爪などでこすらないでください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性のものでふかないでください。
- アンテナ部からコードを取りはずしたり、コネクタ部に力をかけないでください。

●ウインドウガラスのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
- 金属を含有するウインドウフィルム
- その他の金属物（トヨタ純正品以外のアンテナなど）

Ⅵ ビデオ端子

市販の機器(ビデオなど）を接続することができます。
●リヤコンソールタワー下部にあります。

1 市販の機器の出力ケーブルを接続します。

2 フロント エレクトロマルチビジョン本体の テレビ を押す、またはＤＶＤ・テレビリモコンのＤＶＤ・テレビ切替スイッチがテレビ側になっていることを確認し、 テレビ を押します。
- ●フロント エレクトロマルチビジョンの画面では、 決定 にタッチすると操作画面が解除されます。（254ページ参照）
- ●フロント エレクトロマルチビジョンの画面では、 設定 にタッチすると画面モードを切り替えることができます。（20ページ参照）

3 接続した機器を再生します。

4 ＤＶＤ・テレビリモコンの ビデオ を押します。

■接続した機器を取りはずすときは

1 ＤＶＤ・テレビリモコンの ビデオ を押します。

2 接続した機器の再生を停止して、取りはずします。

知 識

●接続する機器がモノラル（音声出力端子が1本）のときは左チャンネル用音声入力端子に接続してください。
●接続機器の取り扱い説明書をよくお読みください。
●接続する機器などの電源は、ビデオなどに付属されているバッテリー等を使用してください。

ＧＰＳボイスナビゲーション

Ⅱ 目的地案内 …………120

Ⅲ　地点の登録 …………184

※電波ビーコン・光ビーコンは、販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したときのみ受信することができます。

まずやってみましょう!!

目的地をセットして案内を開始させてみましょう

START!

1 目的地の地図を呼び出します。

目的地設定スイッチを押します。

2

施設にタッチします。

※ここでは施設からの呼び出し方法で説明しています。その他の呼び出し方法についてはP.98をご覧ください。

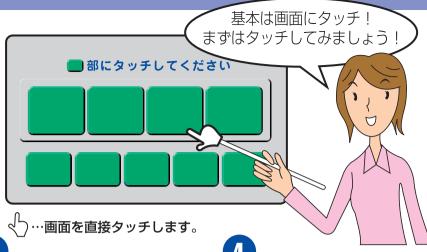
自動的にルートを探索します。

7 案内を開始させます。

案内開始にタッチします。

●現在地スイッチを押す、または走行を開始し、約3秒以上経過することによっても自動的に案内を開始します。

…画面を直接タッチします。

3

呼び出したい
施設のジャンルにタッチします。

4

呼び出したい施設がある
都道府県名（路線名）に
タッチします。

5

呼び出したい
施設名称にタッチします。

目的地を決定します。

6

目的地セットにタッチ
します。

（やりたい事への道案内）

ルートを変更したい
- ●探索条件の変更 P140
- ●目的地の消去 P142

地図画面の見方が知りたい
- ●ナビゲーション画面の見方 P36
- ●交差点案内 P154

目的地までのルートを確認したい
- ●ルート情報（案内道路情報） P133
- ●全ルート図表示 P128

地図表示画面を変えたい

- ●タッチスイッチの表示 P60
- ●地図縮尺の切り替え P62
- ●市街図表示 P64
- ●地図の表示色の切り替え P69
- ●地図向きの切り替え P70
- ●フロントワイド表示 P71
- ●２画面表示 P73
- ●３Ｄ表示 P76
- ●ビジュアルシティマップ表示 P83

目的地案内を中止したい
- ●目的地案内の中止 P153

●出入口ＩＣの指定 P144 ●目的地の追加 P137 ●目的地の並び替え P140
●通過道路の指定 P146 ●通過道路の修正 P148 ●通過道路指定の解除 P150

高速道路に入ったら表示が変わった

●ハイウェイモード P66
●高速分岐案内 P167
●都市高速マップ P170

地図を移動させたい

●地図の移動
（ワンタッチスクロール）
P58

ルートから外れた

●ルートの再探索
P181

施設の目印を出したい

●立体ランドマークの表示 P86
●施設の表示 P92

こんなときは

目的地を自宅にしたい

自宅の登録 P99 P184

自宅登録で一発探索

気に入った場所を登録したい

メモリ地点の登録・特別メモリ地点の登録 P184

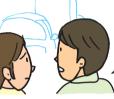
メモリ地点登録でお気に入りをつくる

前回行った目的地にもう一度行きたい

目的地履歴 P99 P112

目的地履歴ですぐに探索！

この道（場所）を避けたい

迂回メモリ地点の登録 P202

迂回メモリ登録で楽しくドライブ

施設や観光地の情報を知りたい

施設の情報の検索 P409

情報付施設検索で情報をゲット

現在地が実際の走行とずれている

補正が必要なとき P206

ナビの補正でキッチリ表示

こんなときは

音声を大きくしたい

音声の設定 P54

よく聞こえないよー

音を大きくしよう！

音声設定でお好みの音量に

他に駐車場ないかな

提携駐車場の検索 P116

駐車したいけど…ここもいっぱいだ

探してみよう

提携駐車場の探索でスムーズ駐車

この地図記号は何だろう

地図記号・表示について P44

地図記号の確認で施設チェック！

ＦＭ多重放送を表示させたい

ＦＭ多重放送の表示 P394

FM多重放送でタイムリーな情報をキャッチ

車の点検時期を表示させたい

メンテナンス機能 P399

メンテナンス機能でお車のケアを忘れずに

この先の道路状況を知りたい

ＶＩＣＳ P220

VICSでリアルタイムな道路状況を

声で操作したい

音声操作システム P345

音声操作で快適運転

はじめに

1.ＧＰＳボイスナビゲーションとは？

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

ナビゲーション画面の見方

目的地案内中の現在地画面

知 識

本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、ノースアップ・１画面・２Ｄ表示の通常の画面（フロントワイド表示「ＯＦＦ」・ビジュアルシティマップ表示「ＯＦＦ」）です。また、ＧＰＳマーク・ＶＩＣＳタイムスタンプが表示されていない地図画面を使用しています。

①方位マーク（ヘディングアップ時は　）

地図の方角が表示されます。

●地図向き（ノースアップ／ヘディングアップ）の切り替えについては、70ページをご覧ください。

②自車位置マーク

現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のある交差点のみ）

●目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

④名称表示
状況により以下のものが表示されます。（地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のある地点のみ）
●通過・分岐する交差点の名称
●走行している道路の名称
●通過するＩＣ・ＳＡ・ＰＡの名称（高速道路を走行しているときのみ）
●分岐するＩＣ・ＪＣＴの方面名称（高速道路を走行しているときのみ）
⑤ルート表示
目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。
●ルート表示については、126ページをご覧ください。
⑥案内ポイント
目的地案内中、交差点案内画面が表示される交差点に表示されます。
●交差点案内については、154ページをご覧ください。
⑦スケール表示
表示させている地図の縮尺が表示されます。
●スケール表示については、43ページを、縮尺の切り替えについては、62ページをご覧ください。
⑧ＧＰＳマーク
人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、表示されます。
ただし、ＧＰＳマークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。
●ＧＰＳについては、39ページをご覧ください。
⑨ＶＩＣＳタイムスタンプ
ＶＩＣＳ情報が発信されている地域で、ＶＩＣＳ情報が提供された時刻が表示されます。（ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。）
●タイムスタンプについては、228ページをご覧ください。

⑩到着予想時刻表示／目的地方向マーク

状況により以下のマークが表示されます。

■到着予想時刻表示

目的地案内中、目的地への到着予想時刻が表示されます。

●到着予想時刻については、160ページをご覧ください。

■目的地方向マーク

ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。

⑪残距離表示

現在地から目的地までの距離が表示されます。

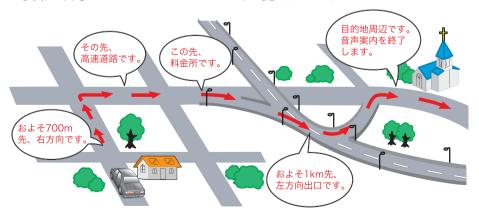
●目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。

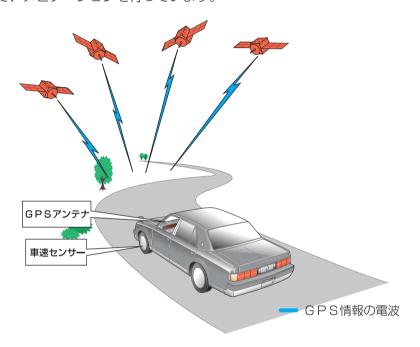
●ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。

●残距離表示の切り替えについては、179ページをご覧ください。

音声案内について

目的地案内中は、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声が出力されます。

●音声案内については、172ページをご覧ください。

2.ＧＰＳについて

ＧＰＳ（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常4個以上、場合により3個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。
このシステムは、ＧＰＳ情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

ＧＰＳ情報を利用できないとき

以下のようなときは、ＧＰＳ情報を利用できないことがあります。

- ●ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- ●ＧＰＳアンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- ●人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- ●デジタル式携帯電話（1.5GHz）をＧＰＳアンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、ＧＰＳ情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

3.地図について

道路・地名・施設情報・料金は地図ＤＶＤ－ＲＯＭ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。※
なお、このＧＰＳボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知 識

●地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規供用開始などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
●道路の幅が3m未満の区間を含む細街路は、原則として地図ＤＶＤ－ＲＯＭに収録されていません。道路工事や最新の測量により、道路の幅が3m未満の区間を含む細街路と判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

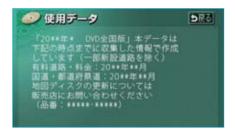
※　最新の地図ＤＶＤ－ＲＯＭの購入を希望されるかたは、トヨタ販売店にご相談ください。
ただし、地図ＤＶＤ－ＲＯＭの更新版の発行は、予告なく終了することがあります。

地図ＤＶＤ－ＲＯＭの情報を見るには

地図ＤＶＤ－ＲＯＭに収録されているデータベースなどの情報を見ることができます。

●地図ＤＶＤ－ＲＯＭの出し入れについては、15ページをご覧ください。

1 メニュー を押します。

2 使用データ にタッチします。

画面は表示例であり、地図ＤＶＤ－ＲＯＭの作成時期・種類等によって表示内容が異なります。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m が約100mであり、表示されている地図が1/1万縮尺であることを示しています。

地図の縮尺の切り替えについては、62ページ「地図縮尺の切り替え」をご覧ください。

スケール表示	縮尺	スケール表示	縮尺
25m	1/2500	3k	1/32万
50m	1/5千	7k	1/64万
100m	1/1万	13k	1/128万
200m	1/2万	26k	1/256万
400m	1/4万	50k	1/512万
800m	1/8万	100k	1/1024万
1.6k	1/16万	200k	1/2048万

知 識

1/2500図は市街図表示（64ページ）に切り替えたとき、表示させることができます。

地図記号・表示について

表示	内容
	高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）
255	国道
	主要道
255	都道府県道
	その他の道路（幅5.5m以上）
	その他の道路（幅3.0m以上）
	トンネル、または整備計画区間（各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	ＪＲ
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

●ＶＩＣＳ情報を表示しているときは、道路の表示色は異なります。(224ページ参照)

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	ＩＣ（インターチェンジ）
SA	ＳＡ（サービスエリア）
PA	ＰＡ（パーキングエリア）
IC	スマートＩＣ（ＥＴＣ専用インターチェンジ）
	信号機
P	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
文	学校
幼	幼稚園

記号		内容
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館

記号		内容
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設
		通常の踏み切り
		ボトルネック踏み切り※
		トヨタ販売店・トヨタ共販店
		ダイハツ販売会社
		ネッツトヨタ店
		トヨタＬ＆Ｆ

●表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して１つのマークで表示されることがあります。
●右側の表示・記号は、ビジュアルシティマップ表示（８３ページ）にしたときのものです。

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。
- 地図ＤＶＤ－ＲＯＭに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成してあります。

はじめに

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土交通省 国土地理院発行の2.5万分の1地形図、および5万分の1地勢図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省 国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人 日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
Ⓒ財団法人 日本デジタル道路地図協会
Ⓒ株式会社 ゼンリン ＆ 株式会社 トヨタマップマスター ＆ 株式会社 昭文社

交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

交通事故多発地点マークについて
地図ＤＶＤ－ＲＯＭに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータをもとに作成してあります。

4.お使いになる前に

■走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。

■安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
操作できないタッチスイッチは、灰色になり、タッチしても操作できません。

■目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。
必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。

■道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。

■タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（209ページ参照）
このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。

■自車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
このシステムは、ＧＰＳ情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

■実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※やＧＰＳ情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

● 「精度について」（218ページ）もあわせてご覧ください。

※　マップマッチングとは、ＧＰＳ情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車位置マークを表示させるシステムです。

Ⅰ　基本操作

1.メニュー画面・リスト画面について

メニュー画面

1 メニュー を押すと、メニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面から以下の操作を行うことができます。

●タッチスイッチにタッチして、項目を決定します。

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
案内中止／案内再開 ※1	目的地案内の中止・再開	152、153
音量設定	音量設定	54
ＶＩＣＳ	ＶＩＣＳ図形情報・文字情報の表示	232～235
	割り込み情報の表示の設定※2	236～239
	ＶＩＣＳ提供放送局の選択	241、242
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	184～201
	迂回メモリ地点の登録・修正・消去	202～205
ユーザーカスタマイズ	各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去	210～213
各種設定	都市高速マップ自動表示のＯＮ・ＯＦＦ	171
	レーンリスト自動表示のＯＮ・ＯＦＦ	159
	周辺施設の走行中呼出ジャンルの変更	96、97
	平均車速の設定	160、161
	交差点拡大図自動表示のＯＮ・ＯＦＦ	156
	高速分岐模式図自動表示のＯＮ・ＯＦＦ	169
	3Ｄ交差点拡大図のＯＮ・ＯＦＦ	157
	フロントワイド表示のＯＮ・ＯＦＦ	72
	3Ｄ時ルート方向アップ表示のＯＮ・ＯＦＦ	79

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
各種設定	地図の表示色の切り替え	69
	3D表示の角度の調整	78
	立体ランドマーク表示のＯＮ・ＯＦＦ	86
	シーズンレジャーランドマーク表示のＯＮ・ＯＦＦ	85
	地図スクロール時の地名表示のＯＮ・ＯＦＦ	59
	画面切り替え時の動画表現のＯＮ・ＯＦＦ	82
	ビジュアルシティマップ表示のＯＮ・ＯＦＦ	83
	交通事故多発地点マーク表示のＯＮ・ＯＦＦ	88
	料金案内のＯＮ・ＯＦＦ	163
	ＶＩＣＳ渋滞・規制音声自動発声のＯＮ・ＯＦＦ	231
	自動音声案内のＯＮ・ＯＦＦ	173
	県境案内のＯＮ・ＯＦＦ	91
	道路形状警告のＯＮ・ＯＦＦ	90
	他モードでの案内のＯＮ・ＯＦＦ	174
	操作説明音声のＯＮ・ＯＦＦ	55
	ハートフル音声のＯＮ・ＯＦＦ	56
	自動再探索のＯＮ・ＯＦＦ	182
	渋滞考慮探索のＯＮ・ＯＦＦ※2	240
	季節規制区間メッセージのＯＮ・ＯＦＦ	132
	音声認識モードの切替	364、365
	車両情報の設定※3	164、165
	スイッチ表示の設定	61
	目的地履歴の消去	151
	現在地の修正・距離の補正	206～209
使用データ	地図ＤＶＤ－ＲＯＭの情報の表示	42

※1　目的地が設定されていないときは、灰色になり、タッチしても操作できません。
※2　ビーコンユニット装着車のみ
※3　目的地が設定されているときは、操作できません。

リスト画面の切り替え方

▲・▼の切り替え表示

▲または▼にタッチします。
1項目ずつリストが動きます。

前・次の切り替え表示

▲前または▼次にタッチします。
1項目ずつリストが動きます。

50音順の切り替え表示

▲50音または▼50音にタッチします。
「あ→い」というように次の音に飛ばして、リストが動きます。

行の切り替え表示

あ行・か行・さ行・た行・な行・は行・ま行・や行・ら行・わ行のいずれかにタッチします。
「あ行→か行」というように行ごとにリストが動きます。

●リストがない行のタッチスイッチは灰色になり、タッチしても操作できません。

ページの切り替え表示

ページ または ページ にタッチします。
1ページずつリストが動きます。

または にタッチします。
1ページずつリストが動きます。

マークの切り替え表示

マーク または マーク にタッチします。
次のマークに飛ばして、リストが動きます。

種類の切り替え表示

種類 または 種類 にタッチします。
次の種類に飛ばして、リストが動きます。

地域の切り替え表示

北海道・東北・関東・中部・近畿・中四国・九州のいずれかにタッチします。
地域ごとにリストが動きます。

施設項目の切り替え表示

食事・店・車・宿泊・遊び・公共・交通・文化・他のいずれかにタッチします。
施設項目ごとにリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは灰色になり、タッチしても操作できません。
- ○○全てにタッチすると、その項目のすべての施設が選ばれます。
- 全ジャンルにタッチすると、すべての施設が選ばれます。

2.音声の設定

作動表示灯

音量設定

1 メニュー画面（48ページ）で、音量設定 にタッチします。

2 小 ・ ・ ・ ・ ・ 中 ・ ・ ・ ・ ・ 大 のいずれかにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

●消音 にタッチすると、音声ＯＦＦになります。

音声ＯＦＦのとき、いずれかの音量のタッチスイッチにタッチすると、音声ＯＮになります。

3 完了 にタッチします。

高速時の自動音量切り替えのＯＮ・ＯＦＦ

車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。）

高速走行時の自動音量切り替えをＯＮ（自動で上がる）にするか、ＯＦＦ（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 「音量設定」2で表示された画面で、高速時の自動音量切替 にタッチします。

●ＯＮにしたときは、作動表示灯が点灯します。

2 完了 にタッチします。

操作説明音声

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

操作説明音声のＯＮ・ＯＦＦ

操作説明音声をＯＮ（発声する）にするか、ＯＦＦ（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 操作説明音声の する 、または しない にタッチします。
　●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

ハートフル音声

通常の目的地案内中の音声案内・操作説明音声とは、異なった音声を出力させることができます。

〔ハートフル音声の例〕

●自宅を目的地にして、目的地に到着したとき、
「お疲れさまでした。」

●ナビゲーション画面が表示されるとき、
「今日は○月○日、○曜日です。」

知 識

上記の**〔ハートフル音声の例〕**は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されたり、出力されないことがあります。

ハートフル音声のＯＮ・ＯＦＦ

ハートフル音声をＯＮ（発声する）にするか、ＯＦＦ（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、**各種設定** にタッチします。

2 ハートフル音声の **する** 、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 **完了** にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

3.地図の表示

現在地の表示

エンジン スイッチを“ＡＣＣ”、または“ＯＮ”にすると、現在地画面になります。

●地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。

●現在地以外の地図やメニュー画面などを表示させているときは、**現在地**を押すと、現在地画面にもどります。

●走行中は道路の表示量が制限されます。（細街路などは表示されません。）ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

知 識

新車時、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやＧＰＳ情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
ＧＰＳ情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（206ページ参照）

●現在地画面で、**現在地**を押すと、現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

知 識

地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない路線名・路線番号は表示されません。

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、タッチスイッチがある以外の場所に、タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすことができます。

●タッチし続けると、地図が動く速度が速くなります。（このとき、⌖が黄色になります。）

●地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。

知 識

●走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図を表示しているときは、地図を移動することはできません。

●ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地を移動させても地図は動きません。**現在地** を押すと、もとの状態（地図が動く）にもどります。

●地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（70ページ）ができないことがあります。

地図スクロール時の地名表示

地図を移動しているとき、画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号を表示させることができます。

●地図の移動をやめると、約６秒後自動的に消去されます。

地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない路線名・路線番号は表示されません。

■地図スクロール時の地名表示のＯＮ・ＯＦＦ

地図スクロール時の地名表示をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

各種設定　初期状態　戻る
シーズンレジャーランドマーク表示　する　しない
地図スクロール時の地名表示　する　しない
画面切り替え時の動画表現　する　しない
ビジュアルシティマップ表示　する　しない
交通事故多発地点マーク表示　する　しない
料金案内　する　しない　完了

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 地図スクロール時の地名表示の する 、または しない にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

●タッチスイッチ「ＯＦＦ」表示

タッチスイッチの表示

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。

◀OFF にタッチします。

●タッチスイッチ「ＯＦＦ」表示のときは、タッチスイッチによる操作をすることはできません。操作をするときは、タッチスイッチ「ＯＮ」表示にさせてください。

●タッチスイッチ「ＯＦＦ」表示のときに、ON▶ にタッチすると、タッチスイッチ「ＯＮ」表示になります。

スイッチ表示設定

◀OFF にタッチしたときに消去するスイッチを選択することができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 スイッチ表示設定の 変更する にタッチします。

3 表示設定を変更したいタッチスイッチにタッチします。

●灰色になっているタッチスイッチは ◀OFF にタッチしたときに消去します。

知 識

初期状態 にタッチすると、スイッチ表示設定が初期設定の状態にもどります。

4 完了 にタッチします。

地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図〜1/5千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

地図の範囲を広くするときは 広域 、狭くするときは 詳細 にタッチします。（13段階に切り替えることができます。）

●タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。

● 広域 、または 詳細 にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。

● 広域 、または 詳細 を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。

知 識

●最大範囲（1/2048万図）にすると 広域 、最小範囲（1/5千図）にすると 詳細 は表示されません。

●走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺をかえることはできません。

全ルート図表示縮尺切り替え

目的地が設定されているときに、現在地から目的地までの全ルートを表示できる縮尺に切り替えることができます。

にタッチします。

知 識

●現在地と目的地の位置によっては、全体を表示させることができないことがあります。

●走行中は安全のため、スイッチにタッチして全ルート図表示縮尺に切り替えることはできません。

●市街図表示

市街図表示

市街図がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。

●市街図表示には1/5千市街図と1/2500市街図があります。

1/5千図を表示させているときに、市街図 にタッチすると、1/5千市街図が表示されます。

●広域 、または 詳細 にタッチして1/5千市街図と1/2500市街図を切り替えます。

知 識

●市街図のデータがある地域のみ、1/5千図を表示させているとき、 市街図 が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図がない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。）

●1/2500市街図にすると一方通行 を表示します。

●3D表示にさせているとき、1/2500市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。（通常の市街図は、表示されません。）リアル市街図表示の操作については、77ページをご覧ください。

市街図表示の解除

1/5千市街図を表示させているときに、広域 にタッチします。

施設の内容の表示

1 市街図を表示させているときに、情報にタッチします。

2 ⇧にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。

知 識

地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない建物は、内容が表示されません。

3 施設情報にタッチします。
選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。

- 選んだ建物に1つしか施設がないときは、施設情報にタッチすると、施設の内容が表示されます。

4 施設名称にタッチします。
選んだ施設の内容が表示されます。

ハイウェイモード

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

知 識

目的地案内中は、都市高速にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

- ●▲・▼、または施設名称にタッチすると、選ばれる施設が切り替わります。
- ●施設を選んだとき、現区間にタッチすると、現在地から最寄りの施設が選ばれます。

①道路名称表示

最寄り、または選んだ施設の道路の名称が表示されます。

②施設名称表示（目的地案内をさせていないときは、最大10カ所まで。）

施設の名称が表示されます。

③距離表示

現在地からの距離が表示されます。

④通過予想時刻表示

選んだ施設への通過予想時刻が表示されます。

⑤ＶＩＣＳ記号・表示

ＶＩＣＳ情報が受信されたとき、表示されます。（ＶＩＣＳ記号・表示については、224ページをご覧ください。）

知 識

ＶＩＣＳ情報の表示（227ページ）で、一般道のみに設定しているときは、ハイウェイモードでもＶＩＣＳ情報が表示されます。非表示に設定しているときは、ＶＩＣＳ情報は表示されません。

⑥設備マーク表示

選んだ施設（ＳＡ・ＰＡのみ）にある設備が、（ガソリンスタンドを除き）最大6つまで表示されます。

●6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークもあります。

記号	内容	記号	内容
	レストラン		郵便局・ポスト
	ドラッグストア		ＦＡＸ
	仮眠施設		ショッピングコーナー
	お風呂		休憩所
	キャッシュコーナー		スナックコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル		トイレ
	スマートＩＣ （ＥＴＣ専用インターチェンジ）		

●ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。（先頭に表示されます。）

知 識

●反対車線の情報は表示されません。
●通過予想時刻は設定した平均車速（160ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
●ＳＡ・ＰＡにはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
●目的地案内中のとき、出口ＩＣ、または分岐するＪＣＴの手前では、高速分岐案内画面（167ページ参照）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。（高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。）ＪＣＴのときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモードの解除

1 案内図替 にタッチします。

●タッチするごとに通常の地図とハイウェイモードが切り替わります。

2 分岐点（出口ＩＣ、ＪＣＴ）が近いときは、切り替える画面を選択する画面が表示されます。
高速分岐案内画面にするときは 分岐図 、通常の地図にするときは 地図 にタッチします。

●再度、ハイウェイモードを表示させるにはこの画面で、高速略図 にタッチします。

4.地図表示画面の設定

地図の表示色の切り替え

昼画・夜画それぞれの地図表示色を切り替える（5種類）ことができます。

モード	昼画	夜画
フレッシュ		
クール		
シック		
ウォーム		

知 識

本書で使用している地図画面は、ノーマル画を使用しています。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、ノーマル・フレッシュ・クール・シック・ウォーム のいずれかにタッチします。
●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

（または）が緑色になっているときに、（または）にタッチすると、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。

●ノースアップ表示

●ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。

●ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図が表示されます。

●ヘディングアップ表示

知 識

●現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示に復帰します。

●3D表示（76ページ）にさせているときは、地図向きを切り替えることはできません。

●フロントワイド表示

●通常の表示

フロントワイド表示

通常は、画面の中心に表示される自車位置マーク が、中心からずれて表示されることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

以下のそれぞれの条件で、フロントワイド表示にさせることができます。

❶ノースアップ表示（1画面表示）のとき、進行方向の地図を広く表示させる。
❷ヘディングアップ表示のとき、進行方向の地図を広く表示させる。
❸2画面表示（73ページ参照）の右画面が、ヘディングアップ表示のとき、進行方向の地図を広く表示させる。

フロントワイド表示の ＯＮ・ＯＦＦ

❶〜❸の条件それぞれで、フロントワイド表示をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 フロントワイド表示の項目の する 、または しない にタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

●2画面表示

2画面表示

地図を表示させているときに、画面を左右に2分割して以下のような表示をさせることができます。

〔例〕

左右異なる縮尺で表示・ヘディングアップ表示とノースアップ表示・施設表示のＯＮとＯＦＦ・３Ｄ表示のＯＮとＯＦＦ

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **2D・3D・ツイン** にタッチします。

3 **2Dツイン** （通常の２画面表示）、または **3Dツイン** （2画面3Ｄ表示）にタッチします。

- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- ●左側の画面は１画面表示のときと同じ方法で操作できます。

知識

- ●2画面表示にさせているときは、左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
- ●現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示に復帰します。

右画面の操作

1 右画面内のタッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

作動表示灯

2 次に表示された画面で、以下のことができます。

■地図縮尺の切り替え（62ページ参照）

詳細、または広域にタッチします。

■地図向きの切り替え（70ページ参照）

（または）にタッチします。

●1の画面でも、切り替えることができます。

■3D表示（76ページ参照）のＯＮ・ＯＦＦ

3D表示をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

3D表示にタッチします。

●ＯＮにしたときは、作動表示灯が点灯します。

■施設の表示（92ページ参照）のＯＮ・ＯＦＦ

左画面に施設を表示させているとき、施設をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

周辺施設表示にタッチします。

●ＯＮにしたときは、作動表示灯が点灯します。

■ＶＩＣＳ情報の表示（227ページ参照）のＯＮ・ＯＦＦ

左画面にＶＩＣＳ情報を表示させているとき、ＶＩＣＳ情報をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

ＶＩＣＳ表示 にタッチします。

●ＯＮにしたときは、作動表示灯が点灯します。

施設の表示・ＶＩＣＳ情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。

2画面表示の解除

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 2D・3D・ツイン にタッチします。

3 2D （通常の表示）、または 3D （通常の3Ｄ表示）にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

再度、2画面表示にさせたときは、前回、2画面表示にさせていたときの縮尺で地図が表示されます。

●3D表示

3D表示

地図を立体的に表示させることができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更**にタッチします。

2 **2D・3D・ツイン**にタッチします。

3 **3D**（通常の3D表示）、または**3Dツイン**（2画面3D表示）にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

知 識

●3D表示は、フロントワイド・ヘディングアップ表示で表示されます。

●現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示に復帰します。

●リアル市街図表示

リアル市街図表示

3D表示にさせているとき、1/2500市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。（通常の市街図は、表示されません。）

●市街図表示については、64ページをご覧ください。

リアル市街図表示の視点の調整

視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

視点を上げるときは 広域 、下げるときは 詳細 にタッチします。

●すぐに手を離したとき…3段階

●そのまま約1秒以上タッチし続けたとき…9段階

に切り替えることができます。

知識

●最低角度の地図にすると、 詳細 は表示されません。

●最高角度の地図にさせているとき、 広域 にタッチすると、リアル市街図表示は解除されます。

角度の調整

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 3D地図表示設定の 変更する にタッチします。

3 角度を上げるときは [上げるアイコン]、下げるときは [下げるアイコン] にタッチします。

知識

- 最高角度にすると [上げるアイコン]、最低角度にすると [下げるアイコン] が灰色になり、タッチしても操作できません。
- 初期状態 にタッチすると、角度が初期設定の状態にもどります。

4 セット にタッチします。

地図の回転

1 地図を表示させているときに、タッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

2 [時計まわりアイコン] にタッチすると時計まわり、[反時計まわりアイコン] にタッチすると反時計まわりに回転します。

知識

現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

●ルート方向アップ表示

3D時ルート方向アップ表示

目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。

●ＯＮのときは、方位マークが青色になります。

■3D時ルート方向アップ表示のＯＮ・ＯＦＦ

3D時ルート方向アップ表示をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 3D時のルート方向アップの する 、または しない にタッチします。
　●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

Ｉ 基本操作

3D表示の解除

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 2D・3D・ツイン にタッチします。

3 2D （通常の表示）、または 2Dツイン （通常の2画面表示）にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

画面切り替え時の動画表現

画面の切り替わるタッチスイッチにタッチしたときや、現在地などを押したとき、アニメーションのように表現されて画面が表示されるようにすることができます。

知 識

動画表現させることのできない画面もあります。

画面切り替え時の動画表現のＯＮ・ＯＦＦ

画面切り替え時の動画表現をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定にタッチします。

2 画面切り替え時の動画表現のする、またはしないにタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了にタッチします。

知 識

初期状態にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

●ビジュアルシティマップ表示

ビジュアルシティマップ表示

道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させ、地図記号を立体的に表示させることができます。

●地図記号・表示については、44ページをご覧ください。

ビジュアルシティマップ表示のＯＮ・ＯＦＦ

ビジュアルシティマップをＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定にタッチします。

2 ビジュアルシティマップ表示の する 、または しない にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

●シーズンレジャーランドマーク表示

シーズンレジャーランドマークの表示

桜などの季節になると地図にシーズンレジャーランドマーク（下表参照）を表示させることができます。

マーク	内容
(桜マーク)	桜の名所
(紅葉マーク)	紅葉の名所

知識

●地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない名所は、表示されません。
●1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）
●マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

シーズンレジャーランドマーク表示のON・OFF

シーズンレジャーランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 シーズンレジャーランドマーク表示の する 、または しない にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

●立体ランドマーク表示

立体ランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。

知　識

●地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない施設は、表示されません。
●1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）

立体ランドマーク表示のＯＮ・ＯＦＦ

立体ランドマークをＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 立体ランドマーク表示の する 、または しない にタッチします。
　●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

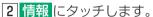
3 完了 にタッチします。

知　識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

Ⅰ　基本操作

立体ランドマークの内容の表示

1 立体ランドマークにタッチします。
　立体ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 情報にタッチします。
●情報付き施設が検索されたときの操作は、410ページ「ブラウザ画面の操作」をご覧ください。

交通事故多発地点マーク

交通事故多発地点マーク表示

交通事故が多発している地点にマークを表示させることができます。

知識

1/5千図～1/8万図の地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）

交通事故多発地点マーク表示のＯＮ・ＯＦＦ

交通事故多発地点マークをＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

各種設定　初期状態　戻る
シーズンレジャーランドマーク表示　する　しない
地図スクロール時の地名表示　する　しない
画面切り替え時の動画表現　する　しない
ビジュアルシティマップ表示　する　しない
交通事故多発地点マーク表示　する　しない
料金案内　する　しない　完了

1 メニュー画面（48ページ）で、**各種設定** にタッチします。

2 交通事故多発地点マーク表示の **する** 、または **しない** にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 **完了** にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

Ⅰ 基本操作

●道路形状警告

道路形状警告

道路形状（下図参照）が近づくと、地図右上に道路形状警告を行わせることができます。

形状	警告マーク
踏切	
急カーブ	
合流道路	

知 識

- ●地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない地点では、道路形状警告は行われません。
- ●以下のようなときは、道路形状警告が行われないことがあります。
  - ●目的地案内開始直後
  - ●目的地周辺
- ●道路形状警告は、遅れたり早くなることがあります。
- ●次の道路形状が近いときは、続けて道路形状警告が行われます。

道路形状警告のＯＮ・ＯＦＦ

道路形状をＯＮ（警告する）にするか、ＯＦＦ（警告しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、 各種設定 にタッチします。

2 道路形状警告の項目の する 、または しない にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

県境案内表示

県境案内

都道府県境を通過したとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させることができます。

> **知 識**
> 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

県境案内のＯＮ・ＯＦＦ

県境案内をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定にタッチします。

2 県境案内の する、または しない にタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

> **知 識**
> 初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

Ⅰ 基本操作

●施設表示

施設の表示

地図に施設の記号を表示させることができます。

知 識

●地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない施設は、表示されません。
●1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面を除く）
●表示させることができる施設は、（または）から半径約10km以内にある施設のみです。（最大200件まで）

1 地図を表示させているときに、表示変更にタッチします。

2 周辺施設にタッチします。

3 施設のジャンルにタッチします。
選んだジャンルの施設の記号が地図に表示されます。
●5つまで選択することができます。複数選択するときは、1～3を繰り返します。
●すでに表示されている施設のジャンルにタッチすると、そのジャンルが解除されます。
●全ジャンルにタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外のジャンルも選択することができます。

4 全ジャンル にタッチしたときは、次に表示された画面で、施設のジャンルにタッチします。

- ●5つまで選択することができます。
- ●間違えたときは 選択解除 にタッチすると、1つずつ解除されます。
- ●すでに選んだ施設のジャンルにタッチすると、そのジャンルが解除されます。

5 完了 にタッチします。
選んだジャンルの施設の記号が地図に表示されます。

施設の消去

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 周辺施設 にタッチします。

3 表示解除 にタッチします。

近くの施設の検索

（または ）の位置の近くにある施設の名称と （または ）からの直線距離・方向を表示させることができます。

知 識

検索させることができる施設は、 （または ）から半径約10km以内にある施設のみです。（最大200件まで）

1 地図に施設を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。

3 **施設検索** にタッチします。

4 施設名称にタッチします。
選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。
- 表示されている矢印は現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
- ワンタッチスクロールで地図を動かしたときは、矢印は表示されません。

作動表示灯

■ルートを考慮したリストの表示

目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示に連動したものにさせることができます。

ルート沿い考慮 にタッチします。

●設定されているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのいずれかの方向にあるかを表示します。

●ルートを考慮したリストが表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

知識

●表示させていた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。

●表示される施設は、ルート沿いにある施設のみです。

知識

施設のリストは、（または）から近い施設の順と、施設の記号の種類別の2種類の並べ方をさせることができます。

● **距離順** にタッチすると、（または）から近い施設の順に並びかわります。

● **種類順** にタッチすると、施設の記号の種類別に並びかわります。

●距離順表示

●種類順表示

5 **情報** にタッチすると、施設の内容が表示されます。

●情報付き施設が検索されたときの操作は、410ページ「ブラウザ画面の操作」をご覧ください。

Ⅰ 基本操作

施設の内容の表示

 知 識

施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

1 施設の記号にタッチします。
施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 情報 にタッチします。
●情報付き施設が検索されたときの操作は、410ページ「ブラウザ画面の操作」をご覧ください。

周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 周辺施設走行中呼出ジャンルの 変更する にタッチします。

3 変更したい施設のジャンルにタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべての周辺施設走行中呼出ジャンルの項目が初期設定の状態にもどります。

4 走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンルにタッチします。

5 完了 にタッチします。

5.地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

1 地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目の該当ページをご覧ください。

●目的地の設定のとき

●目的地の追加のとき

●目的地の設定・追加のとき以外※

●目的地の設定（122ページ）
●目的地の追加（137ページ）
●メモリ地点の登録（184ページ）
●迂回メモリ地点の登録（202ページ）
●販売店の設定（405ページ）

※　画面は、メモリ地点の登録のときの画面を代表として記載しています。その他のときも、表示される項目は、メモリ地点の登録のときと同じです。

2 表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。

●タッチスイッチにタッチして、項目を決定します。

項目（タッチスイッチ）	機　能
50音	施設の名称を入力することで、その施設がある地点の地図を表示させることができます。 また、地名を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。→次ページ
施設	さまざまなジャンルから施設を選ぶことで、その施設がある地点の地図を表示させることができます。→104ページ
住所	地名を選び、番地を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。→107ページ
電話番号	電話番号を入力することで、その電話番号の施設がある地点の地図を表示させることができます。 また、その電話番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。→108ページ
郵便番号	郵便番号を入力することで、その郵便番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。→110ページ
マップコード	マップコードを入力することで、そのマップコードが使用されている地域の地図を表示させることができます。 →111ページ
メモリ地点	地図を呼び出すメモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示させることができます。（メモリ地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、184ページ参照。）
履歴	地図を呼び出す目的地履歴（過去に設定された目的地）にタッチすると、その地点の地図を表示させることができます。（目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、151ページ参照。）また、前回目的地案内を行ったときの出発した地点の地図を表示させることができます。（一度目的地案内を行わせたときのみ。）→112ページ
周辺施設	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設がある地点の地図を表示させることができます。→113ページ
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示させることができます。
現在地周辺	現在地の地図を表示させることができます。
自宅に帰る 特別メモリに行く 1／2／3／4／5	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。（それぞれの地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、184ページ参照。）
自宅周辺 特別メモリ周辺 1／2／3／4／5	登録されている地点の地図を表示させることができます。（それぞれの地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、184ページ参照。）

50音で地図を呼び出す

1 施設の名称（または地名）を1文字ずつタッチして入力します。
- 間違えたときは 修正 にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは灰色になり、タッチしても入力できません。
- 1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

知 識
- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。
- 入力することができる文字数は、最大12文字までです。

2 完了 にタッチします。
入力した文字から検索された施設名称・地名の全国リスト画面が表示されます。

全国リスト画面

1 表示させる施設名称・地名にタッチすると、地図が表示されます。
- リストに表示させる施設名称・地名のエリアを指定するときは **エリア変更** に、施設名称・地名のジャンルを指定するときは **ジャンル変更** にタッチします。

2 表示された地図については、115～118ページ**「6.呼び出した地図の操作」**をご覧ください。

■エリア別検索

1 リスト画面で、**エリア変更** にタッチします。

2 都道府県名にタッチします。
- **全エリア** にタッチすると、リスト画面にもどります。
- 都道府県名がわからないときなどは、**地域で探す** にタッチします。

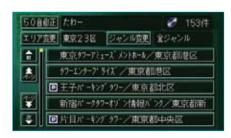
●都道府県指定画面

3 市区町村名にタッチします。

● **○○全域** にタッチすると、指定した都道府県別リスト画面が表示されます。

●**地域指定画面**

● **地域で探す** にタッチしたときは、地域名にタッチします。

• **県別で探す** にタッチすると、都道府県指定画面にもどります。

4 施設名称（または地名）にタッチすると、地図が表示されます。

● **50音修正** にタッチすると、100ページ**「50音で地図を呼び出す」**1の画面にもどります。

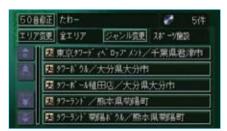
● **ジャンル変更** にタッチすると、リスト画面に表示させる施設名称（または地名）のジャンルを指定することができます。（次項目参照）

5 表示された地図については、115～118ページ**「6.呼び出した地図の操作」**をご覧ください。

■施設のジャンル別検索

1 リスト画面で、 ジャンル変更 にタッチします。

2 施設のジャンルにタッチします。

- 全ジャンル にタッチすると、リスト画面にもどります。
- 地名を入力したときは、 住所 にタッチすると、地名のリストが表示されます。

3 施設名称（または地名）にタッチすると、地図が表示されます。

- 50音修正 にタッチすると、100ページ「50音で地図を呼び出す」1の画面にもどります。
- エリア変更 にタッチすると、リスト画面に表示させる施設名称（または地名）のエリアを指定することができます。

4 表示された地図については、115～118ページ「6.呼び出した地図の操作」をご覧ください。

知 識

施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

施設で地図を呼び出す

以下の施設のジャンルから地図を呼び出すことができます。

項　目	ジャンル
店	●デパート ●ショッピングモール ●アウトレットモール
車	●トヨタ・ダイハツ販売店 ●トヨタレンタリース ●ジェームス
宿　泊	●ホテル
遊　び	●ゴルフ場 ●温泉 ●遊園地 ●動植物園 ●水族館 ●スキー場 ●キャンプ場 ●マリーナ ●競技場 ●公営娯楽
公　共	●役所 ●警察署 ●病院 ●公園

項　目	ジャンル
交　通	●駅 ●空港 ●港 ●高速ＩＣ・ＳＡ・ＰＡ ●有料ＩＣ ●道の駅 ●交差点
文　化	●名所・旧跡 ●城・城跡 ●神社・寺 ●美術・博物館 ●資料館 ●ホール ●国際展示場
その他	●式場 ●トヨタホーム

ゴルフ場・駅・ホテル・役所・空港・式場・病院・販売店（トヨタ・ダイハツ販売店）以外の項目は、**その他**にタッチしたあと、選びます。

知 識

●トヨタ・ダイハツ販売店、トヨタレンタリースは、都道府県別のリストのあとに、販売会社別のリストがあります。
●高速ＩＣ・ＳＡ・ＰＡは、路線別のリストがあります。
●高速ＩＣ・ＳＡ・ＰＡ以外は、都道府県別のリストがあります。
●駅、有料ＩＣは、都道府県別のリストのあとに、路線別のリストがあります。
●交差点は、都道府県別のリストのあとに、市区町村別のリストがあります。

1 施設のジャンルにタッチします。

● その他 にタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外の施設のジャンルも表示させることができます。

2 その他 にタッチしたときは、次に表示された画面で、施設のジャンルにタッチします。

3 都道府県名（路線名）にタッチします。

●さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。

●施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
全国の◯◯ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。

4 施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

5 表示された地図については、115～118ページ**「6.呼び出した地図の操作」**をご覧ください。

住所で地図を呼び出す

1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、地名にタッチすると、地図が表示されます。

●地名を選んだあと、詳細がわからないときは **◯◯主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

●丁目にタッチしたあと、**番地指定** にタッチすると、番地・号数を入力することができます。

2 **番地指定** にタッチしたときは、次に表示された画面で、数字、または－を１つずつタッチして入力します。

●間違えたときは **修正** にタッチすると、１つずつ消去されます。

3 **完了** にタッチします。
入力した番地から検索された地図が表示されます。

●入力した番地に
- ●該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
- ●該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。

4 表示された地図については、115～118ページ**「6.呼び出した地図の操作」**をご覧ください。

電話番号で地図を呼び出す

1 電話番号を1番号ずつタッチして入力します。
- ●市外局番から入力します。
- ●間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

2 **完了** にタッチします。
入力した電話番号から検索された地図が表示されます。
- ●入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- ●入力した番号に該当する施設がないとき、または入力した番号が個人住宅などのときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

3 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ画面が表示されます。
施設名称にタッチします。
入力した電話番号から検索された地図が表示されます。

知 識

同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。

4 表示された地図については、115〜118ページ**「6.呼び出した地図の操作」**をご覧ください。

知 識

●施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
- ●デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
- ●一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。

●施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。

●地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。

●収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。

●収録されていない電話番号を入力して表示させ目的地やメモリ地点に登録した地図の地点は、最大100カ所まで記憶されます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

郵便番号で地図を呼び出す

1 郵便番号を1番号ずつタッチして入力します。
- ●7桁郵便番号を入力します。
- ●間違えたときは 修正 にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

2 完了 にタッチします。
入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。

3 表示された地図については、115～118ページ **「6.呼び出した地図の操作」** をご覧ください。

マップコード※で地図を呼び出す

※　**「マップコード」**は、株式会社 デンソーの登録商標です。
マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、1～13桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

1 マップコードを1番号ずつタッチして入力します。
- 間違えたときは 修正 にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

2 完了 にタッチします。
入力したマップコードから検索された地図が表示されます。

3 表示された地図については、115～118ページ**「6.呼び出した地図の操作」**をご覧ください。

知 識

- マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com
- マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、位置の名称の下に表示されます。
  - メモリ地点…184ページ参照
  - 迂回メモリ地点…202ページ参照

Ⅰ 基本操作

履歴で地図を呼び出す

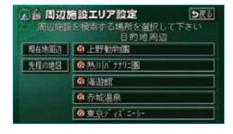
1 過去にルート探索した（案内させた）ときの目的地名称にタッチします。

- ●

にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

2 表示された地図については、115～118ページ **「6.呼び出した地図の操作」** をご覧ください。

知 識

自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

周辺施設で地図を呼び出す

1 施設のジャンルにタッチします。
- 5つまで選択することができます。
- 間違えたときは 選択解除 にタッチすると、1つずつ解除されます。
- すでに選んだ施設のジャンルにタッチすると、そのジャンルが解除されます。

2 完了 にタッチします。

3 施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

4 表示された地図については、115～118ページ**「6.呼び出した地図の操作」**をご覧ください。

エリア別検索

周辺施設を検索するエリアを変更することができます。

1 エリア にタッチします。

2 周辺施設を表示させたい地域にタッチすると、地図が表示されます。

3 **セット** にタッチします。

4 施設のジャンルにタッチします。
- ●5つまで選択することができます。
- ●間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1つずつ解除されます。
- ●すでに選んだ施設のジャンルにタッチすると、そのジャンルが解除されます。

5 **完了** にタッチします。

6 施設名称にタッチすると、地図が表示されます。

7 表示された地図については、115～118ページ **「6.呼び出した地図の操作」** をご覧ください。

6.呼び出した地図の操作

●ピンポイント検索されたとき

ピンポイント検索

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

知 識

検索された施設に、詳細な位置の情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。

●ピンポイント検索されなかったとき

位置の変更

にタッチして、地図を動かします。

施設の内容の表示

情報 にタッチします。

●情報付き施設が検索されたときの操作は、410ページ「ブラウザ画面の操作」をご覧ください。

知 識

施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場の検索

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

知 識

●地図DVD－ROMに情報のない駐車場は、検索されません。
●施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
●検索される駐車場は、設定した車両情報（164ページ）により異なります。また、車両寸法が入力されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

1 提携Ｐ にタッチします。

知 識

提携Ｐ にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。

2 駐車場名称にタッチすると、駐車場の内容が表示されます。

●駐車場名称の右にある 地図 にタッチすると、地図が表示されます。

住所の検索

■住所一覧検索

以下のときに、検索させることができます。

- 「50音で地図を呼び出す」のリスト画面で、地名にタッチしたとき
- 「郵便番号で地図を呼び出す」とき
- 「電話番号で地図を呼び出す」で、該当する施設がなかったとき

1 住所一覧 にタッチします。

2 地名にタッチすると、地図が表示されます。

- 詳細がわからないときは ◯◯主要部 にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

■周辺住所検索

以下のときに、検索させることができます。

- 上記の住所一覧検索で、該当する住所がなかったとき
- 「住所で地図を呼び出す」で、該当する住所がなかったとき

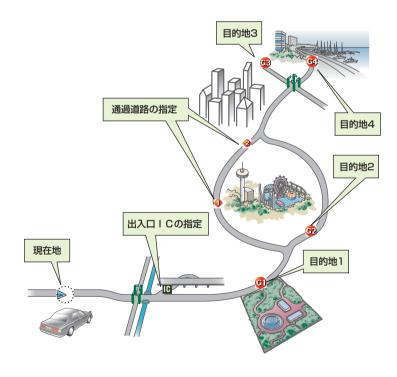
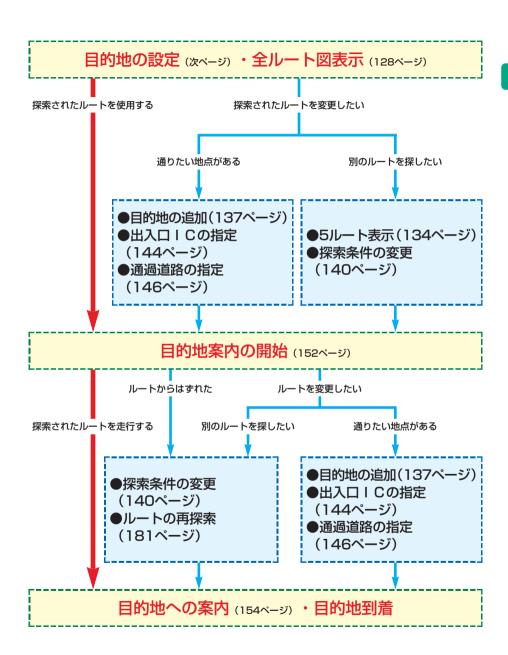
1 周辺住所 にタッチします。

2 番地にタッチすると、地図が表示されます。

Ⅱ　目的地案内

この章では、
1 目的地を設定し、
2 ルートを探索させ、
3 目的地案内を行わせる、
方法を説明しています。

●目的地を設定すると、自動的にルートの探索が開始されます。
●一度、ルートが探索されたあとでも（目的地案内中を含む）、ルートは変更することができます。
●目的地を追加したり、ＩＣ・通過道路を指定したり、再探索の条件を選ぶことにより、さらにご希望に近いルートを探索させることができます。

目的地の設定（次ページ）・全ルート図表示（128ページ）
探索されたルートを使用する
探索されたルートを変更したい
通りたい地点がある
別のルートを探したい
●目的地の追加（137ページ）
●出入口ＩＣの指定（144ページ）
●通過道路の指定（146ページ）
●5ルート表示（134ページ）
●探索条件の変更（140ページ）
目的地案内の開始（152ページ）
ルートからはずれた
ルートを変更したい
探索されたルートを走行する
別のルートを探したい
通りたい地点がある
●探索条件の変更（140ページ）
●ルートの再探索（181ページ）
●目的地の追加（137ページ）
●出入口ＩＣの指定（144ページ）
●通過道路の指定（146ページ）
目的地への案内（154ページ）・目的地到着

1.目的地の設定

目的地の設定

知 識

●1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
●目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大99カ所まで）。99カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（151ページ「目的地履歴の消去」参照）

1 目的地設定 を押します。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

●98～118ページ「5.地図の呼び出し方法」、「6.呼び出した地図の操作」参照

3 目的地セット にタッチします。

⊕の位置に目的地がⒼ記号で表示され、ルート探索が開始されます。

●設定した目的地を消去するときは、142ページ「目的地の消去」をご覧ください。

4 すでに目的地が設定されているときは、 新規目的地 にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● 追加目的地 にタッチすると、目的地が追加されます。（以降の設定方法は、137ページ「目的地の追加」4～6をご覧ください。）

5 地図を動かし、目的地セット（新規目的地・追加目的地）にタッチしたとき、高速道路などの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。
設定する、または他の道路にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。

ワンタッチ設定

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 タッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

2 目的地セットにタッチします。

3 ⇧にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かします。

4 目的地セットにタッチします。
⊕の位置に目的地がⒼ記号で表示され、ルート探索が開始されます。

5 すでに目的地が設定されているときは、新規目的地 にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● 追加目的地 にタッチすると、目的地が追加されます。

知 識

ワンタッチ設定した目的地は、一番手前の目的地になります。

6 地図を動かし、目的地セット（新規目的地 ・ 追加目的地）にタッチしたとき、高速道路などの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。
設定する 、または 他の道路 にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。

ルート探索

●ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。

●目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。

●ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。

知 識

●ルート探索は、原則として幅が5.5m以上の道路のみを対象にしています。

●高速道路や有料道路のＩＣ・ＳＡ・ＰＡ内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（181ページ参照）を行ってください。

ルート表示

ルートの表示色は、以下の4種類あります。

●**青色**（　　　）
目的地が一つのとき、または複数設定されているときは現区間（次の目的地まで）の表示

●**白色**（　　　）
目的地が複数設定されているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示

●**水色**（　　　）
細街路表示（次ページ参照）

●**橙色**（　　　）
季節規制区間表示
（131ページ参照）

■細街路表示

現在地周辺・目的地周辺では、細街路（幅5.5m以下の道路）もルートが探索されます。

知 識

細街路では、音声案内と画面表示（交差点案内など）による目的地案内は行われません。
また、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

●全ルート図が表示されたあと、 現在地 を押したとき、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内が開始されます。（152ページ「目的地案内の開始」参照）

■表示について

表示はすべて最終の目的地までのものです。

①ＩＣ名称表示

有料道路を通るときは、一番最初に一般道から有料道路に入るＩＣの名称が下に、一番最後に有料道路から一般道に出るＩＣの名称が上に表示されます。
また、ＩＣ名称表示にタッチすると、表示されている出入口ＩＣを指定することができます。（144ページ参照）

②有料道路距離表示

有料道路を通るときは、目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。

③料金案内

有料道路を通るときは、目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます。（有料道路を通らないときは、利用する国道の距離が表示されます。）

④距離表示

目的地までの距離が表示されます。

⑤ＩＣマーク

有料道路を通るときは、一番最初に一般道から有料道路に入るＩＣと、一番最後に有料道路から一般道に出るＩＣの位置に表示されます。

⑥到着予想時刻表示
目的地への到着予想時刻が表示されます。（目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地方向マークが表示されます。）
●到着予想時刻については、160ページをご覧ください。

⑦残距離表示
目的地までの表示されているルートを通っての距離が表示されます。（目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。）
目的地が2カ所以上設定されているときは、残距離表示にタッチすると、残距離表示が表示される目的地を切り替えることができます。（179ページ参照）

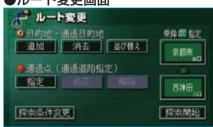
■タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、以下のことができます。

❶「5ルート」…別のルートを表示させ、選ぶことができます。（目的地案内開始後には表示されません。134ページ）
❷「ルート変更」…ルート変更画面を表示させることができます。（次ページ）
❸「案内開始」（目的地案内開始後は、「案内に戻る」）…目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。（152ページ）目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。
❹「情報」…案内道路情報を表示させることができます。（133ページ）

知 識

●探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
●料金は設定した車両情報（164ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
●到着予想時刻は設定した平均車速（160ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
●交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に✕が表示されることがあります。
●地図ＤＶＤ－ＲＯＭには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
●目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。（178ページ参照）

●ルート変更画面

ルート変更画面

再探索画面（181ページ）、または全ルート図表示画面（128ページ）で、ルート変更にタッチすると、ルート変更画面が表示されます。

ルート変更画面では、以下のことができます。

●探索条件の変更（140ページ）
●出入口ＩＣの指定・解除（144、145ページ）
●目的地の追加（137ページ）
●目的地の並び替え（140ページ）
●目的地の消去（142ページ）
●通過道路の指定（146ページ）
●通過道路の修正（148ページ）
●通過道路指定の解除（150ページ）
●季節規制区間の迂回ルート探索（次ページ）

●季節規制区間表示

季節規制区間の表示

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートがで表示されます。また、このとき、画面にメッセージを表示させることができます。

知 識

地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。

季節規制区間の迂回ルートの探索

ルート変更画面（前ページ）で、季節規制回避にタッチすると、ルート探索が開始されます。

●再度、季節規制区間を通るルートを探索させるときは、この画面で、季節規制通過にタッチします。

知 識

●季節規制回避（または季節規制通過）は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。

●規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、季節規制回避にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

季節規制区間メッセージのＯＮ・ＯＦＦ

季節規制区間を含むルートが探索されたときに表示されるメッセージをＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 季節規制メッセージ表示の する 、または しない にタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

ルート情報（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

全ルート図表示画面（128ページ）で、情報にタッチします。

●入口ＩＣ・出口ＩＣ・ＪＣＴ・目的地・道路の種別の変わり目地点などでルートが分割されて表示されます。
●分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
●地図にタッチすると、それぞれの地点の地図が表示されます。

知識

●現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面にが表示されます。
●現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
●料金は設定した車両情報（164ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
●通過予想時刻は設定した平均車速（160ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

5ルート表示

知 識

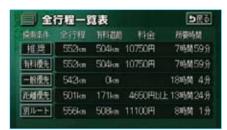
以下のときは、5ルートを表示させることはできません。

- ●目的地が2カ所以上設定されているとき
- ●通過する地点（ＩＣ・通過道路）が指定されているとき
- ●目的地案内開始後

1 全ルート図表示画面（128ページ）で、 5ルート にタッチします。

●5つのルートが5色に色分けされて表示されます。

2 ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。

●全行程一覧表 にタッチすると、5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間が表示されます。

3 全行程一覧表 にタッチしたときは、次に表示された画面で、ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。

知識

- 5つのルートの特徴については、180ページをご覧ください。
- 料金は設定した車両情報（164ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（160ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

2.目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。
以下のようなときに、追加して目的地を設定します。
●設定した目的地と現在地の間で、通過する地点を設定するとき
●設定した目的地を通過する地点に変更し、新しく目的地を設定するとき

目的地の追加

●5カ所まで設定することができます。
●すでに5カ所設定されているときは、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください。（目的地を消去するときは、142ページ**「目的地の消去」**をご覧ください。）

知 識

●1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
●目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大99カ所まで）。99カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（151ページ**「目的地履歴の消去」**参照）
●すでにＩＣ・通過道路（144～150ページ参照）が指定されているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、ＩＣ・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

1～3までの操作は、**目的地設定**を押して（目的地の設定と同じ方法で）、追加することもできます。（122ページ**「目的地の設定」**1～4参照）

1 ルート変更画面（130ページ）で、目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。

知識

1カ所のみ目的地が設定されているときは、**並び替え** が灰色になり、タッチしても操作できません。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

● 98～118ページ **「5.地図の呼び出し方法」、「6.呼び出した地図の操作」** 参照

3 **目的地セット** にタッチします。

⊕の位置に目的地がⒼ記号で表示されます。

4 地図を動かし、**目的地セット** にタッチしたとき、高速道路などの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

設定する 、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。

5 目的地を設定する区間の 設定 にタッチします。

6 ＩＣ・通過道路が指定されているときは、次に表示された画面で、 はい 、または いいえ にタッチします。

● はい にタッチすると、ＩＣ・通過道路指定は解除されます。

7 ルート変更画面にもどったときは、 探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

●さらに追加して目的地を設定するときは、 追加 にタッチすると、2の画面が表示されますので、2〜6を繰り返します。

探索条件の変更

1 ルート変更画面（130ページ）で、探索条件変更 にタッチします。

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチします。

知 識

- 探索条件の特徴については、180ページをご覧ください。
- 最初の目的地までの区間のみ 別ルート が表示されます。

3 探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

目的地の並び替え

知 識

ＩＣ・通過道路（144～150ページ参照）が指定されているときは、目的地を並び替えると、指定されている地点によって、ＩＣ・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

1 ルート変更画面（130ページ）で、目的地・通過目的地の 並び替え にタッチします。

2 ＩＣ・通過道路の指定を解除するときは、次に表示された画面で、 はい にタッチします。

- いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

Ⅱ 目的地案内

3 現在地の次に行く目的地から順に、目的地名称にタッチします。
- タッチした目的地名称の右側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたときは 解除 にタッチすると、選ばれていた順番が１つずつ解除されます。
- すでに選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。

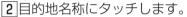
4 完了 にタッチします。
- 最終目的地の１つ手前の目的地を選択すると、完了 にタッチしなくても、約3秒後、自動的に最終目的地が決定され、5の画面が表示されます。
- すべての目的地名称にタッチしないで、完了 にタッチしたときは、タッチした目的地名称のみが手前になった順番になります。

5 探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

目的地の消去

 知 識

すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。

1 ルート変更画面（130ページ）で、目的地・通過目的地の 消去 にタッチします。
- 1カ所のみ設定されていたときは、3の画面が表示されます。

2 目的地名称にタッチします。
- すべての目的地を消去するときは、 全消去 にタッチします。

3 はい にタッチします。
- いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。
- すべての目的地を消去したとき・1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面が表示されます。

4 ルート変更画面にもどったときは、 探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

また、以下の方法で目的地を消去することもできます。

1 目的地設定 を押します。

2 目的地消去 にタッチします。

●以降の消去方法は、前ページ「目的地の消去」2～3と同じです。

3.ＩＣ・通過道路の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出入口ＩＣ（インターチェンジ）を指定することや、通過する道路を指定することができます。

出入口ＩＣの指定

出口ＩＣ・入口ＩＣを1カ所ずつ指定することができます。

1 全ルート図表示画面（128ページ）、またはルート変更画面（130ページ）で、変更するＩＣ名称表示にタッチします。

2 左画面で指定したいＩＣ付近に地図を動かします。右画面で ▲ ・ ▼ ・ 次路線 にタッチして、ＩＣを切り替えることもできます。（次路線 はＪＣＴがあり分岐するときのみ表示されます。）

- 地図にタッチせず、右画面で ▲ ・ ▼ ・ 次路線 にタッチしてＩＣを切り替えたときは、指定したいＩＣ名称にタッチします。
- スマートＩＣ（ＥＴＣ専用インターチェンジ）を選択することもできます。
このとき、ＥＴＣ車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

知識

左画面の地図は1/4万図～1/128万図で表示させることができます。

3 探索開始 にタッチします。

Ⅱ　目的地案内

4 指定したＩＣに出口（または入口）が2カ所以上あるときは、次に表示された画面で、次候補 にタッチして、出口（または入口）を選びます。
●表示されている出口（または入口）を指定するときは、セット にタッチします。

5 セット にタッチします。
ＩＣが IC 記号で指定されます。

6 ルート変更画面にもどったときは、探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

ＩＣ指定の解除

「出入口ＩＣの指定」2で表示された画面で、出口解除 （または 入口解除 ）にタッチします。

通過道路の指定

- ●2カ所まで指定することができます。
- ●すでに通過道路が2カ所指定されているときは、通過道路指定を解除してから指定しなおしてください。（通過道路指定を解除するときは、150ページ「通過道路指定の解除」をご覧ください。）

知 識

ＩＣ（144ページ参照）が指定されているとき、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

1 ルート変更画面（130ページ）で、通過点（通過道路指定）の **指定** にタッチします。

知 識

通過道路が指定されていないときは、**修正**・**解除** が灰色になり、タッチしても操作できません。

2 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

3 **通過道路セット** にタッチします。

知 識

1/8万図より広域な地図を表示させていたときは、1/8万図に切り替わります。

4 次候補 にタッチして、通過道路を選びます。
●表示されている道路を指定するときは、 セット にタッチします。

知 識

表示されている地図に道路情報が少ないときは、 次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

5 セット にタッチします。
通過道路が◆記号で指定されます。

6 目的地が2カ所以上設定されているとき、またはＩＣ・通過道路が指定されているときは、次に表示された画面で、通過道路を指定する区間の 設定 にタッチします。

7 探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

ワンタッチ指定

1 全ルート図表示画面（128ページ）で、タッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

2 通過道路指定 にタッチします。
- 以降の設定方法は、前ページ「通過道路の指定」4～6と同じです。

通過道路の修正

1 ルート変更画面（130ページ）で、通過点（通過道路指定）の 修正 にタッチします。
- 1カ所のみ指定されていたときは、3の画面が表示されます。

2 道路名称にタッチします。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。
- 道路の種類を変更するだけのときは、地図を動かす必要はありません。

4 通過道路セット にタッチします。

5 次候補 にタッチして、通過道路を選びます。

●表示されている道路を指定するときは、 セット にタッチします。

知 識

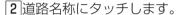
表示されている地図に道路情報が少ないときは、 次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

6 セット にタッチします。

通過道路が◆記号で指定されます。

7 探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

通過道路指定の解除

1 ルート変更画面（130ページ）で、通過点（通過道路指定）の 解除 にタッチします。
- 1カ所のみ指定されていたときは、3の画面が表示されます。

2 道路名称にタッチします。
- すべての通過道路指定を解除するときは、全解除 にタッチします。

3 はい にタッチします。
- いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

4 探索開始 にタッチすると、ルート探索が開始されます。

4.目的地履歴の消去

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大99カ所まで）。99カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

目的地履歴の消去

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

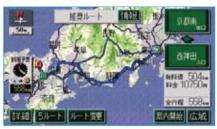
2 目的地履歴の消去の 消去する にタッチします。

3 地点名称にタッチします。

●すべての目的地履歴を消去するときは、全消去 にタッチします。

4 はい にタッチします。

●いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

5.目的地案内の開始

目的地案内の開始

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。
全ルート図表示画面（128ページ）で、 案内開始 にタッチすると、目的地案内が開始されます。

●全ルート図が表示されたあと、 現在地 を押したとき、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内が開始されます。

デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモを見ることができます。

1 全ルート図表示画面（128ページ）で、 案内開始 に約3秒以上タッチし続けます。

2 デモ中に、 現在地 （または メニュー ・ 目的地設定 ）を押すと、デモが終了し、現在地画面になります。

●デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

知識

ルート探索終了後、目的地案内が開始されたあとは、デモを見ることはできません。

目的地案内の中止

メニュー画面（48ページ）で、
案内中止 にタッチします。
●目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
●中止した目的地案内を再開させるときは、再度メニュー画面で、案内再開 にタッチします。

6.目的地への案内

交差点案内

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあるとき、交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点案内画面を表示させることができます。

分岐しない交差点

分岐する交差点（交差点案内画面）

①　②

④　①　②　③

①レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。

●走行を推奨する車線が青色で表示されます。

②交差点名称表示

通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

③残距離表示

交差点までの距離が表示されます。（交差点に近づくとともに■が短くなります。）

④案内ポイント

交差点案内画面が表示される交差点に表示されます。

知 識

●地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は表示されません。

●レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。

●以下のようなときは、交差点案内が行われないことがあります。

- 目的地案内開始直後
- 目的地周辺

●交差点案内画面は、遅れたり早くなることがあります。

●次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点案内画面が表示されます。

●交差点案内画面が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

交差点案内画面の解除

拡大解除 にタッチします。

●再度、交差点案内画面を表示させるには、 現在地 を押します。

また、 案内図替 にタッチして画面を切り替えることができます。

1 案内図替 にタッチします。

2 レーンリスト図にするときは レーンリスト 、通常の地図にするときは 地図 にタッチします。

●再度、交差点案内画面を表示させるには、この画面で、 拡大図 にタッチします。
また、 現在地 を押しても表示させることができます。

交差点案内画面のＯＮ・ＯＦＦ

交差点案内画面の自動表示をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 交差点拡大図自動表示の する 、または しない にタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

- ●交差点拡大図自動表示が しない に設定されていても、案内図替 から交差点拡大図を表示することができます。
- ●初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

立体的な案内画面

地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のある立体交差点・都市高速のＩＣ入口では、立体的な案内画面が表示されます。

3D交差点案内画面

交差点案内画面を立体的（３Ｄ）に表示させることができます。

■3Ｄ交差点案内画面のＯＮ・ＯＦＦ

3Ｄ交差点案内画面をＯＮ（3Ｄ表示する）にするか、ＯＦＦ（3Ｄ表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 3Ｄ交差点拡大図の する 、または しない にタッチします。
   ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

●レーンリスト図表示

レーン（車線）リスト図表示

分岐する交差点の手前（約700m以内）では、レーンリスト図（走行する交差点の名称とレーン表示）を最大4つまで表示させることができます。

知 識

レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では、交差点案内画面（154ページ参照）が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。）

レーンリスト図の解除

1 案内図替 にタッチします。

●タッチするごとに通常の地図とレーンリスト図が切り替わります。

2 交差点が近いときは、切り替える画面を選択する画面が表示されます。交差点案内画面にするときは 拡大図 、通常の地図にするときは 地図 にタッチします。

●再度、レーンリスト図を表示させるにはこの画面で、 レーンリスト にタッチします。また、 現在地 を押しても表示させることができます。

レーンリスト図表示のＯＮ・ＯＦＦ

レーンリスト図の自動表示をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定にタッチします。

2 レーンリスト自動表示の する 、または しない にタッチします。
   ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

●レーンリスト自動表示が しない に設定されていても、案内図替 からレーンリスト図を表示することができます。

●初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

到着予想時刻表示

到着予想時刻の表示

全ルート図表示画面と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、地図左下に到着予想時刻を表示させることができます。

知識

●到着予想時刻は設定した平均車速（次項目参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

●ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（　）になります。

平均車速の設定

以下のときの時刻・時間を計算する基準である平均車速を設定することができます。

●現在地画面の到着予想時刻

●全ルート図表示画面の到着予想時刻（128ページ）

●ハイウェイモードの通過予想時刻（66ページ）

●ルート情報の通過予想時刻（133ページ）

●5ルート表示の所要時間（135ページ）

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 到着予想時刻表示の 変更する にタッチします。

3 それぞれの道路の設定速度を入力します。

●速度を上げるときは ▶、下げるときは ◀ にタッチします。（タッチするたびに、5km/hずつ変更されます。）

4 完了 にタッチします。

知識

●最高速度（高速道120km/h・有料道80km/h・一般道60km/h）にすると ▶、最低速度（5km/h）にすると ◀ が灰色になり、タッチしても操作できません。

●初期状態 にタッチすると、初期設定の状態（高速道80km/h・有料道60km/h・一般道30km/h）にもどります。

料金案内

目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、料金所に近づくと、地図左上に料金を表示させ、音声で案内させることができます。

知識

- 地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報（164ページ参照）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このとき再探索が行なわれると、実際と異なる料金を案内されることがあります。
- 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索をしたときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは、**「料金不明」**と表示されます。

料金案内のＯＮ・ＯＦＦ

料金案内をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 料金案内の する 、または しない にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

車両情報の設定

以下のときの料金の計算、および提携駐車場（116ページ）を検索させるときの基準である車両情報を設定することができます。

●現在地画面の料金案内
　（162ページ）
●全ルート図表示画面の料金案内
　（128ページ）
●ルート情報の料金案内
　（133ページ）
●5ルート表示の料金案内
　（135ページ）

知 識

目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。

1 メニュー画面（48ページ）で、**各種設定** にタッチします。

2 車両情報設定の **変更する** にタッチします。

3 お客様の車のナンバープレートの分類番号（1・3・5・7）にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

4 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。

●寸法を大きくするときは ▶ 、小さくするときは ◀ にタッチします。（タッチするたびに、10cm、または5cmずつ変更されます。）

5 完了 にタッチします。

知 識

●車両寸法については、車検証をご覧ください。

●最大寸法（長さ600cmより大・幅250cmより大・高さ300cmより大）にすると ▶ 、最小寸法（長さ450cm以下・幅160cm以下・高さ150cm以下）にすると ◀ が灰色になり、タッチしても操作できません。

● 初期状態 にタッチすると、初期設定の状態（寸法が入力されていない状態）にもどります。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は　━━━（破線）で表示されます。

●フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。

●フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

ハイウェイモード（目的地案内中）

目的地案内中、高速道路にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

●ハイウェイモードの詳しい内容については、66ページ「ハイウェイモード」をご覧ください。

高速分岐案内

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあり、高速道路を走行しているとき、分岐点（出口ＩＣ・ＪＣＴ）が近づくと、高速分岐案内画面を表示させることができます。

①分岐点名称表示

ＩＣの出口名称、またはＪＣＴの方面名称が表示されます。

②残距離表示

分岐点までの距離が表示されます。（分岐点に近づくとともに■が短くなります。）

知 識

●地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない分岐点では、高速分岐案内は表示されません。また、高速分岐案内が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
●分岐点名称表示が実際の分岐点と異なることがあります。
●以下のようなときは、高速分岐案内が行われないことがあります。
・目的地案内開始直後
・目的地周辺
●高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
●次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

高速分岐案内画面の解除

拡大解除 にタッチします。

●再度、高速分岐案内画面を表示させるには、 **現在地** を押します。

また、 **案内図替** にタッチして画面を切り替えることができます。

1 **案内図替** にタッチします。

2 ハイウェイモードにするときは **高速略図** 、通常の地図にするときは **地図** にタッチします。

●再度、高速分岐案内画面を表示させるには、この画面で、 **分岐図** にタッチします。
また、 **現在地** を押しても表示させることができます。

高速分岐案内画面の ＯＮ・ＯＦＦ

高速分岐模式図自動表示をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、 各種設定 にタッチします。

2 高速分岐模式図自動表示の する 、または しない にタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

- ●高速分岐模式図自動表示が しない に設定されていても、 案内図替 から高速分岐模式図を表示することができます。
- ● 初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

都市高速マップ

目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、都市高速にはいると、都市高速マップを表示させることができます。

知 識

- 1/2万図～1/16万図の地図で表示させることができます。
- ＰＡにはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。
- 2画面表示（73ページ）にさせているときは、左画面に表示されます。

都市高速マップのＯＮ・ＯＦＦ

都市高速マップをＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 都市高マップ表示 にタッチします。
- 解除するときは、再度この画面で、都市高マップ解除 にタッチします。

都市高速マップ自動表示のＯＮ・ＯＦＦ

都市高速マップ自動表示をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 都市高マップ自動表示の する 、または しない にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

Ⅱ 目的地案内

まもなく右方向です

音声案内

以下のようなときに、音声案内が出力されます。

〔目的地案内中の音声案内の例〕

●分岐交差点手前で
「およそ700m先、○○を右方向です。」
「およそ300m先、○○を右方向です。」
「まもなく右方向です。」

●有料道路への進入時に
「まもなく右方向です。その先、高速道路です。」
「この先、料金所です。」

○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。
音声案内はあくまでも参考としてください。
現在地 を押すと、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が出力されます。

●音声案内をＯＦＦにしていても出力されます。（次ページ参照）

〔目的地に到着したときの音声案内の例〕

●目的地の手前で
「目的地周辺です。音声案内を終了します。」

知識

●上記の〔○○○**音声案内の例**〕は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。

●自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

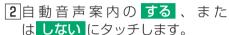
●音声案内の音量は調節することができます。（54ページ参照）

音声案内のＯＮ・ＯＦＦ

自動音声案内をＯＮ（出力する）にするか、ＯＦＦ（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1. メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2. 自動音声案内の する 、または しない にタッチします。
   - ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
3. 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

他モードでの案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

知 識

音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続されて行われています。

他モードでの案内のＯＮ・ＯＦＦ

他モードに切り替えたときの音声案内をＯＮ（出力する）にするか、ＯＦＦ（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 他モード時の案内の する 、または しない にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

Ⅱ 目的地案内

7.案内中の操作

オンルートスクロール

出発した地点、または目的地まで、ルートにそって地図を自動で移動させることができます。

●ＶＩＣＳ情報がある地点や用事がある施設の地点などを知ることができます。

 知 識

表示させていた地図にルートが表示されていないときは、オンルートスクロールをさせることはできません。

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 オンルートスクロール にタッチします。

3 スクロールの項目（▶G・S◀・▶|G・S|◀）にタッチします。

●設定されているスクロールの条件により、スクロールのされ方が異なります。（次ページ参照）

●スクロールの条件（次の目的地まで／次の施設まで）、または施設を変更するときは、設定 にタッチします。

4 設定 にタッチしたときは、次に表示された画面で、スクロールの条件・施設を選びます。（次ページ参照）

5 完了 にタッチすると、3の画面にもどりますので、スクロールの項目を選びます。

条件の選択

次の目的地まで、または次の施設までにタッチします。

■次の目的地まで

- ●▶G…次の目的地まで、地図が移動されます。
- ●S◀…出発した地点まで、地図が移動されます。
- ●▶|G…目的地の地図が表示されます。
- ●S|◀…出発した地点の地図が表示されます。

知 識

目的地が2カ所以上設定されているときは、上記の地点が
●目的地→次の目的地
●出発した地点→前の目的地
になります。

■次の施設まで

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

- ●▶G…目的地方向で、最寄りの施設まで地図が移動されます。
- ●S◀…出発した地点の方向で、最寄りの施設まで地図が移動されます。
- ●▶|G…目的地方向で、最寄りの施設の地図が表示されます。
- ●S|◀…出発した地点の方向で、最寄りの施設の地図が表示されます。

知 識

以下の地図より広域の地図を表示させていたときは、「次の施設まで」のスクロールをさせることはできません。
●▶G・S◀…1/8万図
●▶|G・S|◀…1/8万図

施設の選択

施設にタッチします。

●全ジャンルにタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外の施設の記号も表示させることができます。

●間違えたときは表示解除（全ジャンルにタッチしたときは選択解除）にタッチします。次の施設までを選択しているときは表示解除（選択解除）にタッチして解除することはできません。

知 識

施設を表示させているとき（92ページ参照）でも、表示させている施設と違う施設を選ぶことができます。

スクロール画面

●IIにタッチすると、地図の移動が一時停止されます。

●現在地を押すと、地図の移動が中止されます。

●▶▶G（またはS◀◀）にタッチすると、移動が早送りされます。

全ルート図を表示させるには

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 全ルート にタッチします。

●全ルート図表示画面の詳しい内容については、128ページ「全ルート図表示」をご覧ください。

残距離表示

残距離表示を切り替えるには

目的地が2カ所以上設定されているとき、切り替えることができます。

1 残距離表示にタッチします。

●目的地が2カ所のときは、タッチするごとに残距離が表示される目的地が切り替わります。

2 表示させたい目的地までの残距離表示にタッチします。

到着予想時刻を表示させているときは、到着予想時刻も目的地にあわせて切り替わります。

 知 識

状況により目的地までの距離の数値が異なります。

●現在地がルート上にあるとき…表示されているルートを通っての距離

●ルートからはずれたとき…直線距離

8.ルートの再探索

探索されたルートを変更するとき、または現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときに、ルートを再度探索させることができます。
目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をさせることができます。
再探索されるルートは、以下の7つの項目（タッチスイッチ）を選ぶことにより異なります。

項目（タッチスイッチ）		機　能
探索条件		——
ルート名称	推奨	現在地から次の目的地※4の間で、一般的なルートが探索されます。
	有料優先	現在地から次の目的地※4の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。
	一般優先	現在地から次の目的地※4の間で、一般道を優先してルートが探索されます。
	距離優先	現在地から次の目的地※4の間で、距離の短いルートが探索されます。
	別ルート※3	現在地から次の目的地※4の間で、選ばれているルートとは別のルートが探索されます。
周辺迂回※1		現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索します。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。） ●目的地案内開始前にはできません。
別道路探索※2（有料道から探索／一般道から探索）		有料道路と並行している一般道を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートが探索されます。 ●目的地案内開始前にはできません。

※1　ルートからはずれたときは、表示されません。
※2　有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは、表示されません。
※3　5ルート表示（134ページ）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。
※4　現在地と次の目的地の間にＩＣ・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているＩＣ・通過道路の間で、ルートが探索されます。

知 識

●道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
●ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地（ＩＣ・通過道路）に向かうルートが再探索されます。
●「○○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、有料優先 にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、一般優先 にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。

ルートの再探索

1 現在地画面で、再探索 にタッチします。

2 再探索させる項目にタッチすると、ルート探索が開始されます。
●ルート変更 にタッチしたときは、ルート変更画面（130ページ）が表示されます。

知 識

●次のG消去 にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して、再探索をさせることができます。
●次の◆解除 にタッチすると現在地の次の通過道路、IC 指定解除 にタッチするとＩＣの指定を解除して、再探索をさせることができます。

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。
●周辺探索…もとのルートへ復帰するルートが探索されます。
●全ルート探索…現在地から次の目的地※の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。

※　現在地と次の目的地の間にＩＣ・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているＩＣ・通過道路の間で、ルートが探索されます。

知 識

自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

自動再探索のＯＮ・ＯＦＦ

自動再探索をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定にタッチします。

2 自動再探索の する 、または しない にタッチします。
●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

Ⅱ 目的地案内

Ⅲ　地点の登録

1.メモリ地点の登録

メモリ地点（目印にする場所）は、地図に106カ所まで登録することができます。（自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所含む。すでに106カ所登録されているときは、不要なメモリ地点を消去してから登録してください。）
メモリ地点を登録しておくと、
●地図に記号で表示されます。
●近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
●目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。（99ページ参照）
さらに、自宅、または特別メモリ地点に登録しておけば、地図を呼び出すときに、ほかのメモリ地点と異なり、1回の操作で呼び出すことができます。
また、目的地の設定のときは、目的地設定画面から1回の操作でルート探索を開始させることができます。（99ページ参照）

知 識

●1/8万図より詳細な地図で登録することができます。（現在地画面のワンタッチ登録を除く）
●登録したメモリ地点は、住所とマップコードが表示されます。
●登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が同時に入力されることがあります。

メモリ地点の登録

1 メニュー画面（48ページ）で、メモリ地点にタッチします。

2 メモリ地点（自宅、特別メモリ地点含む）の登録にタッチします。

知 識

メモリ地点（自宅、特別メモリ地点含む）が登録されていないときは、修正・消去が灰色になり、タッチしても操作できません。

3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 98～118ページ**「5.地図の呼び出し方法」、「6.呼び出した地図の操作」**参照

4 **セット**にタッチします。

5 入力、修正をしたいときは、それぞれの項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降のページをご覧ください。
  - マーク…190ページ
  - 名称…193ページ
  - 地図上の名称表示…195ページ
  - 名称読み…196ページ
  - 位置…197ページ
  - 電話番号…198ページ
- **自宅・特別メモリに種別変更**にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に登録することができます。（199ページ**「メモリ地点の種別変更」**参照）

6 **完了**にタッチします。

ワンタッチ登録

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1 メモリ地点を登録する位置に地図を動かします。（現在地に登録するときは、地図を動かす必要はありません。）

2 にタッチします。
（または）の位置にメモリ地点がで表示されます。

知 識

高速道路走行中、現在地に登録したときは、方向付きで表示されます。

メモリ地点の修正・入力

1 184ページ「メモリ地点の登録」 2で表示された画面で、メモリ地点（自宅、特別メモリ地点含む）の 修正 にタッチします。

2 メモリ地点名称にタッチします。

●メモリ地点を選択したとき

●自宅、特別メモリ地点を選択したとき

3 修正、入力する項目にタッチします。

●修正、入力方法は以降のページをご覧ください。
- マーク…190ページ
- 名称…193ページ
- 地図上の名称表示…195ページ
- 名称読み…196ページ
- 位置…197ページ
- 電話番号…198ページ

●2で表示された画面で、メモリ地点を選択したときは、 自宅・特別メモリに種別変更 にタッチすると、メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。（199ページ「メモリ地点の種別変更」参照）

Ⅲ　地点の登録

●2で表示された画面で、自宅、または特別メモリ地点を選択したときは、
自宅・特別メモリの種別解除 にタッチすると、自宅、または特別メモリ地点に登録されている地点をメモリ地点に変更することができます。（200ページ「自宅、特別メモリの解除」参照）

4 **完了** にタッチします。

また、以下の方法でメモリ地点を修正することもできます。

1 地図を表示させているときに、修正したいメモリ地点にタッチします。

2 **情報** にタッチします。

メモリ地点情報　戻る
名称　名古屋市東山動植物園
住所　名古屋市千種区東山元町３丁目
電話番号　0527822111
修正　目的地セット

3 **修正** にタッチすると、前ページ「メモリ地点の修正・入力」3の画面が表示されます。

メモリ地点の記号変更

1 188ページ「メモリ地点の修正・入力」3で表示された画面で、**マーク** にタッチします。

2 次に表示された画面で、**マーク1** ・ **マーク2** ・ **音声付き** にタッチして、マークを選びます。

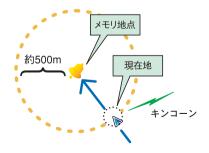
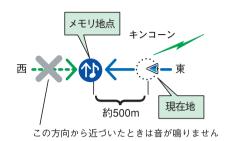
●マーク1

●マーク2

●「マーク2」の **マーク無し** にタッチすると、登録したメモリ地点が地図に表示されないようにすることができます。

●音声付き

●「音声付き」の記号を選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

- ● **音確認** にタッチすると、それぞれのマークに近づいたときに鳴る音が出力されます。

●「音声付き」の 方向付き にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。
例えば、東西に走る道路では、東側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、西側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。

3 方向付き にタッチしたときは、次に表示された画面で、方向を設定します。

●方向を反時計まわりに動かすときは ↶ 、時計まわりに動かすときは ↷ にタッチします。

●方向が決定したら、 セット にタッチします。

知識

メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

● 種別順 にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点の順に並びかわります。

● マーク順 にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。

● 登録順 にタッチすると、メモリ地点の登録順に並びかわります。

●種別順表示

●マーク順表示

●登録順表示

メモリ地点の名称入力

知識

入力することができる文字数は、最大12文字（半角のみのときは24文字）までです。

1 188ページ「メモリ地点の修正・入力」3で表示された画面で、**名称**にタッチします。

2 すでに名称が表示されているときは、**修正**にタッチして名称を消去します。
ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）
・**英数字**(アルファベット・数字)
・**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
●ひらがな入力と漢字入力については次ページの「ひらがな・漢字入力」をご覧ください。

3 **半角**（または**全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。
●**英数字**にタッチしてアルファベット・数字を入力するときは、さらに**大文字**（または**小文字**）にタッチして、入力する文字の書体を切り替えます。

4 名称を1文字ずつタッチして入力します。
●間違えたときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

5 **完了**にタッチします。

■ひらがな・漢字入力

1 「メモリ地点の名称入力」2で表示された画面で、文字（ひらがな）を入力します。

2 ひらがなを入力するときは、無変換、漢字を入力するときは、変換にタッチします。

3 変換にタッチしたときは、次に表示された画面（変換する熟語リスト）で、入力する熟語にタッチします。

●変換する文字の範囲を変更するときは、◀・▶にタッチして、範囲を変更します。

●全確定にタッチすると、表示されている状態で登録されます。

4 1の画面が表示されますので、完了にタッチします。

知識

●入力制限文字数を越えて入力しようとすると、メッセージが表示され、入力ができません。

●未確定状態で入力可能な文字は最大30文字です。最大入力文字数を越えると、メッセージが表示され、入力ができなくなります。この場合は、完了または無変換にタッチして、文字を確定するか、変換にタッチして文字列を変換してください。
なお、確定したとき、入力制限文字数を越えている場合は、越えた文字は削除されます。

メモリ地点の名称表示

地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。

知 識

1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。

■メモリ地点の名称表示のＯＮ・ＯＦＦ

メモリ地点の名称をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

188ページ「メモリ地点の修正・入力」③で表示された画面で、地図に名称表示するの右側にある **する**、または **しない** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

メモリ地点の名称読み入力

知 識

●入力することができる文字数は、最大24文字までです。
●メモリ地点に名称読みを入力しておくと、そのメモリ地点は、音声操作で地図を呼び出すことができます。（373ページ「メモリ地点で検索する」参照）

1 188ページ「メモリ地点の修正・入力」3で表示された画面で、**名称読み** にタッチします。

2 名称を1文字ずつタッチして入力します。
●間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

3 **完了** にタッチします。

メモリ地点の位置修正

1 188ページ「メモリ地点の修正・入力」3で表示された画面で、位置にタッチすると、地図が表示されます。

2 ⇧にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。

3 セットにタッチします。
●位置を修正すると、表示されている位置の住所とマップコードも修正されます。

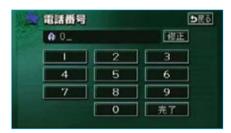
メモリ地点の電話番号入力

知 識

- メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。（108ページ参照）
- 入力することができる桁数は、最大11桁までです。

1 188ページ「メモリ地点の修正・入力」3で表示された画面で、**電話番号** にタッチします。

2 電話番号を1番号ずつタッチして入力します。
- 市外局番から入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

3 **完了** にタッチします。

メモリ地点の種別変更

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

1 188ページ「メモリ地点の修正・入力」3で表示された画面で、**自宅・特別メモリに種別変更**にタッチします。

2 自宅、または特別メモリ1～5のいずれかにタッチします。

3 すでに自宅、または特別メモリ地点が登録されているときは、次に表示された画面で、**はい**にタッチします。

- **いいえ**にタッチすると、もとの画面にもどります。
- **はい**にタッチすると、登録されていた地点は、メモリ地点になります。

自宅、特別メモリの解除

自宅、または特別メモリ地点に登録されている地点をメモリ地点に変更することができます。

1 188ページ「メモリ地点の修正・入力」3で表示された画面で、自宅・特別メモリの種別解除にタッチします。

2 はいにタッチします。

● いいえにタッチすると、もとの画面にもどります。

メモリ地点の消去

1 184ページ「メモリ地点の登録」2で表示された画面で、メモリ地点（自宅、特別メモリ地点含む）の 消去 にタッチします。

2 地点名称にタッチします。

●すべてのメモリ地点（自宅、特別メモリ地点含む）を消去するときは 全消去 にタッチします。

3 はい にタッチします。

●いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

2.迂回メモリ地点の登録

迂回メモリ地点は、地図に10カ所まで登録することができます。(10カ所登録されているときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。)
迂回メモリ地点を登録しておくと、ルートを探索させるとき、登録した地点(エリア)を迂回するルートを探索させることができます。
工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

知識

- 1/8万図より詳細な地図で登録することができます。
- 登録した迂回メモリ地点は、住所とマップコードが表示されます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が同時に入力されることがあります。

迂回メモリ地点の登録

1 メニュー画面(48ページ)で、メモリ地点にタッチします。

2 迂回メモリの登録にタッチします。

知識

迂回メモリ地点が登録されていないときは、修正・消去が灰色になり、タッチしても操作できません。

3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 98〜118ページ「5.地図の呼び出し方法」、「6.呼び出した地図の操作」参照

4 **セット** にタッチします。

5 迂回させる範囲を広くするときは ▲ 、狭くするときは ▼ にタッチします。

●▲・▼の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

知識

●最大範囲にすると ▲ 、迂回地点（✖）にすると ▼ が灰色になり、タッチしても操作できません。

●高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。迂回させたいときは、迂回地点（✖）を道路上に設定してください。

6 **セット** にタッチします。

7 **完了** にタッチします。

迂回メモリ地点の修正・入力

1 202ページ「迂回メモリ地点の登録」2で表示された画面で、迂回メモリの 修正 にタッチします。

2 地点名称にタッチします。

3 修正、入力する項目にタッチします。

- ●修正、入力方法はメモリ地点の修正、入力方法と同じです。
  - ●名称…193ページ
  - ●地図上の名称表示…195ページ
  - ●位置…197ページ
- ● 迂回エリア変更 にタッチすると、迂回させる範囲を変更することができます。（前ページ「迂回メモリ地点の登録」5～6参照）

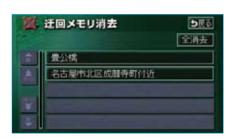
4 完了 にタッチします。

知識

迂回メモリ地点は専用の記号で表示され、記号を変更することはできません。

迂回メモリ地点の消去

1 202ページ「迂回メモリ地点の登録」2で表示された画面で、迂回メモリの 消去 にタッチします。

2 地点名称にタッチします。
●すべての迂回メモリ地点を消去するときは、 全消去 にタッチします。

3 はい にタッチします。
●いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

Ⅳ　こんなときは

1.補正が必要なとき

以下のようなときは、補正を行うことが必要です。
●タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。（距離の補正）

また、以下のようなときも補正を行うことができます。
●実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）とき…自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。（現在地の修正）
●走行中、地図の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自車位置マークの進み方を修正することができます。（距離の補正）

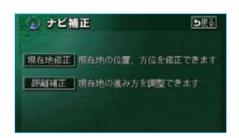
ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやＧＰＳ情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
ＧＰＳ情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

知 識

1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

現在地の修正

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 ナビ補正の 補正する にタッチします。

3 現在地修正 にタッチします。

4 ⇧ にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。

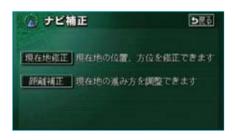
5 セット にタッチします。

6 方向を反時計まわりに動かすときは ⤹ 、時計まわりに動かすときは ⤸ にタッチします。

7 セット にタッチします。

距離の補正

1 メニュー画面（48ページ）で、**各種設定** にタッチします。

2 ナビ補正の **補正する** にタッチします。

3 **距離補正** にタッチします。

4 補正を行います。（次ページ参照）

知 識

初期状態 にタッチすると、手動補正（次ページ参照）の設定が初期設定の状態にもどります。

自動補正

「距離の補正」4で表示された画面で、自動補正にタッチします。

●自動補正モード中はタッチスイッチの色が明るくなります。

●ＧＰＳ情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチの色がもとにもどります。

手動補正

知 識

●新車時は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。

●自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。

●自動補正モード中は、手動補正をすることはできません。

1 「距離の補正」4で表示された画面で、自車位置マークの進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは ▶ （進める）、早く進むときは ◀ （遅らせる）にタッチします。

知 識

最も進めると ▶ 、最も遅らせると ◀ が灰色になり、タッチしても操作できません。

2 完了 にタッチします。

2.ナビの設定を記憶したいとき

各種ナビ設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。
記憶されている中から、ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

記憶することのできる設定項目

項目	ページ
地図向きの設定	70
地図表示モードの設定	73、76
地図表示縮尺の設定	62
2画面時の右画面の設定	74
音量設定	54
メニュー画面の各種設定項目の設定※	48、49
メンテナンス自動通知の設定	402
ＶＩＣＳ地図表示の設定	227
ＶＩＣＳ道路表示内容の設定	226
ＶＩＣＳ割込み設定	237
ＥＴＣの設定	478

※　車両情報設定は記憶することができません。

各種ナビ設定の記憶

1 各種ナビ設定を記憶したい状態に設定します。
- ●現在の設定をそのまま記憶するときは、変更する必要はありません。

2 メニュー画面（48ページ）で、ユーザーカスタマイズ にタッチします。

3 設定1～3の右側にある 記憶 にタッチします。

各種ナビ設定が記憶されていないときは、名称変更 、 消去 が灰色になり、タッチしても操作できません。

4 はい にタッチします。
- ●いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。
- ●3ですでに記憶されている設定を選んだときは、はい にタッチすると上書きされます。

5 新規で記憶するときは、次に表示された画面で、名称を入力します。
- ●入力方法は、193ページ「メモリ地点の名称入力」と同じです。

記憶の呼び出し

前ページ「各種ナビ設定の記憶」3で表示された画面で、設定1～3のいずれかにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチに記憶されている各種ナビ設定の状態に設定を変更します。

名称の変更

1 前ページ「各種ナビ設定の記憶」3で表示された画面で、設定1～3の右側にある 名称変更 にタッチします。

2 修正、入力します。

●修正、入力方法は、193ページ「メモリ地点の名称入力」と同じです。

各種ナビ設定の記憶の消去

1 211ページ「各種ナビ設定の記憶」3で表示された画面で、設定1～3の右側にある 消去 にタッチします。

2 はい にタッチします。

● いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

3.知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原　因	処　置
自宅が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、自宅に帰る または 自宅周辺 にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。（184ページ参照）
特別メモリ地点が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 1 ～ 5 または特別メモリに行く 1 ～ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（184ページ参照）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。

メッセージ	原　因	処　置
この縮尺では位置が特定できません詳細な地図に切り替えます	1/8万図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（現在地画面のワンタッチメモリ地点登録のときを除く）	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8万図以下）で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
メモリ地点が登録されていませんメモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（184ページ参照）
これ以上登録できません消去してからお使い下さい	メモリ地点を登録した数が106カ所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（201ページ参照）

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症　状	考えられること	処　置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（57ページ参照）
自車位置マーク が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（57ページ参照）
ＧＰＳマークが表示されない。	ＧＰＳ情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、ＧＰＳアンテナ上部（22ページ参照）に物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（153ページ参照）
	案内の音量が小さく（音声ＯＦＦに）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（54ページ参照）
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

症　状	考えられること	処　置
エンジン スイッチを“ＯＮ”にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。（17ページ参照）
実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。（自車位置マークがずれている。）	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやＧＰＳ情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）ＧＰＳ情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（206ページ参照）
リストの中に目的の名称がない	リストをページごと、または50音ごとに飛ばして動かしていませんか。	1項目ずつ動かしてください。（50ページ参照）

精度について

以下のようなときは、故障ではありません。

知 識

このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（209ページ参照）

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さなＹ字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マークが表示されることがあります。
- 隣の道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- バッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくにスタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が4輪とも指定の空気圧でないとき

●摩耗したタイヤに交換したとき
（2シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）

●ビルの近くを走行したとき

●ルーフキャリヤを取りつけたとき

●高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングやＧＰＳ情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

●直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。

●交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。

●案内が行われない交差点があります。

●Ｕターン禁止の場所で、Ｕターンするルートの案内が行われることがあります。

●実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路など）の案内が行われることがあります。

●目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。

●ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

●再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わない。

●高速走行時の再探索時間が長い。

●再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になる。

●通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へもどるルートが表示される。

●再探索しても、ルートがかわらない。

●ルートが探索されない。

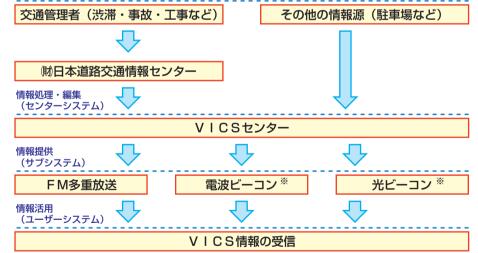
V　VICS

1.VICSの概要

VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICSサービスの仕組み

VICSは大きく分けて「情報収集」、「情報処理・編集」、「情報提供」、「情報活用」の4つのブロックから成り立っています。

VICSリンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会・財団法人 日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された VICS のロゴマークは財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

※　電波ビーコン・光ビーコンは、販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したときのみ受信することができます。

ＶＩＣＳについて

ＶＩＣＳのメディア

ＶＩＣＳは、ＦＭ多重放送・電波ビーコン※・光ビーコン※の3つのメディアを受信することができます。
●3つのメディアはそれぞれ特長が異なります。
※　電波ビーコン・光ビーコンは、販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したときのみ受信することができます。

■ＦＭ多重放送

ＦＭ多重放送は、ＶＩＣＳ提供ＦＭ放送局（ＮＨＫ－ＦＭ）から電波の届く範囲の車両にＶＩＣＳ情報の提供が行われます。

■電波ビーコン※

電波ビーコンは、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両にＶＩＣＳ情報の提供が行われます。

■光ビーコン※

光ビーコンは、おもに一般道の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両にＶＩＣＳ情報の提供が行われます。

ＶＩＣＳの運用時間

24時間。
ただし、ＦＭ多重放送は、第1、第3月曜日のＡＭ1：00～5：00の間はメンテナンスのため休止する場合があります。
●休止時間については、ＶＩＣＳ ＦＭ多重放送の「お知らせ」で案内します。
●ＶＩＣＳの運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

ＶＩＣＳ情報を受信できないとき

このＤＶＤボイスナビゲーションのＶＩＣＳは、ＦＭ多重放送のみを利用するシステムのため、以下のようなときは、ＶＩＣＳ情報が受信されません。
●ＡＭ放送（交通情報放送を含む）を受信しているとき
●ＶＩＣＳ提供ＦＭ放送局以外のＦＭ放送を受信しているとき
●オーディオの電源がＯＦＦのとき
●ＴＶ映像をご覧になっているとき
また、上記のとき以外でも、ＶＩＣＳ情報が受信されないことがあります。その場合、オーディオの選局で、ＶＩＣＳ提供ＦＭ放送局を選択してください。

知っておいていただきたいこと

●提供されるＶＩＣＳ情報はあくまでも参考としてください。（提供されるＶＩＣＳ情報は、最新ではないことがあります。）
●電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが､新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
●ＶＩＣＳの表示内容は、ＶＩＣＳセンターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
●ＶＩＣＳ情報が発信されている地域により、情報の内容は異なります。
●ＶＩＣＳによる交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

ＦＭ多重放送特有の事項

●ＦＭ多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うのに時間がかかることがあります。
●以下のようなときは、ＶＩＣＳ情報が受信されないことがあります。
　●トンネルの中にいるとき
　●高層ビルの谷間にいるとき
　●高架道路の下にいるとき
　●盆地にいるとき
　●大型車とすれちがったとき

電波ビーコン特有の事項

●電波ビーコンは、直線的にしか電波が届きません。
●以下のようなときは、ＶＩＣＳ情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
　●電波ビーコンを発信する路側に街路樹が茂っているとき
　●トンネルの中にいるとき
　●高架道路の下にいるとき
　●大型車と並んで走行しているとき
　●アンテナ付近に障害物があるとき
　●高速道路の下の一般道を走行しているとき、高速道路の電波ビーコンが受信されることがあります。

光ビーコン特有の事項

以下のようなときは、ＶＩＣＳ情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
●太陽と重なったとき
●雪が積もっているときやフロントガラスがよごれているとき
●アンテナ付近に障害物があるとき

ＶＩＣＳの用語

より有効にＶＩＣＳを利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■緊急情報

津波情報などの緊急に伝達される必要のある情報の場合、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

知 識

●ＦＭ多重にて緊急情報を受信すると、自動的に緊急情報の表示画面に切り替わります。（オーディオの電源がＯＦＦのときは切り替わりません。）
また、販売店装着オプションのビーコンユニットを装着し、電波ビーコン・光ビーコンにて緊急情報を受信した場合は、オーディオの電源をＯＦＦにしていても割り込み情報を表示します。

●緊急情報を連続して受信しているときはもとの表示画面に戻すことができません。もとの表示画面に戻したいときは、オーディオの電源をＯＦＦにしＦＭ多重放送の受信を中止してください。

■交通情報関連の用語

（1）渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
（2）混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

■駐車場・ＳＡ・ＰＡ関連の用語

（1）空車：駐車場（ＳＡ・ＰＡ）の利用が可能な状態を示します。
（2）混雑：駐車場（ＳＡ・ＰＡ）において、利用率が高い状態を示します。
（3）満車：駐車場（ＳＡ・ＰＡ）において、ほぼ満車の状態を示します。
（4）不明：駐車場（ＳＡ・ＰＡ）の情報がない状態を示します。
（5）閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

ＶＩＣＳの問い合わせ先

■以下の内容は、トヨタ販売店にご相談ください。

●ＶＩＣＳ車載機の調子・機能・使用方法・その他に関するもの。
●ＶＩＣＳ情報の表示に関するもの。
●ＶＩＣＳのサービスエリアに関するもの。
●その他上記に類するもの。

■以下の内容は、ＶＩＣＳセンター※にご相談ください。

●ＶＩＣＳ文字情報・ＶＩＣＳ図形情報に関するもの。
●ＶＩＣＳの概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの。

※　ＶＩＣＳセンター
●電話番号（受け付け時間…9：30～17：45、土曜・日曜・祝日を除く）
03─3592─2033（東京）　（ＰＨＳ専用）
06─6209─2033（大阪）　（ＰＨＳ専用）
0570─00─8831（全国共通）　（ＰＨＳを除く）
●ＦＡＸ番号（受け付け時間…24時間）
03─3592─5494

ＶＩＣＳ記号・表示について

表示	道路の種類
緑線	ＶＩＣＳ対象道
茶線	ＶＩＣＳ非対象道
黒線※	通行止めの区間
赤矢印	渋滞している道路
黄矢印	混雑している道路
青矢印	すいている道路

※夜画のときは白色で表示されます。

記号	駐車場・ＳＡ・ＰＡ情報
P	駐車場（空車）
P	駐車場（混雑）
P	駐車場（満車）
P	駐車場（不明）
P	駐車場（閉鎖）
SA PA	ＳＡ・ＰＡ（空車）
SA PA	ＳＡ・ＰＡ（混雑）
SA PA	ＳＡ・ＰＡ（満車）
SA PA	ＳＡ・ＰＡ（不明）
SA PA	ＳＡ・ＰＡ（閉鎖）

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制

記号	規制情報
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

●表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数のＶＩＣＳ情報が代表して1つの記号で表示されることがあります。

2.ＶＩＣＳ情報の表示

ＶＩＣＳ情報の表示の設定

1 地図を表示させているときに、 表示変更 にタッチします。

2 ＶＩＣＳ にタッチします。

3 表示設定 にタッチします。

4 ＶＩＣＳ情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

- 渋滞・混雑 …渋滞・混雑している道路の表示
- 空き道 …空いている道路の表示
- 規制情報 …事象・規制のある道路の表示
- 駐車場 …駐車場情報の表示

● 「表示する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

5 完了 にタッチします。

●ＶＩＣＳ情報表示

●ＶＩＣＳ情報表示（ハイウェイモード）

ＶＩＣＳ情報の表示

地図にＶＩＣＳ情報（ＶＩＣＳ記号・表示）を表示させることができます。

知識

●1/8万図より詳細な地図で表示させることができますが、ＶＩＣＳ記号によっては、1/8万図では表示されない記号もあります。

●ＶＩＣＳ情報の表示で、**一般道のみ** に設定しているときは、ハイウェイモード（66ページ）でもＶＩＣＳ情報が表示されます。**非表示** に設定しているときは、ＶＩＣＳ情報は表示されません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **ＶＩＣＳ** にタッチします。

3 **全て**（一般道・高速道路両方）・**高速道のみ**（高速道路のみ）・**一般道のみ**（一般道のみ）のいずれかにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

タイムスタンプ

4 地図にタイムスタンプが表示されます。

タイムスタンプ

●タイムスタンプは、ＶＩＣＳ情報が提供された時刻を示しています。（ＶＩＣＳ情報が受信された時刻ではありません。）
●タイムスタンプは、ＶＩＣＳ情報が継続して受信されないと、約30分後に自動的に消去され（--：--の表示になり）ます。
●ＶＩＣＳ情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が--：--になります。
●ルート上（約10km以内）にＶＩＣＳ情報があるときは、色がかわります。（目的地案内中で、現在地がルート上にあるときのみ。）
- 赤色（8：00）…渋滞情報があります。
- 橙色（8：00）…混雑情報があります。
- 黄色（8：00）…交通規制情報があります。

●ＦＭ多重放送が受信されていないときは、ＶＩＣＳの文字が灰色になります。
●タイムスタンプが緑色になっているときにタッチすると、渋滞・規制音声案内を出力させることができます。（231ページ参照）

ＶＩＣＳ記号の内容の表示

規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチすると、ＶＩＣＳ記号の内容と現在地からの直線距離が表示されます。

 知 識

ＶＩＣＳ記号によっては、内容が表示されないＶＩＣＳ記号もあります。

ＶＩＣＳ情報の消去

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 ＶＩＣＳ にタッチします。

3 非表示 にタッチします。
- ●タイムスタンプも表示されなくなります。

渋滞・規制音声案内

ルート上（約10km以内）のＶＩＣＳ情報の案内が音声で出力されるようにすることができます。（目的地案内中で、現在地がルート上にあるときのみ）

以下のようなときに、音声案内が出力されます。

〔音声案内の例〕

●ＶＩＣＳ表示がある地点では、
「およそ1km先、渋滞があります。」

●ＶＩＣＳ記号のある地点では、
「およそ5km先、電気工事のため、車線規制中です。」

音声案内はあくまでも参考としてください。

知識

●上記の**〔音声案内の例〕**は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。

●自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内の ON・OFF

渋滞・規制音声自動発声をＯＮ（出力する）にするか、ＯＦＦ（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定 にタッチします。

2 ＶＩＣＳ渋滞・規制音声自動発声の する 、または しない にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

渋滞・規制音声案内の再出力

一度出力された渋滞・規制音声案内を再度出力させることができます。

地図を表示させているときに、タイムスタンプにタッチします。

タイムスタンプ

●一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが緑色（タッチスイッチ）になり操作することができます。

知 識

ＶＩＣＳ渋滞・規制音声自動発声が しない に設定されていても、タイムスタンプが緑色になっていれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

ＶＩＣＳ図形情報の表示

1 メニュー画面（48ページ）で、ＶＩＣＳ にタッチします。

2 ＦＭ図形 にタッチします。

3 図形情報の番号にタッチします。

●文字 にタッチすると、ＶＩＣＳ文字情報が表示されます。（234ページ参照）

4 ▲・▼、または 自動送り にタッチします。

前回図形情報を表示させたときに自動送りを選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。

●▲・▼にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。

●自動送り にタッチすると、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。走行中は自動送りできません。

●図形情報の自動送りを中止するときは、停止にタッチします。また、自動送り中に▲・▼にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
●文字にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。(次ページ参照)
●目次にタッチすると、3の画面が表示されます。

ＶＩＣＳ文字情報の表示

1 メニュー画面（48ページ）で、ＶＩＣＳにタッチします。

2 ＦＭ文字にタッチします。

3 文字情報の番号にタッチします。

- 図形にタッチすると、ＶＩＣＳ図形情報が表示されます。（232ページ参照）

4 ▲・▼、または自動送りにタッチします。

前回文字情報を表示させたときに自動送りを選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。

- ▲・▼にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- 自動送りにタッチすると、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。走行中は自動送りできません。

●文字情報の自動送りを中止するときは、停止にタッチします。また、自動送り中に▲・▼にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
●図形にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。(232ページ参照)
●目次にタッチすると、3の画面が表示されます。

●割り込み情報の表示

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンユニットを装着したときのみ

ビーコンからのＶＩＣＳ情報が受信されたとき、ＶＩＣＳ文字情報（または図形情報）を自動的に表示させることができます。

● ▼ ・ ▲ にタッチして、割り込み情報を切り替えます。
  - 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、 図形 （図形情報を表示させているときは 文字 ）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。

● 表示消 にタッチする、または約15秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。
表示時間は調整することができます。表示時間の調整は、238ページ「割り込み情報の表示時間調整」をご覧ください。

知 識

表示させている画面により、割り込み情報が表示されないことがあります。

割り込み情報の表示の ON・OFF

割り込み情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、VICSにタッチします。

2 割込設定にタッチします。

3 割り込み情報の項目のする、またはしないにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

●注意警戒情報
注意警戒情報の表示
●ビーコン文字情報
文字情報の表示
●ビーコン図形情報
図形情報の表示

4 完了にタッチします。

知 識

割り込み情報をOFF（表示しない）にしていても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

割り込み情報の表示時間調整

割り込み情報が表示されてから、もとの画面にもどるまでの時間を調整することができます。

1 「割り込み情報の表示のＯＮ・ＯＦＦ」3で表示された画面で、自動割込みの表示時間の ▷ 、または ◁ にタッチして調整します。

●表示時間を長くするときは ▷ 、短くするときは ◁ にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます。）

2 完了 にタッチします。

知 識

最長（30秒）にすると ▷ 、最短（5秒）にすると ◁ が灰色になり、タッチしても操作できません。

割り込み情報の呼び出し

割り込み情報をＯＦＦ（表示しない）にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

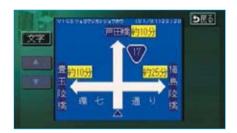
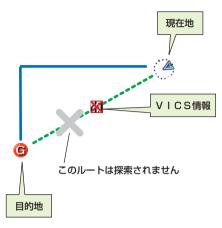
1 メニュー画面（48ページ）で、ＶＩＣＳにタッチします。

2 割込情報にタッチします。

知 識

提供時刻より約30分以上経過した割り込み情報は、表示させることができません。

3 ▼・▲にタッチして、割り込み情報を切り替えます。

●文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、図形（図形情報を表示させているときは文字）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。

渋滞考慮探索

ビーコンユニットを装着したときのみ

ビーコンからのＶＩＣＳ情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報が考慮されてルートを探索させることができます。

知識

現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

渋滞考慮探索のＯＮ・ＯＦＦ

渋滞考慮探索をＯＮ（する）にするか、ＯＦＦ（しない）にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、各種設定にタッチします。

2 渋滞考慮探索の する 、または しない にタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 完了 にタッチします。

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

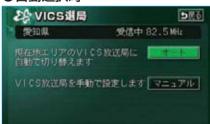
3.放送局の選択

放送局の選択

ＶＩＣＳ情報を提供しているＦＭ放送局を選ぶことができます。

1 メニュー画面（48ページ）で、ＶＩＣＳ にタッチします。

2 ＶＩＣＳ選局 にタッチします。

●自動選択時

●手動選択時

●表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択、または手動選択）により異なります。

●通常は、オート（自動選択）にしておいてください。「オート」で受信されないときのみ、マニュアル（手動選択）で放送局（または放送エリア）を選択してください。

知識

新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

自動選択

現在地がある都道府県の、ＶＩＣＳ提供ＦＭ放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に放送局が切り替わります。

「放送局の選択」で表示された手動選択時の画面で、オート にタッチします。

手動選択（エリア選択）

選んだ都道府県のＶＩＣＳ提供ＦＭ放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

1 **「放送局の選択」**で表示された自動選択時の画面で、マニュアルにタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。
●放送局の電波が受信されると、「**受信中**」が表示されます。

3 完了にタッチします。

手動選択（周波数選択）

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 **「放送局の選択」**で表示された自動選択時の画面で、マニュアルにタッチします。

2 ＴＵＮＥ▲・ＴＵＮＥ▼にタッチして、放送局の周波数を選びます。
●放送局の電波が受信されると、「**受信中**」が表示されます。

3 完了にタッチします。

デジタルテレビ

はじめに

	本機は各種データをデジタルテレビチューナーに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、保存されたデータ等が変化・消失する場合があります。 お客様が保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

B－CASカードについて

本機には、地上デジタルテレビ放送の著作権保護方式に対応するため、Ｂ－ＣＡＳカードが内蔵されています。このカードの所有権は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下、Ｂ－ＣＡＳ社）に帰属しており、その使用に関する事項は「使用許諾契約約款」によります。より詳しい情報は、Ｂ－ＣＡＳ社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。

	本機に内蔵されているＢ－ＣＡＳカードを取りはずすことはできません。

知 識

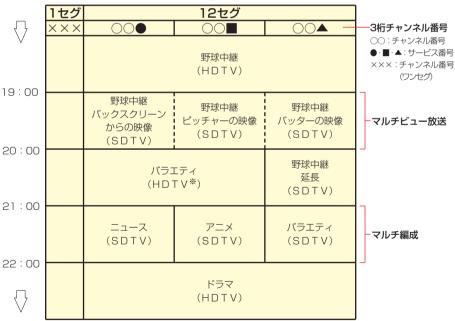
●Ｂ－ＣＡＳカードの動作確認については285ページ「Ｂ－ＣＡＳカードの動作確認」をご覧ください。

●Ｂ－ＣＡＳ社からカード交換（不具合対応やバージョンアップ等）に関する通知があった場合は、トヨタ販売店へお問い合わせください。

デジタルテレビ

地上デジタルテレビ放送について

地上デジタルテレビ放送について

地上デジタルテレビ放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルテレビ放送は12セグメントを使用した、ハイビジョン映像（ＨＤＴＶ）や標準映像（ＳＤＴＶ）の放送を指します。1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯・移動体向けの放送に使用されます。
標準映像の番組は4セグメントを使用するため、最大で3つの番組を同時に提供するマルチ編成や、1つの番組で最大で3つの映像を提供するマルチビュー放送を行うことができます。

※標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

知 識

●ワンセグ放送のチャンネル番号は通常の地上デジタルテレビ放送と異なり、611～728に割り当てられています。
●ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。

チャンネル・サービス番号の表示について

本機は受信している番組を、2桁のチャンネル番号と1桁のサービス番号を合わせた、3桁チャンネル番号で表しています。

●チャンネル番号…各地域の放送局に割り当てられているリモコンの番号です。チャンネル番号の切り替えについては256ページ「プリセットチャンネルでの選択」参照。

●サービス番号…チャンネル内の番組に割り当てられた番号です。サービス番号の切り替えについては258ページ「番組の選択」参照。

3桁チャンネル番号

■物理チャンネルについて

物理チャンネルとは、各放送局が実際に送信している固有のチャンネルのことです。本機はリモコンに割り当てられたチャンネルの他に、物理チャンネルを切り替えて番組を選ぶことができます。

●物理チャンネルの切り替えについては256ページ「TUNEスイッチでの選択」参照。

●本機では、放送していないチャンネルを選択している場合、放送局名として物理チャンネルが表示されます。

知識

地上アナログテレビ放送は、リモコンに割り当てられているチャンネルと、各放送局が実際に送信しているチャンネル（物理チャンネル）が同じでした。
地上デジタルテレビ放送は地上アナログテレビ放送と異なり、リモコンに割り当てられたチャンネルと、各放送局が実際に送信しているチャンネルが異なります。

●東海テレビの場合

	リモコンに割り当てられているチャンネル	物理チャンネル
地上アナログテレビ放送	1	1
地上デジタルテレビ放送	1	21（15）

リモコンについて

リモコンについて

地上デジタルテレビ放送はＤＶＤ・テレビリモコンの各スイッチを押して操作します。また、画面上に表示されるスイッチもリモコンで操作します。前席と後席にそれぞれ1つずつリモコンがあります。

リモコンの収納・操作・電池について

前席

「ＤＶＤ・テレビリモコン」（12ページ）をご覧ください。

後席

「リヤ エレクトロマルチビジョン」（484ページ）をご覧ください。

リモコン

テレビスイッチ
(254ページ)
ビデオスイッチ
(254ページ)
受信切替スイッチ
(259ページ)
音量スイッチ
(254ページ)
AUTO・P
スイッチ
(260ページ)
表示スイッチ
(255、257ページ)
サービス切替スイッチ
(258ページ)
アンテナスイッチ
(275ページ)
サービス一覧スイッチ
(258ページ)
番組表スイッチ
(265ページ)
10キー(テンキー)
(256、257、259、
260、268、280
ページ)
d(データ)スイッチ
(256、259、267、
268、279ページ)
P・CHスイッチ
(256ページ)
TUNEスイッチ
(256ページ)
戻るスイッチ
(251ページ)
ブックマークスイッチ
(269ページ)
色スイッチ
(268ページ)
初期設定スイッチ
(276ページ)
字幕スイッチ
(263ページ)
音声スイッチ
(261、263ページ)
DVD・テレビ
切替スイッチ
(251ページ)
カーソルキー、
決定スイッチ
(251ページ)
映像スイッチ
(262ページ)
電源オフ
ワイド
音量
DVD
巻戻し
再生
一時停止
早送り
テレビ
ビデオ
スロー
前へ
次へ
受信切替
AUTO・P
表示
サービス切替
アンテナ
サービス一覧
番組表
データ
戻る
TUNE
P・CH
青
赤
緑
黄
ブックマーク
音声
映像
字幕
初期設定
決定
DVD
テレビ
カーソル
Century
DVD・テレビリモコン
押

リモコンでデジタルテレビを操作するには

ＤＶＤ・テレビ切替スイッチがテレビ側になっていることを確認し、デジタルテレビを操作してください。

画面に表示されるスイッチの操作

画面に表示されるスイッチは、リモコンのカーソルキーを押して選択し、決定を押して操作します。

●カーソルキーを押し続けている間、カーソルが連続で移動します。

●スイッチのまわりの黄色の枠は、そのスイッチが選択されていることを表します。

●画面に 戻る が表示されている画面では、上記の操作以外に 戻る を押して1つ前の画面に戻ることもできます。

〈例：番組切替画面の場合〉

このスイッチが選択されています。

初回起動時の設定

初回起動時の設定

デジタルテレビを初めてご使用になる際は、データ放送で地域情報を受信するために居住地域を設定する必要があります。（278ページ参照）

地上デジタルテレビの操作

地上デジタルテレビをご覧になる前に

エンジン スイッチが“ ＡＣＣ ”、または“ ＯＮ ”で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

●デジタルテレビが表示されないときは、 テレビ または テレビ を押してデジタルテレビモードに切り替えます。(254ページ参照)

知 識

●地上デジタルテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
この関係の主な例を次に説明します。
- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。

●本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。

●地上デジタルテレビ放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch放送）を放送している場合があります。
本機はAAC5.1ch放送に対応していないため、AAC5.1ch放送を受信しても、2ch再生となります。

音量・音質・画面の調整

●音量・音質の調整は、**「センチュリー取扱書」**の**「オーディオの使い方」**の項目をご覧ください。

●画面の調整は、次のページをご覧ください。

前席での操作

17ページ「画質調整」

後席での操作

502ページ「画質調整」

リモコンでの音量調整

音量を、
●大きくするときは音量スイッチの▲側、
●小さくするときは音量スイッチの▼側、
を押します。
スイッチを押してすぐ（約1秒未満）に手を離すと、音量を1ステップずつ調整できます。
スイッチを1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

デジタルテレビモードにするには

フロント エレクトロマルチビジョンでの操作

●操作画面

テレビを押すと、操作画面が表示されます。
●決定にタッチすると操作画面が解除されます。
●設定にタッチすると設定画面が表示されます。

リモコンでの操作

ＤＶＤ・テレビリモコンのＤＶＤ・テレビ切替スイッチがテレビ側になっていることを確認し、テレビを押します。

●何も表示されず、音声も出力されない場合やビデオ端子（23ページ参照）に接続した映像が表示されたときはビデオを押します。
- ビデオを押すごとにデジタルテレビとビデオ端子に接続した機器の映像が切り替わります。

スクリーン表示について

プリセットチャンネル番号

入力モード

スクリーン表示

デジタルテレビ画面に切り替えたときに、約6秒間表示されます。

●デジタルテレビをご覧になっているときに［表示］を押しても、表示させることができます。

設定画面

前席での操作

●設定画面

操作画面で［設定］にタッチします。

●［Normal］・［Wide 1］・［Wide 2］にタッチするとワイド画面モードを切り替えることができます。(20ページ参照)

●［決定］にタッチすると設定画面が解除されます。

チャンネルの選択

放送局のチャンネルを選択することができます。

ＴＵＮＥスイッチでの選択

●物理チャンネルを、
- ●大きい方へ選択するときはＴＵＮＥスイッチの［▶▶］側、
- ●小さい方へ選択するときはＴＵＮＥスイッチの［◀◀］側、

を押します。

●ＴＵＮＥスイッチを１秒以上押し続けると、自動で受信可能な物理チャンネルを選択します。
- ●受信感度が良く、現在画面に表示されている物理チャンネルに一番近いチャンネルを自動で選択します。
- ●途中で止めたいときは、もう一度ＴＵＮＥスイッチを押します。

知 識

地域や車の向きなどの条件により、すべてのチャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

プリセットチャンネルでの選択

プリセットスイッチにチャンネルが記憶してある場合、プリセットチャンネルから選択できます。
（プリセットチャンネルの記憶は259ページ「チャンネルを記憶させるには」参照）

■P・CHスイッチでの選択

プリセットチャンネルを、
- ●大きい方へ選択するときはＰ・ＣＨスイッチの［▲］側、
- ●小さい方へ選択するときはＰ・ＣＨスイッチの［▼］側、

を押します。

■10キー（テンキー）での選択

入力モードがPchモード（プリセットチャンネルモード）の場合に選択できます。Pchモードになっていないときは、［d］を1秒以上押し続けて入力モードを切り替えてください。
テンキー（［1］～［12］）を押すと、押した番号のプリセットチャンネルが選択されます。

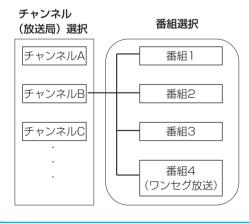
■プリセットチャンネル一覧画面

プリセットチャンネル（[1]～[12]）に記憶しているチャンネルの一覧を見ることができます。

[表示]を1秒以上押し続けると表示されます。

- ●この画面でP・CHスイッチの[▲]、[▼]またはテンキー（[1]～[12]）を押してチャンネルを選択することができます。
- ●もう一度[表示]を押す、または[決定]を押すとプリセットチャンネル一覧画面が解除され、もとの画面にもどります。

知識

- ●地上デジタルテレビ放送では1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- ●1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。

番組の選択

サービス切替スイッチでの選択

［サービス切替］を押すごとに番組が切り替わります。

●ご覧のチャンネルがワンセグ放送を行っている場合、
［サービス切替］を押してワンセグ放送に切り替えることができます。

番組切替画面での選択

●番組切替画面

1 ［サービス一覧］を押します。
●番組切替画面が表示されます。

2 カーソルキーを押して、見たい番組を選択します。

3 ［決定］を押します。
●プレビュー画面に選択した番組が表示されます。

4 カーソルキーを押して、 完了 を選択します。

5 ［決定］を押します。
●放送局受信画面に切り替わります。

ワンセグ放送の選択

受信切替を押すごとに、通常の地上デジタルテレビ放送とワンセグ放送が切り替わります。

知 識

●ワンセグ放送を受信しているときは、スクリーン表示（255ページ参照）に「ワンセグ」と表示されます。
●ワンセグ放送のサービス番号は６１１～７２８に割り当てられています。
●ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送を行っていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
●ワンセグ自動切替が する に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。（282ページ参照）

チャンネルを記憶させるには

プリセットチャンネルに放送局のチャンネルをあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチでそのチャンネルを選択することができます。
●12局までチャンネルを記憶させることができます。
テンキー（1～12）を操作する場合は、入力モードがPchモード（プリセットチャンネルモード）の場合に操作できます。Pchモードになっていないときは、dを1秒以上押し続けて入力モードを切り替えてください。

手動で記憶させるには（マニュアルプリセット）

自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局のチャンネルを記憶させておくと便利です。
●「ＡＵＴＯ.Ｐ」が表示されているときは、AUTO・Pを押して、マニュアルに切り替えてください。

1 ＴＵＮＥスイッチで記憶させたいチャンネルを選択します。
（256ページ「チャンネルの選択」参照）

2 記憶させたい番号のプリセットチャンネル（1～12）を2秒以上押し続けます。
●チャンネルが記憶され、テンキーで選局できるようになります。

自動で記憶させるには（オートプリセット）

自動で受信可能なチャンネルを、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。
●旅先などで放送局のチャンネルが分からないときなどに便利です。

■チャンネルを記憶させるには

AUTO・P を2秒以上押し続けます。
●チャンネルの記憶には約50秒ほどかかります。
●自動選局が終了すると、プリセットチャンネル一覧画面（257ページ参照）が表示されます。
●もう一度、AUTO・P を押すと、マニュアルで記憶したチャンネルに切り替わります。（このときＡＵＴＯ.Ｐで記憶したチャンネルは消去されます。）

■ＡＵＴＯ.Ｐで記憶させたチャンネルを変更するには

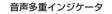
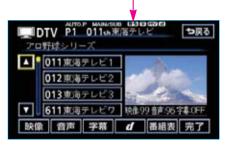
1 ＴＵＮＥスイッチで記憶させたいチャンネルを選択します。
（256ページ「チャンネルの選択」参照）

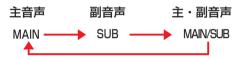
2 記憶させたい番号のテンキー（1～12）を2秒以上押し続けます。

知 識

●地域や車の向きなどの条件により、すべてのチャンネルの受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
●同じ放送局からの受信でも、ＴＵＮＥスイッチで記憶させたチャンネルと AUTO・P で記憶させたチャンネルは一致しないことがあります。
● AUTO・P によるチャンネルの記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶されるチャンネルが異なることがあります。
●ＡＵＴＯ.Ｐでの自動受信をした場合、地上アナログテレビ放送の電波などを受信することがあります。
●受信感度の良いチャンネルを小さい順に12局まで自動的に記憶します。
●受信チャンネルが12局未満のときは、残りのプリセットチャンネルには何も記憶されません。

音声多重放送の音声モードの切り替え

音声多重放送を受信している場合、番組切替画面（258ページ参照）に音声多重インジケータが表示され、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

音声 を押します。

● 音声 を押すごとに、次の順に音声が切り替わります。

画面表示・音声の切り替え

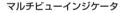
ご覧になっている番組が提供している、映像、音声、字幕をお好みに合わせて切り替えることができます。

映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供するマルチビュー放送を行っている場合、番組切替画面（258ページ参照）にマルチビューインジケータが表示され、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

映像番号

[映像]を押します。

- [映像]を押すごとに、映像番号および映像が切り替わります。
- 番組切替画面で 映像 を選択、決定しても映像を切り替えることができます。

知 識

映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

音声を切り替える

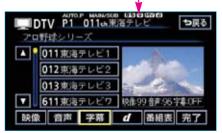
ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

音声 を1秒以上押し続けます。

- 音声 を1秒以上押し続けるごとに、音声番号および音声が切り替わります。
- 番組切替画面（258ページ参照）で 音声 を選択、決定しても音声を切り替えることができます。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語）を提供している場合、番組切替画面（258ページ参照）に字幕インジケータが表示され、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

- ワンセグ放送の字幕放送には対応していません。

字幕 を押します。

- 字幕 を押すごとに、字幕言語が切り替わり、次の順に字幕表示が切り替わります。

- 番組切替画面で 字幕 を選択、決定しても字幕を切り替えることができます。

放送局からのお知らせについて

番組を視聴中に放送局からお知らせを受信することがあります。

お知らせの内容を見る

放送局からのお知らせを受信した場合、画面にメッセージが表示されます。

1 カーソルキーを押して、表示 を選択します。

2 決定 を押します。

●お知らせの内容が表示されます。

●データ放送表示中に 切替 を選択、決定するとデータ放送の操作（268ページ参照）をすることができます。

お知らせを削除する

1 カーソルキーを押して、消去 を選択します。

2 決定 を押します。

●お知らせが消去され、最後に見ていた番組にもどります。

知識

●受信したお知らせによっては消去できないことがあります。

●情報を表示しきれない場合、▲、▼ を選択、決定すると、画面をスクロールすることができます。

緊急警報放送（ＥＷＳ）を見る

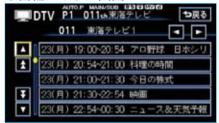
緊急警報放送システム(EWS：Emergency Warning System)とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

ＥＰＧ（電子番組表）を見る

ＥＰＧとは放送局が提供する､画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組を探すことができます。

●番組タイトル画面

番組表 を押します。

●番組タイトル画面が表示されます。

●番組切替画面（258ページ参照）で 番組表 を選択、決定しても番組タイトル画面を表示することができます。

見たい番組を探す

サービス番号を切り替えて、番組を探すことができます。

●他のチャンネルの番組表が見たい場合、チャンネルを切り替えて（256ページ参照）、再度番組タイトル画面を表示してください。

1 番組タイトル画面でカーソルキーを押して、◀または▶を選択します。

●サービス番号を、

・大きい方へ選択するときは▶側、

・小さい方へ選択するときは◀側、

を選択します。

2 決定 を押します。

●押すごとに1ステップずつサービス番号がＵＰ／ＤＯＷＮします。

知 識

●ＥＰＧからお好みのデジタルテレビ映像（番組）に切り替えることはできません。
●ＥＰＧは現在から最大3日分表示することができます。
●▲、▼、または⏫、⏬を選択、決定すると、リストを切り替えて表示することができます。

番組の情報を見る

1 番組タイトル画面で、情報が見たい番組をカーソルキーを押して選択します。

2 決定 を押します。

●番組情報画面が表示されます。
●放送時間切り替えスイッチ（▼、▲）を選択、決定すると放送時間帯を切り替えることができます。
時間帯を、
- 前の放送時間帯の番組を表示するときは▲側、
- 次の放送時間帯の番組を表示するときは▼側、

を選択して 決定 を押します。
●サービス切り替えスイッチ（◀、▶）を選択、決定するとサービス番号がＵＰ／ＤＯＷＮし、番組を探すことができます。
サービス番号を、
- 大きくするときは▶側、
- 小さくするときは◀側、

を選択して 決定 を押します。

●番組情報画面

知 識

情報を表示しきれない場合、▲、▼を選択、決定すると、画面をスクロールすることができます。

データ放送を見る

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。データ放送を受信可能な場合、番組切替画面（258ページ参照）にdインジケータが表示されます。

●データ放送画面

d を押します。

●データ放送画面が表示されます。

●もう一度 **d** を押すとデジタルテレビ画面にもどります。

●番組切替画面（258ページ参照）で **d** を選択、決定してもデータ放送画面を表示することができます。

知 識

●本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

●データ放送の操作は、画面に表示される指示の順に行ってください。

●データ放送の内容により、文字を入力することがあります。文字の入力については271ページ「ブックマークを編集する」をご覧ください。また、入力する文字の種類は限定されることがあります。（カナのみなど）

●データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）を行っている番組がありますが、本機は対応していません。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色スイッチ、カーソルキー、10キー（テンキー）で操作します。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

色スイッチで操作する

画面に表示される指示の順に色スイッチ（青、赤、緑、黄）を押します。

カーソルキーで操作する

画面にスイッチなどが表示されたときに使用します。

1 カーソルキー（∧、∨、<、>）を押して、操作したいスイッチを選択します。

2 決定を押します。

10キー（テンキー）で操作する

数字を入力するときに使用します。
入力モードがdモード（10キー入力モード）になっているときに操作できます。dモードになっていないときは、dを1秒以上押し続けて入力モードを切り替えてください。

1 テンキー（1～10）を押して、数字を入力します。
- 10を押すと、0が入力されます。

2 決定を押します。

ブックマーク機能について

ブックマーク機能とは、気に入ったデータ放送を登録して、いつでも簡単に呼び出すことのできる機能です。

ブックマークに登録する

1 登録したいデータ放送に切り替えます。

2 ブックマーク を押します。

3 カーソルキーを押して、 登録 を選択します。

4 決定 を押します。

●すでに同じブックマークが登録されている場合、メッセージが表示されます。
上書きを、
- するときは はい 、
- しないときは いいえ 、

を選択して 決定 を押します。

知 識

●ブックマークは最大100件登録することができます。

●登録が100件を超えた場合、下記の優先順位で自動的に削除されます。
①有効期限が切れているブックマーク（削除禁止されているリストも含む）
②削除禁止されていないブックマーク
③有効期限が古いブックマーク

●データ放送内で表示される お気に入り登録 などのスイッチから、ブックマークに登録できる場合があります。スイッチの操作については、268ページ「データ放送を操作する」をご覧ください。

ブックマークを呼び出す

●ブックマークリスト画面（タイトル）

●ブックマークリスト画面（有効期限）

削除禁止マーク

1 ブックマーク を押します。

2 カーソルキーを押して、呼出 を選択します。

3 決定 を押します。

●ブックマークリスト画面が表示されます。

●リストはタイトル名と有効期限の2種類の表示をさせることができます。
カーソルキーを押して、
リストを、

- タイトル名で表示したいときは タイトル 、
- 有効期限で表示したいときは 有効期限 、

を選択して 決定 を押します。

4 カーソルキーを押して、見たいブックマークのタイトルを選択します。

5 決定 を押します。

●選択したデータ放送画面が表示されます。

●受信できなかった場合、最後に見ていた番組に切り替わります。

知識

●放送局によってブックマークの削除が禁止されている場合、削除禁止マークが表示されます。

●ブックマークに登録したデータ放送は、視聴できる期間が決められていることがあります。有効期限を過ぎたデータ放送は見ることができません。

●有効期限が設定されていない場合、「有効期限なし」と表示されます。

●▲、▼、または⏫、⏬を選択、決定すると、リストを切り替えて表示することができます。

ブックマークを編集する

ブックマークのタイトルをお好みのタイトルに変更できます。

1 ブックマークリスト画面でカーソルキーを押して、編集したいブックマークの 編集 を選択します。

2 決定 を押します。

3 カーソルキーを押して、タイトル を選択します。

4 決定 を押します。

5 カーソルキーを押して、文字を選択します。

6 決定 を押します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、カナ （カタカナ）、英数字 、数記号 （数字・記号）を選択、決定して、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英数字入力、数記号入力については273ページ「カナ、英数字、数記号の入力」をご覧ください。

●スペース を選択、決定すると、スペースを入力することができます。

●間違えた（または入力されている）ときは 修正 を選択、決定すると、1文字ずつ消去されます。

7 カーソルキーを押して、
入力する文字が、
- ●ひらがなのときは 無変換 、
- ●漢字のときは 変換 、

を選択します。

8 決定 を押します。

●変換 を選択したときは、変換する熟語リストで入力する熟語、全確定 を選択、決定します。

●変換する文字の範囲を変更するときは、◀、▶ を選択、決定します。

9 カーソルキーを押して、完了 を選択します。

10 決定 を押します。

知 識

●登録したデータ放送によっては、ブックマークのタイトルを編集できないことがあります。

●▲、▼、または ⏫、⏬ を選択、決定すると、リストを切り替えて表示することができます。

●かな漢字変換機能として株式会社 ACCESSのASKを搭載しています。

■カナ、英数字、数記号の入力

1 カーソルキーを押して、カナ、英数字、または数記号を選択します。

2 決定を押します。

3 入力する文字の大きさを切り替えるときは、カーソルキーを押して、半角（全角）を選択して決定を押します。

●英数字を選択したときは、大文字（小文字）を選択、決定すると、大文字と小文字を切り替えることができます。

4 カーソルキーを押して、文字を選択します。

5 決定を押します。

●間違えた（または入力されている）ときは修正を選択、決定すると、1文字ずつ消去されます。

6 カーソルキーを押して、完了を選択します。

7 決定を押します。

ブックマークを削除する

1 ブックマークリスト画面でカーソルキーを押して、削除したいブックマークの 編集 を選択します。

● すべてのブックマークを削除するときは、 全削除 を選択します。

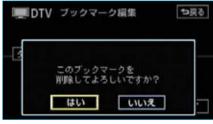
2 決定 を押します。

3 カーソルキーを押して、 削除 を選択します。

4 決定 を押します。

5 カーソルキーを押して、 はい を選択します。

● いいえ を選択、決定すると削除せずにブックマーク編集画面にもどります。

6 決定 を押します。

受信状態の確認について

電波の受信状態をアンテナインジケータによって確認することができます。

表示	受信圏外				
受信状態	不可	悪い	←→		良い

アンテナインジケータの表示を切り替える

アンテナインジケータの表示や非表示、表示位置を切り替えることができます。

アンテナ を押すごとに、

の順に表示（表示位置）が切り替わります。

受信不可の場合は、「受信圏外」が表示されます。

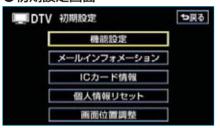
知 識

●「受信圏外」が表示された場合、画面は静止画になり音声がＯＦＦになります。
●インジケータの表示は実際の受信状態と異なる場合があります。

初期設定をする

初期設定画面に切り替える

初期設定画面から、各種機能設定、メールの閲覧、個人情報の消去などができます。

●初期設定画面

初期設定 を押します。

●初期設定画面が表示されます。

●初期設定画面から下表の設定をすることができます。

項目	機能	ページ
機能設定	文字スーパーの表示、居住地域の登録、イベントリレーの設定、ワンセグ自動切替の設定をすることができます。	277～282
メールインフォメーション	受信したメールを閲覧することができます。	283、284
ＩＣカード情報	Ｂ－ＣＡＳカードの情報の閲覧、カードの動作テストをすることができます。	285、286
個人情報リセット	放送局からのメール、登録したブックマーク、郵便番号設定、県域設定の登録されている個人情報を消去することができます。	287
画面位置調整	ディスプレイに表示されている画面位置を調整することができます。	288

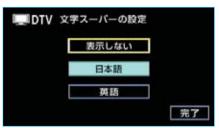
機能設定をする

文字スーパーを設定する

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。文字スーパーは日本語と英語を表示することができます。

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、機能設定を選択します。

2 決定を押します。
●機能設定画面が表示されます。

3 カーソルキーを押して、文字スーパーの表示の設定を選択します。

4 決定を押します。

5 カーソルキーを押して、お好みの言語を選択します。
● 表示しない を選択、決定すると、文字スーパーは表示されません。

6 決定を押します。

7 カーソルキーを押して、完了を選択します。

8 決定を押します。

居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域は都道府県の選択（下記参照）、または郵便番号の入力（次ページ参照）により設定することができます。
初めて起動したときや引っ越したときは必ず設定してください。

■県域から設定する

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、機能設定を選択します。

2 決定を押します。

●機能設定画面が表示されます。

3 カーソルキーを押して、居住地域の登録の設定を選択します。

4 決定を押します。

5 カーソルキーを押して、県域設定を選択します。

6 決定を押します。

7 カーソルキーを押して、お住まいの地方を選択します。

8 決定 を押します。

9 カーソルキーを押して、お住まいの都道府県、または地域を選択します。

10 決定 を押します。

知 識

東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、 沖縄地方・その他 を選択してください。

■郵便番号から設定する

入力モードがdモード（10キー入力モード）になっているときに操作できます。dモードになっていないときは、 d を1秒以上押して入力モードを切り替えてください。

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、 機能設定 を選択します。

2 決定 を押します。

●機能設定画面が表示されます。

3 カーソルキーを押して、居住地域の登録の 設定 を選択します。

4 決定 を押します。

デジタルテレビ

5 カーソルキーを押して、郵便番号設定 を選択します。

6 決定 を押します。

7 テンキー（ 1 〜 10 ）を押して、数字を入力します。

- 10 を押すと、0が入力されます。
- 間違えたときは 修正 を選択、決定すると1番号ずつ消去されます。
- カーソルキーを押して、画面上の数字を選択、決定しても数字を入力することができます。

8 カーソルキーを押して、 完了 を選択します。

9 決定 を押します。

知 識

郵便番号は7桁で入力してください。

イベントリレーを設定する

イベントリレーとは、視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替える機能です。
例えば、野球の延長放送を視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動で切り替えます。

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、機能設定を選択します。

2 決定を押します。
●機能設定画面が表示されます。

3 カーソルキーを押して、イベントリレーの受信の する 、または しない を選択します。

4 決定を押します。

5 カーソルキーを押して、完了を選択します。

6 決定を押します。

知識

●地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切り替わらない場合があります。
●受信電波の弱い地域では放送局が切り替わらない場合があります。
●山を境に放送区域が変わるところでは、トンネルを出ても放送局が切り替わらない場合があります。
●ご覧になっている放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、頻繁に切り替わることがあります。

ワンセグ自動切替を設定する

通常の地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送の受信に切り替えることができます。
通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、 機能設定 を選択します。

2 決定 を押します。

●機能設定画面が表示されます。

3 カーソルキーを押して、ワンセグ自動切替の する 、または しない を選択します。

4 決定 を押します。

5 カーソルキーを押して、 完了 を選択します。

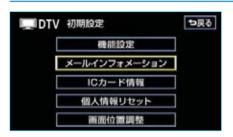
6 決定 を押します。

知 識

●放送が切り替わるとき、一時的に黒い画面が表示されます。
●自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
●自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
●ワンセグ放送を行っていない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替を する にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

受信したメールを見る

放送局から受信したメールを見ることができます。

メールリストを見る

●メールインフォメーション画面（タイトル）

●メールインフォメーション画面（受信日時）

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、メールインフォメーション を選択します。

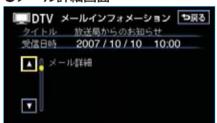
2 決定 を押します。
- ●メールインフォメーション画面が表示されます。
- ●リストはタイトル名と受信日時の2種類の表示をさせることができます。
  カーソルキーを押して、
  リストを、
  - ●タイトル名で表示したいときは タイトル 、
  - ●受信日時で表示したいときは 受信日時 、

  を選択して 決定 を押します。

知 識

- ●[▲]、[▼]、または[⏶]、[⏷]を選択、決定すると、リストを切り替えて表示することができます。
- ●受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角18文字をタイトルとして表示します。
- ●メールの保存件数は最大7件です。7件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。（未読も含みます。）

メールの内容を見る

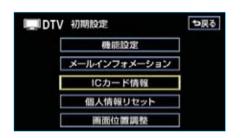
●メール詳細画面

1. メールインフォメーション画面でカーソルキーを押して、見たいメールを選択します。
2. [決定]を押します。
   - ●メール詳細画面が表示されます。

知 識

- ●情報を表示しきれない場合、[▲]、[▼]を選択、決定すると、画面をスクロールすることができます。
- ●メール詳細画面のメールタイトルは、受信メールの先頭から全角14文字をタイトルとして表示します。

Ｂ－ＣＡＳカードの動作確認

本機に内蔵されているＢ－ＣＡＳカードの情報を見たり、テストをしたりすることができます。

Ｂ－ＣＡＳカードの情報を見る

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、 ＩＣカード情報 を選択します。

2 決定 を押します。

● ＩＣカード情報画面が表示されます。

● ＩＣカード情報画面

知識

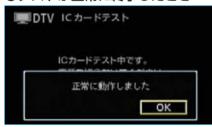
▲、▼、または▲、▼を選択、決定すると、リストを切り替えることができます。

Ｂ－ＣＡＳカードの動作確認をする

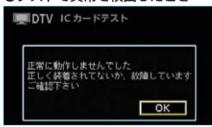
1 ＩＣカード情報画面でカーソルキーを押して、 カードテスト を選択します。

2 決定 を押します。

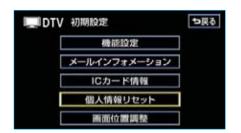
●テストを開始します。

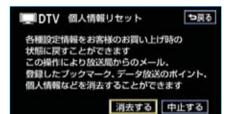
●テストが正常に終了したとき

●テストで異常を検出したとき

3 決定 を押します。

●テストで異常を検出した場合、トヨタ販売店にお問い合わせください。

個人情報を消去する

本機に登録した内容を消去し、初期状態に戻すことができます。初期化（消去）される項目は次の項目になります。

●放送局からのメール
●登録したブックマーク
●郵便番号設定
●県域設定

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、個人情報リセットを選択します。

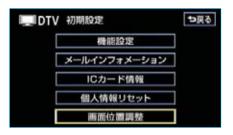
2 決定を押します。

3 カーソルキーを押して、消去するを選択します。
- ● 中止するを選択、決定すると初期化せずに初期設定画面にもどります。

4 決定を押します。

一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業を行ってください。

画面位置を調整する

ディスプレイに表示されている画面の位置を調整することができます。

●画面位置の調整は地上デジタルテレビ放送の画面のみです。その他の画面は調整できません。

1 初期設定画面でカーソルキーを押して、 画面位置調整 を選択します。

2 決定 を押します。

3 カーソルキーを押して、▲、▼、◀、▶ を選択します。

4 決定 を押します。

●上下／左右の同じ色が、同じ幅で見えるように調整してください。

5 カーソルキーを押して、 完了 を選択します。

6 決定 を押します。

 知 識

最適な位置にあわせた状態で、 完了 を選択、決定してください。調整の途中に画面を切り替えた場合、調整途中の設定が保存されます。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原　因	処　置
ＩＣカードが正常に動作しませんでした　販売店へお問い合わせください	ＩＣ（Ｂ－ＣＡＳ）カードが故障しているため。	トヨタ販売店へお問い合わせください。
放送を受信できません	ＩＣ（Ｂ－ＣＡＳ）カードのセキュリティーエラーのため。	トヨタ販売店へお問い合わせください。
	地上デジタルテレビ放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタルテレビ放送を受信できるエリアに移動してください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と考えることがあります。まずは下の表にもとづき確認してください。処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処　置
映像、音が出ない	●外部機器を再生するモードになっている ●ＤＶＤ・テレビリモコンが故障している ●デジタルテレビ用リモコン受光部が故障している ●地上デジタルテレビチューナーが故障している	1リモコンの **ビデオ** を押してください。 2 1の操作をしてもなおらないときは、リモコンの電池を新品に替えてから再度1の操作を行ってください。 上記の処置をしてもなおらない場合はトヨタ販売店へお問い合わせください。
地上デジタルテレビ放送が受信できない	地上デジタルテレビ放送の受信エリア外にいる	地上デジタルテレビ放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は映るが、音が出ない	●音量の調整不良 ●ノイズフィルタが故障している	音量スイッチを操作して確認してください。 上記の処置をしてもなおらない場合はトヨタ販売店へお問い合わせください。
映像がとまって、音が出ない	地上デジタルテレビ放送の受信状態が良くない	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。

地上デジタルテレビ放送の用語

■ＡＡＣ
ＡＡＣ（アドバンスド・オーディオ・コーディング）とは音声圧縮方式のひとつです。デジタル放送における5.1ｃｈサラウンドはＡＡＣを採用しています。ＣＤ並みの音質データを約1／12まで圧縮できるのが特長です。

■データ放送
通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見たり、クイズに参加するといったことができます。

■ハイビジョン
高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタルテレビ放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。標準映像の縦横比が4：3なのに対して、ハイビジョン映像は16：9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。
本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。

■ブックマーク機能
好きなデータ放送を登録する機能です。登録したデータ放送は、有効期限内であればいつでも好きなときに見ることができます。

■物理チャンネル
各放送局が実際に送信している固有のチャンネルのことです。地上アナログテレビ放送では、リモコンに割り当てられたチャンネルと物理チャンネルが同じでしたが、地上デジタルテレビ放送は異なるチャンネルになっています。

■マルチビュー放送
1つの番組を複数の映像に分けて放送することです。例えば野球の放送を、ピッチャーの映像、バッターの映像、バックスクリーンからの映像、というように3つのアングルから選んで楽しむことができます。

■ワンセグ放送
ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯・移動体向けの放送のことです。1セグメントのみを使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

ＤＶＤプレーヤー

ＤＶＤプレーヤーについて

作動条件

ＤＶＤプレーヤーでは、音楽用ＣＤ・ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオ・ビデオＣＤを再生させることができます。
それぞれのモードは、次の条件（エンジン スイッチの位置など）により操作できるときと、できないときがあります。
○：操作できます。
×：操作できません。

エンジンスイッチ／モード	“ＬＯＣＫ”	“ＡＣＣ”	“ＯＮ”停車中	“ＯＮ”走行中
音楽用ＣＤ	×	○	○	○
ＤＶＤビデオ	×	○※ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○※ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	※ 走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。
ＤＶＤオーディオ	×	○※ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○※ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	※ 走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。
ビデオＣＤ	×	○※ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○※ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	※ 走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。

※映像が出ていないときでも、画面外（オーディオ本体）のスイッチで操作することができます。

DVDプレーヤーの操作について

DVDプレーヤーは、フロント エレクトロマルチビジョンでの操作のほか、DVD・テレビリモコンでも操作できます。

リモコンについて

リモコンの収納・操作・電池について

前席

「DVD・テレビリモコン」（12ページ）をご覧ください。

後席

「リヤ エレクトロマルチビジョン」（484ページ）をご覧ください。

リモコンでＤＶＤプレーヤーを操作するには

ＤＶＤ・テレビ切替スイッチがＤＶＤ側になっていることを確認し、ＤＶＤプレーヤーを操作してください。

リモコンでのタッチスイッチの選択

まわりがオレンジ色で囲まれているタッチスイッチがある画面を操作するときは、以下の方法で行います。

●タッチスイッチのまわりのオレンジ色の枠は、そのタッチスイッチが選択されていることを表わします。

〈例：ＤＶＤ操作画面の場合〉

このタッチスイッチが選択されています。

1 カーソルキーを押して、操作したいタッチスイッチを選択します。

2 決定 を押します。

リモコンでのメニュー項目の選択

ＤＶＤのディスク独自のメニュー項目を操作するときは、以下の方法で行います。

1 カーソルキーを押して、メニュー項目を選択します。

2 決定 を押します。

DVDビデオ・DVDオーディオ・ビデオCD をご覧になる前に

エンジン スイッチが "ACC"、または "ON" で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみDVDビデオ・DVDオーディオ・ビデオCDをご覧になることができます。
(DVDビデオ・DVDオーディオ・ビデオCDモードを選択していても、走行中は音声だけになります。)

●DVDビデオ・DVDオーディオ・ビデオCDの映像が表示されないときは、ディスク または DVD を押してDVDプレーヤーモードに切り替えます。(302ページ参照)

音量・音質・画面の調整

●音量・音質の調整は、**「センチュリー取扱書」**の**「オーディオの使い方」**の項目をご覧ください。
●画面の調整は、17ページ「画質調整」をご覧ください。

DVDビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンやDVDビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので注意してください。
音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

知識

●DVDビデオ・DVDオーディオ・ビデオCDには、メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生・ページ送りなどを行ってください。
●DVDビデオはドルビーデジタル、DTSマルチチャンネル音声再生に対応しています。そのため、ディスクによっては音声が出力されないスピーカーがあります。すべてのスピーカーから音声を出力したいときは、ドルビープロロジック(322ページ参照)またはダウンミックス(327ページ参照)をONにすることをおすすめします。
●DVDオーディオには映像が収録されていない場合があります。その場合は読込み中画面(304ページ参照)と同色の青色画面が表示されます。

リモコンでの音量調整

音量を、
●大きくするときは音量スイッチの▲側、
●小さくするときは音量スイッチの▼側、
を押します。
スイッチを押してすぐ（約1秒未満）に手を離すと、音量を1ステップずつ調整できます。
スイッチを1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。

注意	安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

ディスクの出し入れ

使用できるディスクの種類

下のマークのついたディスクのみ使用できます。
(CD－RやCD－RW、CD－ROM、DVD－ROMなどは使用できません。)

■音楽用CD

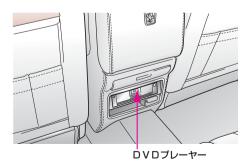
■DVDビデオ

■DVDオーディオ

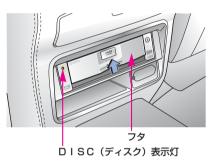
■ビデオCD

●コピーコントロールCDなどの正式なCD規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。

DVDプレーヤーの格納場所

リヤコンソールタワー下部に格納されています。

ディスクを挿入するには

1 フタを開けます。

2 挿入口にラベル面を上にしてディスクを挿入します。

3 フタを閉じます。

●ＤＩＳＣ（ディスク）表示灯が点灯し、ディスクが自動的に再生されます。

8cm音楽用ＣＤを挿入するときはアダプターを使用せずに、そのままディスクを挿入してください。アダプターを使用するとディスクを取り出せなくなるおそれがあります。

知 識

地図ＤＶＤ－ＲＯＭは挿入しないでください。地図ＤＶＤ－ＲＯＭの出し入れは15ページをご覧ください。

ディスクを取り出すには

1 フタを開けます。

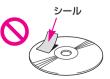
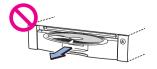
2 ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクを取り出します。

3 フタを閉じます。

⚠注意 ディスクの取り扱いにはご注意ください。

●ディスクには、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
●ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
●ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
●ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
●ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
●直径12㎝、または8㎝の円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

●DualDiscには対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
●記録部分に透明、または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。

●レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
●セロハンテープ、シール、CD－R用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。

●変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

モードの切り替え方

モードの切り替え方

フロント エレクトロマルチビジョンでの操作

ＤＶＤプレーヤーにディスクが挿入されているとき、オーディオ本体の **ディスク** を押して、ＤＶＤプレーヤーモードに切り替えます。
（挿入のしかたは300ページ**「ディスクを挿入するには」**をご覧ください。）
ＣＤオートチェンジャーにもＣＤが入っているときは、**ディスク** を押すごとに、ＣＤオートチェンジャーモードとＤＶＤプレーヤーモードに切り替わります。
（ＣＤオートチェンジャーの操作については、**「センチュリー取扱書」**の**「オーディオの使い方」**の項目をご覧ください。）

ディスクスイッチ

リモコンでの操作

ＤＶＤプレーヤーにディスクが挿入されているとき、ＤＶＤ・テレビ切替スイッチがＤＶＤ側になっていることを確認し、［ＤＶＤ］を押してＤＶＤプレーヤーモードに切り替えます。
（挿入のしかたは300ページ「ディスクを挿入するには」をご覧ください。）

ディスクの読込み

使用できるディスクの種類、ディスクの出し入れのしかたについては299～301ページを参照してください。

■ＤＶＤビデオ、ＤＶＤオーディオ、ビデオＣＤ

ディスクを挿入するとディスク読込み中の画面が表示されます。

●了解 にタッチする、またはリモコンで 決定 を押すと、画面上の「知識」の表示が消去されます。

決定スイッチ

知 識

●ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
●読込み中の画面に「知識」が表示されるのは、エンジン スイッチを“ ＡＣＣ ”または“ ＯＮ ”にしてから最初に映像を表示したときのみです。一度、 了解 にタッチする、またはリモコンで 決定 を押すと、2回目以降は表示されません。
また、その後、エンジン スイッチを“ ＬＯＣＫ ”にしてから、“ ＡＣＣ ”または“ ＯＮ ”にすると、再び最初に映像を表示したときは「知識」が表示されます。

■音楽用ＣＤ

ディスクを挿入すると自動的に再生されます。

知 識

ＤＶＤプレーヤーでは、ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

音楽用ＣＤの操作

音楽用ＣＤの操作のしかた

オーディオ本体での操作

ここではオーディオ本体でのスイッチの操作について説明しています。リモコンでの操作については、次ページをご覧ください。

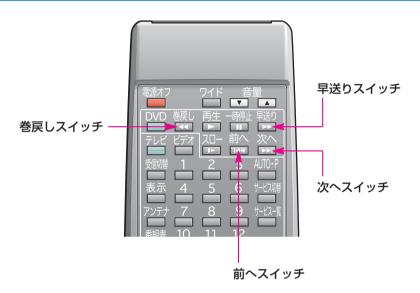
知 識

●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。
●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
●悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

ディスク挿入口に音楽用ＣＤを挿入すると、ＣＤが再生されます。
（挿入のしかたは300ページ「ディスクを挿入するには」参照）

トラックスイッチ
曲の頭出しをすることができます。
●頭出しをしたい曲が、
- うしろにあるときはスイッチの ︿ 側、
- 前にあるときはスイッチの ﹀ 側、

を押します。

リモコンでの操作

■早送り・巻戻しするには

ディスクの早送り、早戻しをすることができます。

早送りするときは、早送り、もどすときは、巻戻しを押して希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

■頭出しするには

曲の頭出しをすることができます。

●頭出しをしたい曲が、
- ●うしろにあるときは、次へ、
- ●前にあるときは、前へ、

を押します。

ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオの操作

ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオを再生させているときの操作上のご注意
ディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。このＤＶＤプレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取り扱い説明書もあわせてご覧ください。

ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオについて

- ＮＴＳＣカラーテレビ方式に対応しています。
  ＮＴＳＣ方式以外のカラーテレビ方式（ＰＡＬ・ＳＥＣＡＭ）対応のディスクは再生させることができません。
- ドルビーデジタル／ＤＴＳデジタルサラウンドデコーダーをアンプに内蔵していて、ＤＶＤビデオのマルチチャンネル再生に対応しています。
  （ＤＶＤオーディオは、２ｃｈのみの再生となります。）

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号（下表参照）が表示されているものがあります。
地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を示す番号）が含まれていない、または「ＡＬＬ」（全世界向け）と表示されていないディスクは、このＤＶＤプレーヤーで再生させることができません。
このようなディスクを再生させようとしたときは、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。
また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、このＤＶＤプレーヤーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC	カラーテレビの方式
2 (5.1ｃｈ) (2ｃｈ)	音声のトラック数 ●数字が収録されている音声数
2	字幕の言語数 ●数字が収録されている言語数
3	アングルの数 ●数字が収録されているアングル数
16:9 LB / 4:3	選択することができる画面モード ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面
ALL / 2	再生可能な地域番号 ●ＡＬＬは全世界向け、数字は地域番号。（「2」は日本を示します。）

知っておいていただきたいこと

ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオの用語

より正しく有効にＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオを利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■ＤＶＤビデオ

動画の記録されているＤＶＤビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「ＭＰＥＧ2」（エムペグ2）が採用され、映像データが平均約1/40に圧縮して記録されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、ＰＣＭのほか、ドルビーデジタルを用いて記録させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。
さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■ＤＶＤオーディオ

最大ＣＤの約1000倍もの情報量を持ち、マルチチャンネル音楽にも対応した、高音質オーディオ信号を再生可能なＤＶＤ。
また、ＤＶＤオーディオは高音質なだけではなく、動画、静止画にも対応しマルチメディアエンターテイメントを最高の音質で楽しむ事ができます。
視聴制限や地域番号指定はありません。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」というＤＶＤビデオの機能の1つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

●レベル1………子ども向けのディスクのみを再生させることができます。
（一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
●レベル2～7…子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。
（成人向けのディスクを再生させることはできません。）
●レベル8………すべてのディスクを再生させることができます。

■マルチアングル
ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記録させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ（多言語）
ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声（ＤＶＤビデオのみ）や字幕を複数の言語で記録させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■地域番号（リージョンコード）
ＤＶＤプレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。
再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は､ディスクを再生させることはできません。
地域番号については、308ページをご覧ください。

音声について

このＤＶＤプレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニアＰＣＭ・パックドＰＣＭ・ドルビーデジタル・ＤＴＳ・ＭＰＥＧオーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル
ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大6chに分解して記録、再生する（ウーハーchは通常0.1chで表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

■ドルビーサラウンド（ドルビープロロジック）
4ch（フロントＬＲ、センター、サラウンド（リヤ））の信号を2chで記録しそれを、ドルビープロロジックデコーダーにより再度4chに出力する方式です。
（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります。）

■ＤＴＳ

Digital Theater Systems 社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ドルビーデジタルと同様の音声分割をする方式ですが、圧縮率が低いため、より高品位なサラウンド再生をする事ができます。

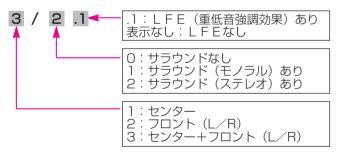
■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。
１秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。
これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニアＰＣＭ

音楽ＣＤに用いられている信号記録方式です。
音楽ＣＤでは、44.1kHz／16bitで記録されているのに対し、ＤＶＤビデオでは48kHz／16bit～96kHz／24bit、ＤＶＤオーディオでは44.1kHz／16bit～192kHz／24bitで記録されているので、音楽ＣＤよりも高音質の再生が可能です。

■チャンネル（ｃｈ）表示

チャンネル数は次のように表示されます。

例えば、5.1ｃｈの場合、「**3/2.1ｃｈ**」と表示されます。
なお、ダウンミックス（327ページ参照）をＯＮにしているとき、およびＤＶＤオーディオ再生時は、「**ＭＩＸ**」と表示されます。

タイトル、グループ

ディスクに記録されている映像や曲はいくつにも区切られています。
（下図参照）

【例】

DVDビデオ

タイトル1		タイトル2			タイトル3
チャプター1	チャプター2	チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター1

DVDオーディオ

グループ1		グループ2			グループ3
トラック1	トラック2	トラック1	トラック2	トラック3	トラック1

■タイトル、グループ

ディスクに記録されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトでは、アルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトル、グループに順につけられた番号をいいます。

■チャプター、トラック

ディスクに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルやグループより小さい単位。1つのタイトル、グループは、複数のチャプター、トラックで構成され、それぞれのチャプター、トラックに順につけられた番号をいいます。

ディスクによっては、再生中にタイトル、グループ番号・チャプター、トラック番号・再生時間が表示されないものもあります。

ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオの操作のしかた

オーディオ本体での操作

ここではオーディオ本体でのスイッチの操作について説明しています。

●ディスクの映像をご覧になっているときに表示されるスイッチについては、315、316ページをご覧ください。

●リモコンでの操作については、332ページをご覧ください。

トラックスイッチ

知 識

●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

●悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

ディスク挿入口にＤＶＤビデオまたはＤＶＤオーディオを挿入すると、ディスク読込み中画面が表示されます。
（挿入のしかたは300ページ「ディスクを挿入するには」、読込み中画面については304ページ「ディスクの読込み」参照）

トラックスイッチ

ＤＶＤビデオ再生時

チャプター番号（312ページ参照）を選択することができます。
●チャプター番号を、
- 大きい方へ選択するときはスイッチの ︿ 側、
- 小さい方へ選択するときはスイッチの ﹀ 側、

を押します。

ＤＶＤオーディオ再生時

トラック番号（312ページ参照）を選択することができます。
●トラック番号を、
- 大きい方へ選択するときはスイッチの ︿ 側、
- 小さい方へ選択するときはスイッチの ﹀ 側、

を押します。

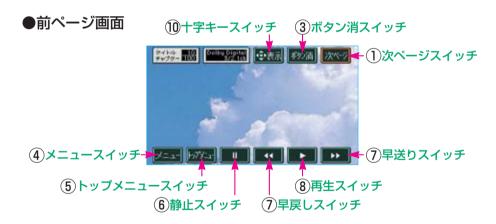
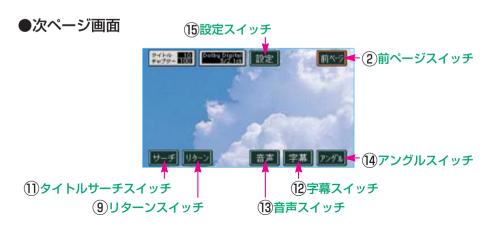
画面での操作

■DVDビデオ操作スイッチ

DVDビデオをご覧になっているときに、画面にタッチすると、DVDビデオ操作スイッチが表示されます。

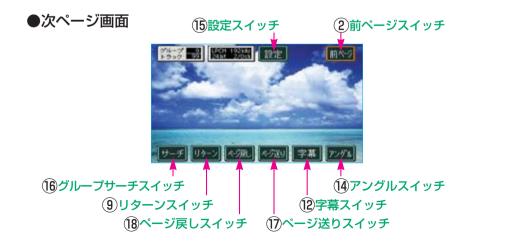
●操作スイッチには2つの画面があります。

● 次ページ 、または 前ページ にタッチして、2つの画面を切り替えます。

●スイッチにタッチしたとき、画面に🚫が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

■DVDオーディオ操作スイッチ

DVDオーディオをご覧になっているときに、画面にタッチすると、DVDオーディオ操作スイッチが表示されます。

●操作スイッチには2つの画面があります。
- 次ページ 、または 前ページ にタッチして、2つの画面を切り替えます。

●スイッチにタッチしたとき、画面に⊘が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

●前ページ画面

●次ページ画面

①次ページスイッチ
スイッチにタッチすると、次ページ画面になります。

②前ページスイッチ
スイッチにタッチすると、前ページ画面になります。

③ボタン消スイッチ
スイッチにタッチすると、操作スイッチが消去され、もとの画面にもどります。

④メニュースイッチ、⑤トップメニュースイッチ
スイッチにタッチすると、ディスク独自のメニュー項目が表示されます。
（操作方法は、再生させているディスクに付属の取り扱い説明書をご覧ください。）

知 識

ディスクによってはスイッチにタッチしても、画面が切り替わらないものがあります。

⑥静止スイッチ
スイッチにタッチすると、映像が静止します。
●静止させているときにスイッチにタッチすると、通常再生されます。

⑦早送り／早戻しスイッチ
ディスクの早送り、早戻しをすることができます。
早送りするときは▶▶、早戻しするときは◀◀にタッチして、希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。
●ＤＶＤビデオを静止させているときにスイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

⑧再生スイッチ
スイッチにタッチすると、静止中のディスクを通常再生させることができます。

⑨リターンスイッチ
スイッチにタッチすると、ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

⑩十字キースイッチ

スイッチにタッチすると、十字キー操作画面になります。
ディスク独自のメニュー項目を操作することができます。

●十字キー操作画面

▼・▲・◀・▶にタッチして、メニュー項目を選択します。
決定にタッチすると、選択したメニュー項目が再生されます。

- メニュー項目については、再生させているディスクに付属の取り扱い説明書をご覧ください。（左の画面は一例です。）
- 移動にタッチすると、タッチスイッチが表示されている場所を画面の上側や下側に変更することができます。
- ＯＦＦにタッチすると、十字キースイッチを一時的に消すことができます。
  再び、ＯＮにタッチすると十字キースイッチが表示されます。

知 識

ディスクによっては決定にタッチしても十字キースイッチが消えないものもあります。その場合、戻るにタッチして315、316ページの画面でボタン消にタッチして消します。

⑪タイトルサーチスイッチ

スイッチにタッチすると、タイトルサーチ画面になります。
タイトル番号（312ページ参照）を選択することができます。

●タイトルサーチ画面

－・＋・＋10にタッチして、タイトル番号を選択します。

●タイトル番号が画面に表示されますので、希望のタイトル番号を選びます。

●完了にタッチすると、選択したタイトル番号の映像が再生されます。

チャプター番号（312ページ参照）の選択は、トラックスイッチ（313ページ参照）で行います。
チャプター番号を大きい方へ選択するときはスイッチの︿側、小さい方へ選択するときはスイッチの﹀側を押して、希望のチャプター番号を選びます。

●チャプター番号が画面に表示されますので、希望のチャプターの番号を選びます。

⑫字幕スイッチ

スイッチにタッチすると、字幕言語選択画面になります。
字幕の言語を選択することができます。

●字幕言語選択画面

字幕切替にタッチして、言語を選択します。

●タッチするごとに、字幕言語が切り替わります。

●字幕消にタッチすると、字幕を表示させないようにすることができます。

- 字幕を表示させていないときは、タッチスイッチの色が明るくなります。

⑬音声スイッチ

スイッチにタッチすると、以下の画面になります。

●音声言語選択画面（DVDビデオ）

DVDビデオ

音声の言語を選択することができます。

音声切替 にタッチして、言語を選択します。

●タッチするごとに、音声言語が切り替わります。

●音声選択画面（DVDオーディオ）

DVDオーディオ

音声フォーマットを選択することができます。

音声切替 にタッチして、音声フォーマットを選択します。

●タッチするごとに、音声フォーマットが切り替わります。

⑭アングルスイッチ

スイッチにタッチすると、アングル選択画面になります。

マルチアングルマーク（326ページ参照）が表示されているときに、アングルを選択することができます。

●アングル選択画面

アングル切替 にタッチして、アングルを選択します。

●タッチするごとに、アングルが切り替わります。

⑮設定スイッチ

スイッチにタッチすると、設定画面になります。
設定画面では以下の項目の設定をすることができます。

●設定画面（DVDビデオ）

●設定画面（DVDオーディオ）

（ドルビープロロジックの選択）
→次ページ

サラウンドディレイ

（サラウンドスピーカーディレイタイムの設定）→次ページ

センターディレイ

（センタースピーカーディレイタイムの設定）→323ページ

初期設定

（DVDプレーヤーの初期設定）
→324ページ

知 識

ディスクにより操作できないタッチスイッチが表示されることがあります。（操作できないタッチスイッチは、色が灰色になります。）

■ドルビープロロジック※の選択

以下の条件をすべて満たしているときに選択することができます。

●ダウンミックスＯＦＦ（327ページ参照）

●2チャンネル音声のとき

●ドルビーデジタル（310ページ参照）で再生しているとき（ＤＶＤビデオのみ）

※ドルビープロロジックについては310ページ参照

にタッチします。

●ドルビープロロジックが選択されているときは、タッチスイッチの色が明るくなります。

■サラウンドスピーカーディレイタイム※の設定

以下の条件をすべて満たしているときに設定することができます。

●ダウンミックスＯＦＦ（327ページ参照）

●ドルビーデジタル（310ページ参照）またはドルビープロロジック（310ページ参照）で再生しているとき

知 識

初期状態で本車両に合わせて設定されていますので、通常は設定し直す必要はありません。

サラウンドディレイ にタッチすると、サラウンドスピーカーディレイタイム画面が表示されます。

●レベル▲ にタッチするとディレイタイムレベルが上がります。

●レベル▼ にタッチするとディレイタイムレベルが下がります。

知 識

初期状態 にタッチすると、ディレイタイムレベルが初期状態にもどります。

※ディレイとは遅延のことで、ディレイタイムのレベルを上げるにつれて、スピーカーが徐々に遠くにあるように音が聞こえます。

■センタースピーカーディレイタイム※の設定

以下の条件をすべて満たしているときに設定することができます。

●ダウンミックスＯＦＦ（327ページ参照）
●ドルビープロロジックＯＦＦ（前ページ参照）
●ドルビーデジタル（310ページ参照）で再生しているとき

知 識

初期状態で本車両に合わせて設定されていますので、通常は設定し直す必要はありません。

センターディレイ にタッチすると、センタースピーカーディレイタイム画面が表示されます。

●**レベル▲** にタッチするとディレイタイムレベルが上がります。
●**レベル▼** にタッチするとディレイタイムレベルが下がります。

知 識

初期状態 にタッチすると、ディレイタイムレベルが初期状態にもどります。

※ディレイとは遅延のことで、ディレイタイムのレベルを上げるにつれて、スピーカーが徐々に遠くにあるように音が聞こえます。

■初期設定画面

321ページの設定画面で 初期設定 にタッチすると初期設定画面が表示されます。
以下の項目の初期設定をすることができます。
次ページ 、または 前ページ にタッチして、2つの画面を切り替えます。

〈 初期設定1画面 〉

〈 初期設定2画面 〉

音声
(音声言語) →次ページ

字幕
(字幕言語) →次ページ

ソフトメニュー
(ソフトメニュー言語) →次ページ

マルチアングルマーク
(マルチアングルマーク表示) →326ページ

視聴制限
(視聴制限レベル) →326ページ

画面モード
(画面モード) →327ページ

ダウンミックス
(ダウンミックス) →327ページ

音声ダイナミックレンジ
(音声ダイナミックレンジ) →327ページ

スピーカレベル調整
(スピーカーレベル調整) →328ページ

設定が終了したら 決定 にタッチします。

知 識

初期状態に戻す にタッチすると、すべての初期設定の項目が初期の状態にもどります。

●音声言語

音声言語の初期設定をすることができます。

1 初期設定1画面で、 音声 にタッチします。

2 出力させる音声言語のタッチスイッチにタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- ● その他 にタッチしたときは、331ページ「言語コードの入力」をご覧ください。

●字幕言語

字幕言語の初期設定をすることができます。

1 初期設定1画面で、 字幕 にタッチします。

2 表示させる字幕言語のタッチスイッチにタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- ● その他 にタッチしたときは、331ページ「言語コードの入力」をご覧ください。

●ソフトメニュー言語

ソフトメニュー（ディスク独自のメニュー項目に表示される）言語の初期設定をすることができます。

1 初期設定1画面で、ソフトメニュー にタッチします。

2 表示させるソフトメニュー言語のタッチスイッチにタッチします。
- ●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- ● その他 にタッチしたときは、331ページ「言語コードの入力」をご覧ください。

●マルチアングルマーク表示

マルチアングル（310ページ参照）で記録されているディスクを再生させているときに、マルチアングルマークを「表示」、または「非表示」に切り替えることができます。

マルチアングルマーク

初期設定1画面で、マルチアングルマーク にタッチします。

●タッチするたびに、**表示** ⇄ **非表示** と切り替わります。

●視聴制限レベル

視聴制限レベル（309ページ参照）の初期設定をすることができます。

1 初期設定1画面で、 視聴制限 にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして、暗証番号を入力します。
　●間違えたときは 修正 にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

知識

修正 に連続して10回タッチすると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

3 完了 にタッチします。

4 選択する視聴制限レベルのタッチスイッチにタッチします。
　●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

●画面モード

画面モードの初期設定をすることができます。

初期設定2画面で、 画面モード にタッチします。
●タッチするたびに、**オート⇄ワイド**と切り替わります。

●ダウンミックス

マルチチャンネルで再生している音声を2チャンネルに切り替える初期設定をすることができます。

初期設定2画面で、 ダウンミックス にタッチします。
●タッチするたびに、**ＯＮ⇄ＯＦＦ**と切り替わります。

知 識

以下の場合、ダウンミックスをＯＮにして再生することをおすすめします。
●前後音量バランスで、うしろ側の音量を強調したときに、センタースピーカーから出てくる会話などの音声が聞きとりにくいとき
●ドルビーデジタル、ＤＴＳ、ＰＣＭマルチチャンネル音声再生に対応しています。そのため、ディスクによっては音声が出力されないスピーカーがあります。このときすべてのスピーカーから音声を出力したいとき
●前席、後席とも同じような音響で音声を出力したいとき

●音声ダイナミックレンジ※

ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオの音声ダイナミックレンジを初期設定することができます。

初期設定2画面で、 音声ダイナミックレンジ にタッチします。
●タッチするたびに、**ＳＴＤ⇄ＭＡＸ**と切り替わります。

ＳＴＤ：標準ダイナミックレンジ
ＭＡＸ：最大ダイナミックレンジ

※音声の最大値と最小値の比

●スピーカーレベル調整

テスト信号（ザーという音）を使って、各スピーカーの音量が同じレベルに聞こえるように初期設定することができます。設定された音量はＤＶＤビデオ・ビデオＣＤ再生時に使用されます。

 知 識

初期状態で本車両に合わせて設定されていますので、通常は設定し直す必要はありません。

1 初期設定2画面で、スピーカレベル調整 にタッチするとスピーカレベル調整画面が表示されます。

2 確認（調整）したいスピーカーのスイッチにタッチします。

- Ｒ …フロント右側スピーカー
- Ｌ …フロント左側スピーカー
- Ｃ …センタースピーカー
- Ｒｓ …右側サラウンドリヤスピーカー
- Ｌｓ …左側サラウンドリヤスピーカー
- ＳＷ※…サブウーハー（ウーハースピーカー）

●テスト信号が出力されるスピーカーのスイッチの色が明るくなります。

※サブウーハー（ウーハースピーカー）はテスト信号は出力されませんが、レベル調整はできます。

3 レベルを設定します。画面のスピーカーのスイッチの色が明るくなっているスピーカーのレベルを設定することができます。

- レベル▲ にタッチするとスピーカーレベルが上がります。
- レベル▼ にタッチするとスピーカーレベルが下がります。

知識

初期状態 にタッチすると、スピーカーレベルが初期状態にもどります。

⑯グループサーチスイッチ

スイッチにタッチすると、グループサーチ画面になります。
グループ番号（312ページ参照）を選択することができます。

●グループサーチ画面

－ · ＋ にタッチして、グループ番号を選択します。

- グループ番号が画面に表示されますので、希望のグループ番号を選びます。
- 完了 にタッチすると、選択したグループ番号が再生されます。

トラック番号（312ページ参照）の選択は、トラックスイッチ（313ページ参照）で行います。
トラック番号を大きい方へ選択するときはスイッチの︿側、小さい方へ選択するときはスイッチの﹀側を押して、希望のトラック番号を選びます。

- トラック番号が画面に表示されますので、希望のトラックの番号を選びます。

●キー番号入力画面

挿入しているディスクにボーナスグループがある場合、ボーナスグループを再生するときに使用します。

●ボーナスグループやキー番号についてはディスクに付属の取り扱い説明書などをご覧ください。

1 グループサーチ画面でボーナスグループのグループ番号を選択して、完了 にタッチします。

2 キー番号入力画面が表示されます。数字を1番号ずつタッチして、キー番号を入力します。

●間違えたときは 修正 にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

3 完了 にタッチします。
ボーナスグループが再生されます。

⑰ページ送りスイッチ、⑱ページ戻しスイッチ

ＤＶＤオーディオ再生時に、静止画のページを切り替えることができます。

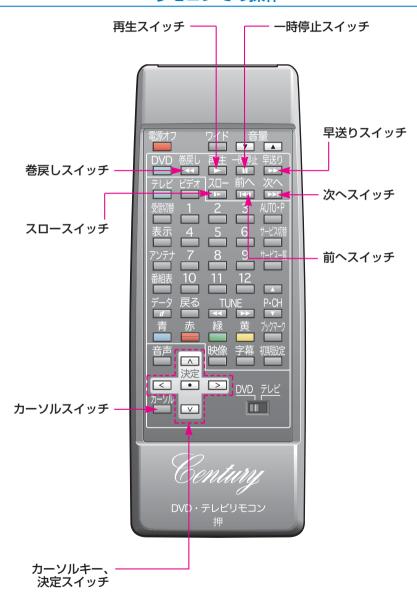
■言語コードの入力

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の初期設定で、 その他 にタッチしたときは、言語コード（下表参照）を入力することにより、言語を選択することができます。

※画面は「字幕言語」のコード入力画面です。

1 数字を1番号ずつタッチして、言語コードを入力します。
●間違えたときは 修正 にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

2 完了 にタッチします。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブバジャ語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフラカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	ニュージーランド語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ローマ語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キンヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラピュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボクロアチア語	2515	ヨルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語

リモコンでの操作

再生スイッチ
一時停止スイッチ
早送りスイッチ
巻戻しスイッチ
次へスイッチ
スロースイッチ
前へスイッチ
カーソルスイッチ
カーソルキー、
決定スイッチ
電源オフ
ワイド
音量
DVD
巻戻し
再生
一時停止
早送り
テレビ
ビデオ
スロー
前へ
次へ
受信切替
1
2
3
AUTO・P
表示
4
5
6
サービス切替
アンテナ
7
8
9
サービス一覧
番組表
10
11
12
データ
戻る
TUNE
P・CH
青
赤
緑
黄
ブックマーク
音声
映像
字幕
初期設定
決定
カーソル
DVD
テレビ
Century
DVD・テレビリモコン
押

■早送り・巻戻しするには

ディスクの早送り、早戻しをすることができます。

早送りするときは、［早送り］、もどすときは、［巻戻し］を押して希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

■一時停止するには

［一時停止］を押すと、ディスクが一時停止します。

■再生するには

［再生］を押すと、一時停止中、またはスロー再生中のディスクを通常再生させることができます。

■スロー再生するには

ＤＶＤビデオを再生中または、一時停止中に、［スロー］を押すと、スロー再生されます。

知識

ディスクにより、画面に🚫マークが表示され、操作できないことがあります。

■頭出しするには

ＤＶＤビデオ再生時

チャプター番号※を選択して、頭出しをすることができます。

● チャプター番号を、
  - 大きい方へ選択するときは、次へ、
  - 小さい方へ選択するときは、前へ、

  を押します。

※ディスクに記録されている映像や曲の区切りで、タイトル番号より小さい単位です。

ＤＶＤオーディオ再生時

トラック番号を選択して、頭出しをすることができます。

● トラック番号を、
  - 大きい方へ選択するときは、次へ、
  - 小さい方へ選択するときは、前へ、

  を押します。

知 識

ディスクにより、画面に🚫マークが表示され、操作できないことがあります。

■操作スイッチを表示するには

ディスク再生中に、カーソルを押すと操作スイッチが表示されます。

● 操作スイッチが表示されているときに、再びカーソルを押すと、操作スイッチは消えます。

〈例：ＤＶＤビデオ再生時〉

操作スイッチを表示させると、ＤＶＤプレーヤーの各機能の操作ができます。

操作スイッチの操作方法は、315ページ「画面での操作」をご覧ください。

ビデオＣＤの操作

ビデオＣＤを再生させているときの操作上のご注意
ディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。このＤＶＤプレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取り扱い説明書もあわせてご覧ください。

知 識

ＰＢＣ※機能はＯＮ固定になります。

※ＰＢＣ……Play Back Control（プレイバックコントロール）の略で、ＰＢＣが内蔵されているディスクを再生させているときに、ディスク独自のメニュー項目を表示させ、操作することができます。

ビデオＣＤの操作のしかた

オーディオ本体での操作

ここではオーディオ本体でのスイッチの操作について説明しています。

●ディスクの映像をご覧になっているときに表示されるスイッチについては、次ページをご覧ください。

●リモコンでの操作については、342ページをご覧ください。

トラックスイッチ

知 識

●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

●悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

ディスク挿入口にビデオＣＤを挿入すると、ディスク読込み中画面が表示されます。

（挿入のしかたは300ページ「ディスクを挿入するには」、読込み中画面については304ページ「ディスクの読込み」参照）

トラックスイッチ

トラック番号を選択することができます。

●トラック番号を、
- 大きい方へ選択するときはスイッチの ︿ 側、
- 小さい方へ選択するときはスイッチの ﹀ 側、

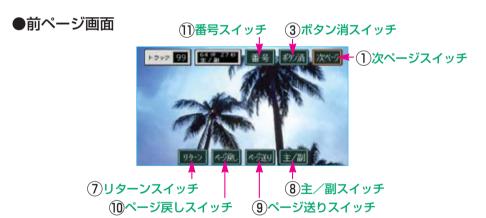
を押します。

画面での操作

ビデオＣＤをご覧になっているときに、画面にタッチすると、ビデオＣＤ操作スイッチが表示されます。

●操作スイッチには2つの画面があります。

- 次ページ 、または 前ページ にタッチして、2つの画面を切り替えます。

●スイッチにタッチしたとき、画面に🚫が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

●前ページ画面

●次ページ画面

①次ページスイッチ
スイッチにタッチすると、次ページ画面になります。

②前ページスイッチ
スイッチにタッチすると、前ページ画面になります。

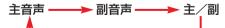
③ボタン消スイッチ
スイッチにタッチすると、操作スイッチが消去され、もとの画面にもどります。

④静止スイッチ
スイッチにタッチすると、映像が静止します。
●静止させているときにスイッチにタッチすると、通常再生されます。

⑤早送り／早戻しスイッチ
映像の早送り、早戻しをすることができます。
早送りするときは▶▶、早戻しするときは◀◀にタッチして、希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。
●静止させているときに▶▶にタッチしている間、スロー再生されます。

⑥再生スイッチ
スイッチにタッチすると、静止中の映像を通常再生させることができます。

⑦リターンスイッチ
スイッチにタッチすると、ディスク独自のメニュー項目が表示されます。
（操作方法は、再生させているディスクに付属の取り扱い説明書をご覧ください。）

⑧主／副スイッチ
音声多重放送の音声モードを切り替えることができます。
スイッチにタッチするごとに、

の順に音声が切り替わります。

⑨ページ送りスイッチ

トラック番号を選択することができます。
スイッチにタッチするごとに、トラック番号が大きい方へ選択され、選択したトラック番号の映像が再生されます。
●トラック番号が画面に表示されますので、希望のトラック番号を選びます。

知識

ディスクにより、操作できなかったり、異なる作動をすることがあります。

⑩ページ戻しスイッチ

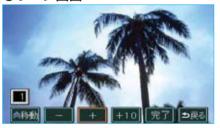
トラック番号を選択することができます。
スイッチにタッチするごとに、トラック番号が小さい方へ選択され、選択したトラック番号の映像が再生されます。
●トラック番号が画面に表示されますので、希望のトラック番号を選びます。

知識

ディスクにより、操作できなかったり、異なる作動をすることがあります。

⑪番号スイッチ

スイッチにタッチすると、サーチ画面になります。
トラック番号を選択することができます。

●サーチ画面

－・＋・＋10にタッチして、トラック番号を選択します。

●トラック番号が画面に表示されますので、希望のトラック番号を選びます。

●完了にタッチすると、選択したトラック番号の映像が再生されます。

●移動にタッチすると、タッチスイッチが表示されている場所を画面の上側や下側に変更することができます。

●トラック番号の選択は、トラックスイッチ（336ページ参照）で行うこともできます。
トラック番号を大きい方へ選択するときはスイッチの︿側、小さい方へ選択するときはスイッチの﹀側を押して、希望のトラック番号を選びます。

- トラック番号が画面に表示されますので、希望のトラック番号を選びます。

知 識

ディスクにより、操作できなかったり、異なる作動をすることがあります。

⑫設定スイッチ

スイッチにタッチすると初期設定画面になります。
画面モードの初期設定をすることができます。

〈 初期設定1画面 〉

〈 初期設定2画面 〉

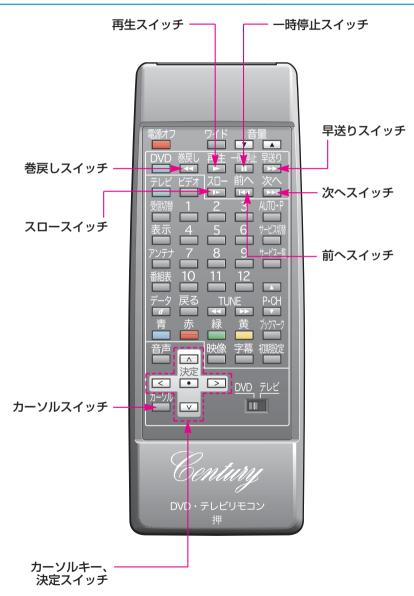
1 初期設定1画面で、 次ページ にタッチします。

2 次に表示された初期設定2画面で、 画面モード にタッチします。
●タッチするたびに、**オート**⇄**ワイド**と切り替わります。

3 設定が終了したら 決定 にタッチします。

知 識

初期状態に戻す にタッチすると、初期設定の項目が初期の状態にもどります。

リモコンでの操作

再生スイッチ
一時停止スイッチ
早送りスイッチ
巻戻しスイッチ
次へスイッチ
スロースイッチ
前へスイッチ
カーソルスイッチ
カーソルキー、
決定スイッチ
電源オフ
ワイド
音量
DVD
巻戻し
再生
一時停止
早送り
テレビ
ビデオ
スロー
前へ
次へ
受信切替
1
2
3
AUTO・P
表示
4
5
6
サービス切替
アンテナ
7
8
9
サービス一覧
番組表
10
11
12
データ
戻る
TUNE
P・CH
青
赤
緑
黄
ブックマーク
音声
決定
映像
字幕
初期設定
カーソル
DVD
テレビ
Century
DVD・テレビリモコン
押

■早送り・巻戻しするには

ディスクの早送り、早戻しをすることができます。

早送りするときは、［早送り］、もどすときは、［巻戻し］を押して希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

■一時停止するには

［一時停止］を押すと、ディスクが一時停止します。

■再生するには

［再生］を押すと、一時停止中、またはスロー再生中のディスクを通常再生させることができます。

■スロー再生するには

再生中または、一時停止中に、［スロー］を押すと、スロー再生されます。

知識

ディスクにより、画面に🚫マークが表示され、操作できないことがあります。

■頭出しするには

トラック番号を選択して、頭出しをすることができます。

●トラック番号を、
- ●大きい方へ選択するときは、［次へ］、
- ●小さい方へ選択するときは、［前へ］、

を押します。

知識

●ディスクにより、画面に🚫マークが表示され、操作できないことがあります。
●ディスクにより、操作できなかったり、異なる作動をすることがあります。

■操作スイッチを表示するには

ディスク再生中に、 カーソル を押すと操作スイッチが表示されます。

●操作スイッチが表示されているときに、再び カーソル を押すと、操作スイッチは消えます。

操作スイッチを表示させると、ＤＶＤプレーヤーの各機能の操作ができます。

操作スイッチの操作方法は、337ページ「画面での操作」をご覧ください。

音声操作システム

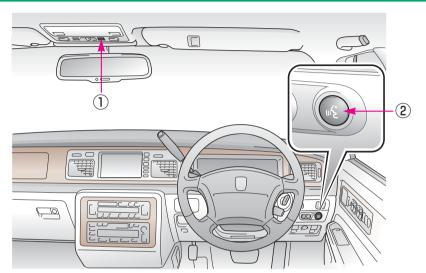
音声操作システムについて

音声操作システム（音声認識用マイク＆トークスイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやＤＶＤプレイヤーなどの操作を行うことができます。

音声操作システムは、**「標準モード」**と**「拡張モード」**を用意しています。
音声操作に慣れるまでは、まず**「標準モード」**をご利用ください。

使用できるコマンドについては、次のいずれかの方法で確認できます。
●**車載機の画面で見る**……音声認識操作ヘルプの**「コマンドリスト」**を見る。
（350ページ参照）
●**取扱書で見る**……本書の**「音声認識コマンド一覧」**を見る。
（376ページ参照）

音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。
●大きな声でハッキリと発声してください。
●声色によっては、認識されづらいこともあります。
●騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
●方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
●地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

各部の名称

①音声認識用マイク

音声認識コマンドを発声するときに使用します。

②トークスイッチ

スイッチを操作することにより、音声認識モードのＯＮ／ＯＦＦができます。

1.標準モードで使う

基本操作を覚える

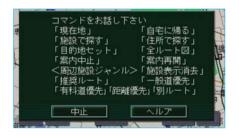
音声操作システムを使用することで、様々な機能を音声操作で使用できます。ここでは、**「標準モード」**を使用した音声操作について説明します。

「標準モード」は、ナビの基本的な操作を音声操作で行うもので、使用できるコマンドをよく使うコマンドに限定してあります。そのため、音声操作が初めてという方でも、画面の指示や音声ガイドにしたがえば簡単にご利用いただけます。

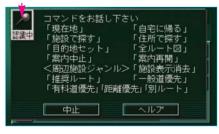
（初期設定では、**「標準モード」**になっています。**「拡張モード」**になっているときは、364ページをご覧の上、**「標準モード」**に設定してください。）

基本的な操作の流れ

音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 トークスイッチを押し、すぐにスイッチから指を離してください。

2 認識できるコマンドリストが表示され、「コマンドをどうぞ」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。

●音声認識モードになります。

認識中マーク

3 <ピッ>と音がしてから約6秒以内に、コマンドリストの中から操作したいコマンドを発声してください。

●音声認識中は、“認識中マーク”が表示されます。

認識結果

メッセージ

4 コマンドが認識されると、認識結果やメッセージが表示されると同時に音声ガイドが出力され、認識されたコマンドが実行されます。

■コマンドを言い間違えたり、認識結果が違うとき

音声ガイドが出力されている途中でトークスイッチを押すと、コマンドの言い直しができます。
＜ピッ＞と音がしてから、再度コマンドを発声してください。

■連続して音声操作をする

地図を呼び出すときなど、連続して音声操作をする場合は、次のようにしてください。

1 コマンドが認識されて音声ガイドが出力された後に、まずトークスイッチを押してください。

2 次に発声する内容の音声ガイドが出力され、＜ピッ＞と音がします。

3 ＜ピッ＞と音がしてから約6秒以内に、音声ガイドの内容にしたがって発声してください。

以後は 1 ～ 3 を繰り返してください。
（詳しくは、354ページの使用例をご覧ください。）

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をすると、音声認識モードを中止できます。
●トークスイッチを押し続ける。
●音声認識モード時に **中止** にタッチする。

知 識

中止 は音声認識でも操作できます。

音声認識操作ヘルプを使う

音声認識操作ヘルプを使うと、使用可能なコマンドや操作方法が、画面で確認できます。
（ここでは**「拡張モード」**の画面で説明していますが、**「標準モード」**も同様です。）

知 識

走行中やナビ画面以外の画面を表示しているときは、音声認識操作ヘルプを表示することができません。

コマンドリストを見る

使用可能なコマンドのリストを画面に表示できます。

1 音声認識モード時に **ヘルプ** にタッチしてください。

知 識

ヘルプ は音声認識でも操作できます。

2 操作ガイドが表示された場合は、**コマンドリスト** にタッチしてください。

- 操作ガイドに切り替えるときは、**操作ガイド** にタッチしてください。

3 コマンドリストで操作したいコマンドを確認してください。

●コマンドリストのジャンルを変更するときは、ナビ操作、目的地設定、周辺施設、（知りたインフォ、その他）の中から選択しタッチしてください。

※（　）内は「拡張モード」のみ使用できます。

●ページを送るときは、▲または▼にタッチしてください。

操作ガイドを見る

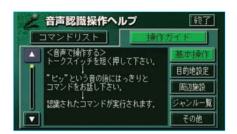
操作方法がわからなくなったとき、画面に操作方法を表示できます。

1 音声認識モード時にヘルプにタッチしてください。

ヘルプは音声認識でも操作できます。

2 操作ガイドにタッチしてください。

●住所、施設、ジャンルのいずれかの認識時は、ヘルプにタッチするだけで操作ガイドが表示されます。

●コマンドリストに切り替えるときは、コマンドリストにタッチしてください。

3 操作ガイドが表示されます。
知りたい操作ガイドのジャンルを、基本操作、目的地設定、周辺施設、（ジャンル一覧、その他）の中から選択しタッチしてください。

※（　）内は「拡張モード」のみ使用できます。

- ページを送るときは、▲または▼にタッチしてください。

音声認識操作ヘルプ画面を終了する

ヘルプ画面を終了するときは、終了にタッチしてください。

2.音声操作の使用例（標準モード）

ここでは標準モードでの音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してみてください。

文中の表記は次のようになっています。

- （〇〇〇）……スイッチなどの操作
- 「〇〇〇」……車載機から出力される音声ガイド
- ＜〇〇〇＞……車載機から出力される操作音
- **「〇〇〇」**……発声するコマンドなど

ここで紹介するのは一例ですので、説明にないコマンドの使い方は、376ページの**「音声認識コマンド一覧」**をご覧ください。

周辺施設を表示する

地図に周辺施設の記号を表示させてみましょう。

例）「コンビニ」を表示させます。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「コンビニ」**

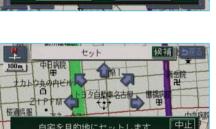
車載機：「コンビニ全てを表示します」

以上で、コンビニの記号が地図に表示されます。

 知 識

音声操作で表示できる周辺施設は、周辺施設画面で選択されている、走行中に操作可能な6項目の施設になります。（96ページ参照）

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「自宅に帰る」**

車載機：「自宅を目的地にセットできます。“セット”でここを目的地にセットします」

お客様：（トークスイッチを押す）※１

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「セット」**

車載機：「自宅を目的地にセットします」

以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

自宅以外を目的地に設定する場合は、次ページ以降の手順で目的地を検索してから、※１以降を同様に操作します。

施設名で検索する

施設名から地図を検索してみましょう。
施設名で検索するときは、原則として「都道府県名＋施設名」を発声します。
●都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように、分けて発声してもかまいません。
なお、ここで検索できる施設は、画面操作の施設検索（104ページ参照）から検索できる施設のみとなります。

例）「東京都のとしまえん」を検索します。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」<ピッ>

お客様：**「施設で探す」**

車載機：「施設を名称で探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「都道府県名と施設名を続けてどうぞ」<ピッ>

お客様：**「東京都 としまえん」**

車載機：「東京都 としまえんを表示します “セット” でここを目的地にセットします」

あとは前ページの**「自宅を目的地に設定する」**の※１以降と同様の操作をすれば、目的地に設定することができます。

■施設名で検索するときのポイント

次の施設は、都道府県名がわからないとき、他の名称で指定することもできます。この場合も、続けて発声しても、分けて発声してもかまいません。

<販売店、レンタリース、ジェームス>

系列名＋店名

例）トヨタ○○ △△店

※ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

<駅>

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR 東海道新幹線 東京駅

<高速ＩＣ・ＳＡ・ＰＡ、有料ＩＣ>

- **道路名＋施設名**

  例）東名高速道路 東京インター

- **道路名＋路線名＋施設名**

  例）首都高速 4号新宿線 新宿インター

「都道府県名＋施設名」で指定するときも、「[有料道路名] ＋ [路線名] ＋施設名」と指定すると、検索結果の精度が上がります。

※ [ ] 内はどちらかを省略してもかまいません。なお、高速道路の場合は、「有料道路名」は不要です。

知 識

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。
- 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。

  例）千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、“千葉県”を発声する必要はありません。
- 施設名は、画面操作の施設検索（104ページ参照）を参照の上、正確に発声してください。

発声を間違えたとき

都道府県名、施設名などを間違えたときは、次のように操作します。

1 トークスイッチを押してください。

2 音声ガイドのあと＜ピッ＞と音がしたら、約6秒以内に**「戻る」**と発声すれば言い直すことができます。

この場合、直前に発声した内容によって、次のように言い直す範囲が異なります。

例）東京都 としまえんを検索したとき

＜都道府県名と施設名を連続して発声した場合＞
「東京都 としまえん」と都道府県名から言い直します。

＜都道府県名と施設名を分けて発声し、直前に発声したのが施設名の場合＞
「としまえん」と施設名のみ言い直します。

音声操作時の目的地設定のしかた

音声操作で目的地設定するときは、専用の画面が表示されます。
すでに目的地が設定されているかいないかで、表示される画面が異なります。
なお、ここで表示される画面は、タッチスイッチを操作しても、音声認識でもどちらの方法でも操作できます。

<目的地が設定されていないとき>

セット にタッチすると、検索した結果を目的地に設定します。

<すでに目的地が設定されているとき>

● 追加目的地 にタッチすると、検索した結果を一番手前の目的地として追加します。

● 新規目的地 にタッチすると、設定済みの目的地を削除して、検索した結果を新規に目的地に設定します。

知 識

セット、 追加目的地、 新規目的地 は音声認識でも操作できます。

検索したかった結果が違うときの操作

認識した結果が検索したかった結果と違うときは、次のいずれかの方法で、希望の検索結果を選択できます。

■リストから選択する

認識した候補の一覧を表示させて、その中から選択することができます。

1 候補 にタッチしてください。

 知 識

候補 は音声認識でも操作できます。

2 希望の検索結果の候補を選択し、タッチしてください。

■地図を表示させて選択する

トークスイッチを押して、**「次の候補」**と発声して音声操作すると、直接、次の候補の地図を呼び出します。

 知 識

希望の検索結果がないときは、最初から操作をやり直してみてください。

住所で検索する

住所で地図を検索してみましょう。

●住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。

●大字・字・番地・号は、省略して発声してください。

●「ー」は**「の」**または**「はいふん」**と発声してください。

なお、ここで検索できる住所は、画面操作の住所検索（107ページ参照）から検索できる住所のみとなります。

例）「東京都文京区後楽ー丁目1ー2」を検索します。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」<ピッ>

お客様：**「住所で探す」**

車載機：「住所で探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「住所を都道府県名からどうぞ」<ピッ>

お客様：**「東京都文京区後楽ー丁目」**

車載機：「東京都文京区後楽ー丁目を表示します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「住所の続きをどうぞ」<ピッ>

お客様：**「1ー2」**

車載機：「東京都文京区後楽ー丁目1ー2を表示します
“セット”でここを目的地にセットします」

あとは355ページの「自宅を目的地に設定する」の※１以降と同様の操作をすれば、目的地に設定することができます。
また、「発声を間違えたとき」、「音声操作時の目的地設定のしかた」については、356ページの「施設名で検索する」と同様です。

知 識

●すべての地名を発声しなかったときは、最後に発声した地名の広域図が表示されます。
●住所は、画面操作の住所検索（107ページ参照）を参照の上、正確に発声してください。

3.拡張モードで使う

拡張モードでできること

「拡張モード」では、次の操作ができるようになります。
●すべてのコマンドが使用できます。
●ジャンル・電話番号・郵便番号・マップコード・メモリ地点の名称読みでも、地図を検索することができます。
●現在地から、または案内ルート上で、一番近い施設を探すことができます。
●ナビ以外の機器を音声認識で操作することができます。

ここでは「拡張モード」での音声操作の具体的な使い方などを説明します。
ここで紹介するのは一例ですので、説明にないコマンドの使い方は、376ページの「音声認識コマンド一覧」をご覧ください。

音声認識モードを設定する

音声認識で使用可能なコマンドの範囲を選択できます。
初期設定では、「標準モード」になっていますので、「拡張モード」を利用するときは、拡張 に設定してください。

1 メニュー を押してください。

2 各種設定 にタッチしてください。

3 音声認識モード切替の 標準 、 拡張 のいずれかにタッチしてください。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

標準 …よく使うコマンドのみが使用できます。
拡張 …すべてのコマンドが使用できます。

標準コマンド、拡張コマンドについては、376ページの**「音声認識コマンド一覧」**をご覧ください。

知 識

音声操作に慣れるまでは、 標準 で利用されることをおすすめします。

4 完了 にタッチしてください。

知 識

初期状態 にタッチすると、すべての各種設定の項目が初期設定の状態にもどります。

拡張モードでの変更点

「標準モード」では、トークスイッチを押すだけでコマンドリストが表示されましたが、「拡張モード」では ヘルプ にタッチしないとコマンドリストが表示されません。
コマンドリストの表示のしかたについて、詳しくは350ページの「コマンドリストを見る」をご覧ください。

「拡張モード」では、トークスイッチを押すと左の画面が表示されます。

使用可能なコマンドのリストを見たいときは、 ヘルプ にタッチしてください。

近くの施設を探す

現在地から、または案内ルート上で一番近い施設を探すことができます。

例）現在地から一番近い「コンビニ」を探します。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「近くのコンビニ」**

車載機：「近くのコンビニ全てを表示します」

以上で、現在地から一番近いコンビニの地図が表示されます。

案内ルート上で一番近いコンビニを探すときは、**「この先のコンビニ」**と発声します。

知識

音声操作で表示できる周辺施設は、周辺施設画面で選択されている、走行中に操作可能な6項目の施設になります。（96ページ参照）

■次に近い施設を呼び出す

近くの施設の地図が表示された後、トークスイッチを押して、**「次の施設」**と発声して音声操作すると、次に近い施設の地図が表示されます。

ジャンルで検索する

色々なジャンルで地図を検索することができます。

●住所は、都道府県名・市区町村名の順に一度に発声しても、分けて発声してもかまいません。また、施設によっては、都道府県名、市区町村名のいずれかだけ発声すればよいものもあります。

例）「和食で、東京都豊島区の○○○（施設名称）」を検索します。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」＜ピッ＞

お客様：**「ジャンルで探す」**

車載機：「施設をジャンル名で探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「ジャンル名をどうぞ」＜ピッ＞

お客様：**「和食」**

車載機：「和食を探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「和食の都道府県と市区町村名をどうぞ」＜ピッ＞

お客様：**「東京都豊島区」**

車載機：「東京都豊島区の和食を探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「施設の名称をどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「○○○（施設名称）」**

車載機：「○○○を表示します
“セット”でここを目的地にセットします」

あとは355ページの**「自宅を目的地に設定する」**の※１以降と同様の操作をすれば、目的地に設定することができます。
また、**「発声を間違えたとき」**、**「音声操作時の目的地設定のしかた」**、**「検索したかった結果が違うときの操作」**については、356ページの**「施設名で検索する」**と同様です。

知 識

施設の名称を発声するときは、画面操作の50音で検索したとき（100ページ参照）にリストに表示される名称を発声してください。

■ジャンル名がわからないとき

コマンドに使用できるジャンル名は、
「ヘルプ」－「操作ガイド」－「ジャンル一覧」
の順にタッチすると確認できます。
詳しくは、351ページの**「操作ガイドを見る」**をご覧ください。

知 識

ジャンルで検索できる施設は、画面操作の50音で検索できる施設（100ページ参照）で、なおかつ音声認識操作ヘルプのジャンル一覧に表示されるジャンルに分類されている施設に限定されます。

数字(電話番号、郵便番号、マップコード)で検索する

電話番号、郵便番号、マップコードから地図を検索することができます。
数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。ただし、電話番号・郵便番号を分けて発声する場合は、区切る位置に注意が必要です。
次の「音声操作で入力するときのポイント」をご覧の上、ご利用ください。

■音声操作で入力するときのポイント

<電話番号>
発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。また、「ー」は省略して発声してください。
例)「012ー345ー6789」を発声する場合は、次のように発声してください。

●一度にすべて発声するとき
「ゼロ、イチ、ニー、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、キュー」
「ゼロ、イチ、ニー、サンビャクヨンジュウゴ、ロク、ナナ、ハチ、キュー」

●分けて発声するとき
「ゼロ、イチ、ニー」+「サン、ヨン、ゴ」+「ロク、ナナ、ハチ、キュー」
「ゼロ、イチ、ニー」+「サンビャクヨンジュウゴ」+「ロク、ナナ、ハチ、キュー」

<郵便番号>
発声するときは、以下の例を参照の上、上3桁+下4桁の区切る位置に注意して発声してください。また、「ー」は省略して発声してください。
例)「123ー4567」を発声する場合は、次のように発声してください。

●一度にすべて発声するとき
「イチ、ニー、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ」

●分けて発声するとき
「イチ、ニー、サン」+「ヨン、ゴ、ロク、ナナ」

<マップコード>

一度にすべて発声しても、途中で区切って分けて発声してもかまいません。
また、「＊」は**「アスタリスク」**と発声してください。

例）「735002＊55」を発声する場合は、次のように発声してください。
「ナナ、サン、ゴ、ゼロ、ゼロ、ニ、アスタリスク、ゴ、ゴ」

操作手順はいずれも同様なので、ここでは電話番号の場合で説明します。

例）「0123−45−6789」を検索します。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
<ピッ>

お客様：**「電話番号で探す」**

車載機：「電話番号で探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「市外局番からどうぞ」
<ピッ>

お客様：**「0123」**

車載機：「0123」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「市内局番からどうぞ」
<ピッ>

お客様：**「45」**

車載機：「45」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「残りの電話番号をどうぞ」
＜ピッ＞

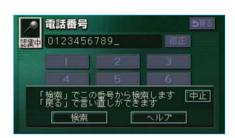
お客様：**「6789」**

車載機：「6789」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「検索」**

車載機：「検索します」

あとはトークスイッチを押して、**「目的地セット」**と発声して音声操作すれば、355ページの**「自宅を目的地に設定する」**の※1以降と同様の操作で、目的地に設定することができます。
また、**「発声を間違えたとき」**、**「音声操作時の目的地設定のしかた」**については、356ページの**「施設名で検索する」**と同様です。

検索して地図を呼び出す

電話番号・郵便番号・マップコード入力で地図を呼び出すときは、それぞれの数字を音声操作で入力してから、検索を行ってください。

入力した数字が正しければ、**検索**にタッチする、または音声操作で**「検索」**と発声すると、音声認識した結果で地図を呼び出します。

入力したすべての数字を消去する

入力したすべての数字を消去するときは、トークスイッチを押して、**「全消去」**と発声して音声操作してください。

メモリ地点で検索する

登録してあるメモリ地点の名称読みで地図を検索することができます。

●メモリ地点の名称読みについては、196ページの**「メモリ地点の名称読み入力」**をご覧ください。

例）メモリ地点の名称読みが「トヨタビル」の施設を検索します。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「トヨタビル」**

車載機：「トヨタビルを表示します“セット”でここを目的地にセットします」

あとは355ページの**「自宅を目的地に設定する」**の※１以降と同様の操作をすれば、目的地に設定することができます。
また、**「音声操作時の目的地設定のしかた」**については、356ページの**「施設名で検索する」**と同様です。

 知 識

登録されている名称読みが短すぎるとき、またはほかのコマンドと類似しているときは、認識されないことがあります。

知りたインフォ機能

ＧＰＳボイスナビゲーションのさまざまな情報を音声認識で質問して、音声で案内をさせることができます。
質問できる項目については、次のいずれかの方法で確認できます。

●**車載機の画面で見る**……ヘルプ－コマンドリスト－知りたインフォの順にタッチして見る。（350ページ参照）

●**取扱書で見る**……本書の**「音声認識コマンド一覧」**を見る。（376ページ参照）

今日は1月1日
日曜日です

例）今日の日付を質問します。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「今日は何日？」**

車載機：「今日は1月1日　日曜日です」

オーディオを操作する

操作できる項目については、ヘルプ－コマンドリスト－その他の順にタッチして、画面で確認してください。

「拡張モード」では、オーディオを音声認識で操作することができます。
音声認識により実行される内容については、376ページの**「音声認識コマンド一覧」**をご覧ください。

**オーディオを
オンします**

例）オーディオの電源がＯＦＦのときに、電源をＯＮにします。

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」
＜ピッ＞

お客様：**「オーディオ」**

車載機：「オーディオをオンします」

■音声認識で操作するときのポイント

音声認識で使用できるコマンドの条件は、スイッチで操作する場合と同様、次のようになります。

●ＤＶＤプレーヤーの操作に関するコマンドは、ＤＶＤプレーヤーモードに切り替わっていないと使用できません。
コマンドは、376ページの**「音声認識コマンド一覧」**で確認してください。

4.音声認識コマンド一覧

この表は、拡張モードでの音声認識操作ヘルプ画面のコマンドリストに合わせて作成してあります。音声認識を使用するときは、それぞれのコマンド名称の認識語を発声してください。
標準／拡張コマンド欄の標準／拡張の区分は、次のようになっています。
　標準：音声認識で常に使用できます。
　拡張：メニュー画面の 各種設定 で、音声認識モード切替の 拡張 を選択したときのみ使用できます。
なお、ここではすべてのコマンドを紹介していますが、車両に装着されていない機器のコマンドは使用できません。

ナビ操作

<画面を切替える>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	現在地	げんざいち	現在地の地図画面を呼び出す。
標準	全ルート図	ぜんるーとず	全ルート図を表示する。
標準	ヘルプ	へるぷ	ヘルプ画面を表示する。
拡張	画面消し	●がめんしょーきょ ●がめんけし	画面表示を消去する。

<地図を切替える>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	2D	つーでぃー	地図を2D表示に切り替える。
拡張	3D	すりーでぃー	地図を3D表示に切り替える。
拡張	2Dツイン	つーでぃーついん	地図をツイン表示に切り替える。
拡張	3Dツイン	すりーでぃーついん	地図を3Dツイン表示に切り替える。
拡張	2画面表示	にがめんひょーじ	地図を2画面表示に切り替える。
拡張	2画面表示解除	にがめんひょーじかいじょ	地図を1画面表示に切り替える。

＜地図の向きを変更する＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	地図向き変更	ちずむきへんこー	表示中の地図の向きを切り替える。
拡張	ノースアップ	のーすあっぷ	表示中の地図の向きをノースアップに切り替える。
拡張	ヘディングアップ	へでぃんぐあっぷ	表示中の地図の向きをヘディングアップに切り替える。

＜高速道路表示を切替える＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	高速略図表示	こーそくりゃくずひょーじ	ハイウェイモードを表示する。
拡張	高速略図表示解除	こーそくりゃくずひょーじかいじょ	ハイウェイモードを解除する。
拡張	都市高マップ表示	としこーまっぷひょーじ	都市高速マップ表示モードにする。
拡張	都市高マップ表示解除	としこーまっぷひょーじかいじょ	都市高速マップ表示モードを解除する。

＜地図の縮尺を切替える＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	広域	こーいき	表示中の地図を1段階広域に切り替える。
拡張	詳細	しょーさい	表示中の地図を1段階詳細に切り替える。
拡張	市街図	しがいず	表示中の地図を市街図に切り替える。
拡張	リアル市街図	●りあるしがいず ●すりーでぃーしがいず	表示中の地図をリアル市街図に切り替える。
拡張	50メートルスケール	ごじゅーめーとるすけーる	表示中の地図を50mスケールに切り替える。
拡張	100メートルスケール	ひゃくめーとるすけーる	表示中の地図を100mスケールに切り替える。
拡張	200メートルスケール	にひゃくめーとるすけーる	表示中の地図を200mスケールに切り替える。
拡張	400メートルスケール	よんひゃくめーとるすけーる	表示中の地図を400mスケールに切り替える。
拡張	800メートルスケール	はっぴゃくめーとるすけーる	表示中の地図を800mスケールに切り替える。
拡張	1.6キロメートルスケール	いってんろっきろめーとるすけーる	表示中の地図を1.6kmスケールに切り替える。
拡張	3キロメートルスケール	さんきろめーとるすけーる	表示中の地図を3kmスケールに切り替える。
拡張	7キロメートルスケール	ななきろめーとるすけーる	表示中の地図を7kmスケールに切り替える。
拡張	13キロメートルスケール	じゅーさんきろめーとるすけーる	表示中の地図を13kmスケールに切り替える。
拡張	26キロメートルスケール	にじゅーろっきろめーとるすけーる	表示中の地図を26kmスケールに切り替える。
拡張	50キロメートルスケール	ごじゅっきろめーとるすけーる	表示中の地図を50kmスケールに切り替える。
拡張	100キロメートルスケール	ひゃっきろめーとるすけーる	表示中の地図を100kmスケールに切り替える。
拡張	200キロメートルスケール	にひゃっきろめーとるすけーる	表示中の地図を200kmスケールに切り替える。

＜右画面の地図を切替える＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面3D	みぎがめんすりーでぃー	右画面地図を3D表示に切り替える。
拡張	右画面3D解除	みぎがめんすりーでぃーかいじょ	右画面地図を2D表示に切り替える。
拡張	右画面施設表示	みぎがめんしせつひょーじ	右画面地図上に周辺施設を表示する。
拡張	右画面施設表示消去	みぎがめんしせつひょーじしょーきょ	右画面地図上の周辺施設表示を消去する。
拡張	右画面地図向き変更	みぎがめんちずむきへんこー	右画面表示中の地図の向きを切り替える。
拡張	右画面ノースアップ	みぎがめんのーすあっぷ	右画面表示中の地図の向きをノースアップに切り替える。
拡張	右画面ヘディングアップ	みぎがめんへでぃんぐあっぷ	右画面表示中の地図の向きをヘディングアップに切り替える。

＜右画面の地図の縮尺を切替える＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面広域	みぎがめんこーいき	表示中の右画面地図を1段階広域に切り替える。
拡張	右画面詳細	みぎがめんしょーさい	表示中の右画面地図を1段階詳細に切り替える。
拡張	右画面市街図	みぎがめんしがいず	表示中の右画面地図を市街図に切り替える。
拡張	右画面リアル市街図	●みぎがめんりあるしがいず ●みぎがめんすりーでぃーしがいず	表示中の右画面地図をリアル市街図に切り替える。
拡張	右画面50メートルスケール	みぎがめんごじゅーめーとるすけーる	表示中の右画面地図を50mスケールに切り替える。
拡張	右画面100メートルスケール	みぎがめんひゃくめーとるすけーる	表示中の右画面地図を100mスケールに切り替える。

<右画面の地図の縮尺を切替える>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面200メートルスケール	みぎがめんにひゃくめーとるすけーる	表示中の右画面地図を200mスケールに切り替える。
拡張	右画面400メートルスケール	みぎがめんよんひゃくめーとるすけーる	表示中の右画面地図を400mスケールに切り替える。
拡張	右画面800メートルスケール	みぎがめんはっぴゃくめーとるすけーる	表示中の右画面地図を800mスケールに切り替える。
拡張	右画面1.6キロメートルスケール	みぎがめんいってんろっきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を1.6kmスケールに切り替える。
拡張	右画面3キロメートルスケール	みぎがめんさんきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を3kmスケールに切り替える。
拡張	右画面7キロメートルスケール	みぎがめんななきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を7kmスケールに切り替える。
拡張	右画面13キロメートルスケール	みぎがめんじゅーさんきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を13kmスケールに切り替える。
拡張	右画面26キロメートルスケール	みぎがめんにじゅーろっきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を26kmスケールに切り替える。
拡張	右画面50キロメートルスケール	みぎがめんごじゅっきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を50kmスケールに切り替える。
拡張	右画面100キロメートルスケール	みぎがめんひゃっきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を100kmスケールに切り替える。
拡張	右画面200キロメートルスケール	みぎがめんにひゃっきろめーとるすけーる	表示中の右画面地図を200kmスケールに切り替える。

<地点を登録する>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	メモリ地点	めもりちてん	地図画面の中心位置にメモリ地点を登録する。
拡張	方向付きメモリ地点	ほーこーつきめもりちてん	現在地画面の中心位置に進行方向に合わせ、方向付きメモリ地点を登録する。
拡張	音声付きメモリ地点	おんせーつきめもりちてん	地図画面の中心位置に、音声付きメモリ地点を登録する。

<ルート案内をさせる>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	案内再開	あんないさいかい	ルート案内を再開する。
標準	案内中止	あんないちゅーし	ルート案内を中止する。
拡張	案内音声	あんないおんせー	案内音声を出力する。
拡張	ナビ音量アップ	●なびおんりょーあっぷ ●なびぼりゅーむあっぷ	ナビゲーションのナビ音量設定を1段階アップする。
拡張	ナビ音量ダウン	●なびおんりょーだうん ●なびぼりゅーむだうん	ナビゲーションのナビ音量設定を1段階ダウンする。

<ルートを変更する>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	推奨ルート	すいしょーるーと	推奨ルートでルートを探索する。
標準	有料道優先	●ゆうりょーどーゆーせん ●こーそくどーゆーせん	有料道優先でルートを探索する。
標準	一般道優先	いっぱんどーゆーせん	一般道優先でルートを探索する。
標準	距離優先	きょりゆーせん	距離優先でルートを探索する。
標準	別ルート	べつるーと	別ルートでルートを探索する。

＜ＶＩＣＳの情報を見る＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ＶＩＣＳ表示	びっくすひょーじ	地図上にＶＩＣＳレベル3情報を表示するよう設定を切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ表示消去	びっくすひょーじ しょーきょ	地図上に表示しているＶＩＣＳレベル3情報を消去する。
拡張	ＦＭ文字	えふえむもじ	ＶＩＣＳ　ＦＭ文字情報表示画面に切り替える。
拡張	ＦＭ図形	えふえむずけー	ＶＩＣＳ　ＦＭ図形情報表示画面に切り替える。
拡張	割込情報	わりこみじょーほー	最新の割り込み図形表示画面に切り替える。

＜割込み情報を設定する＞

次のコマンドは、ビーコンユニット装着車のみ使用できます。

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ビーコン文字情報	びーこんもじじょーほー	割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“する”に切り替える。
拡張	ビーコン文字情報解除	びーこんもじじょーほーかいじょ	割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“しない”に切り替える。
拡張	ビーコン図形情報	びーこんずけー じょーほー	割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“する”に切り替える。
拡張	ビーコン図形情報解除	びーこんずけー じょーほーかいじょ	割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“しない”に切り替える。
拡張	注意警戒情報	ちゅーいけーかい じょーほー	割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“する”に切り替える。
拡張	注意警戒情報解除	ちゅーいけーかい じょーほーかいじょ	割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“しない”に切り替える。

＜地図上の情報を切替える＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ＶＩＣＳ駐車場表示	びっくすちゅーしゃじょーひょーじ	ＶＩＣＳ表示設定の“駐車場”を“ＯＮ”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ駐車場表示消去	びっくすちゅーしゃじょーひょーじしょーきょ	ＶＩＣＳ表示設定の“駐車場”を“ＯＦＦ”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ渋滞・混雑表示	びっくすじゅーたいこんざつひょーじ	ＶＩＣＳ表示設定の“渋滞・混雑”を“ＯＮ”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ渋滞・混雑表示消去	びっくすじゅーたいこんざつひょーじしょーきょ	ＶＩＣＳ表示設定の“渋滞・混雑”を“ＯＦＦ”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ空き道表示	びっくすあきみちひょーじ	ＶＩＣＳ表示設定の“空き道”を“ＯＮ”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ空き道表示消去	びっくすあきみちひょーじしょーきょ	ＶＩＣＳ表示設定の“空き道”を“ＯＦＦ”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ規制情報表示	びっくすきせーじょーほーひょーじ	ＶＩＣＳ表示設定の“規制情報”を“ＯＮ”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ規制情報表示消去	びっくすきせーじょーほーひょーじしょーきょ	ＶＩＣＳ表示設定の“規制情報”を“ＯＦＦ”に切り替える。

＜渋滞を避けるルートにする＞

次のコマンドは、ビーコンユニット装着車のみ使用できます。

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ＶＩＣＳ渋滞考慮探索	びっくすじゅーたいこーりょたんさく	ナビゲーションの条件設定の“渋滞考慮探索”を“する”に切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ渋滞考慮探索消去	びっくすじゅーたいこーりょたんさくしょーきょ	ナビゲーションの条件設定の“渋滞考慮探索”を“しない”に切り替える。

＜情報表示する道路を切替える＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ＶＩＣＳ全道路表示	びっくすぜんどーろひょーじ	地図上にＶＩＣＳレベル3情報を全道路に表示するよう設定を切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ高速道表示	びっくすこーそくどーひょーじ	地図上にＶＩＣＳレベル3情報を高速道のみ表示するよう設定を切り替える。
拡張	ＶＩＣＳ一般道表示	びっくすいっぱんどーひょーじ	地図上にＶＩＣＳレベル3情報を一般道のみ表示するよう設定を切り替える。

＜右画面でＶＩＣＳの情報を見る＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面ＶＩＣＳ表示	みぎがめんびっくすひょーじ	右画面地図上にＶＩＣＳレベル3情報を表示するよう設定を切り替える。
拡張	右画面ＶＩＣＳ表示消去	みぎがめんびっくすひょーじしょーきょ	右画面地図上に表示しているＶＩＣＳレベル3情報を消去する。

＜音声認識を中止する＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	中止	ちゅーし	音声認識モードを終了する。

知 識

ＶＩＣＳに関するコマンドについては、ＶＩＣＳ情報が受信できないとき、または受信しても情報がないときは、コマンドを発声しても表示させせることができません。

目的地設定

<目的地を探す>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	施設で探す	しせつでさがす	施設で検索する。
拡張	ジャンルで探す	じゃんるでさがす	ジャンルで検索する。
標準	住所で探す	じゅーしょでさがす	住所で検索する。
拡張	電話番号で探す	でんわばんごーでさがす	電話番号入力で検索する。
拡張	マップコードで探す	まっぷこーどでさがす	マップコード入力で検索する。
拡張	郵便番号で探す	ゆーびんばんごーでさがす	郵便番号入力で検索する。
拡張	○○○（メモリ地点名称）	○○○（メモリ地点名称読み）	登録されたメモリ地点を検索する。

<登録した地点に設定する>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	自宅に帰る	●じたくにかえる ●うちにかえる ●いえにかえる	自宅を探索する。
拡張	特別メモリ1へ行く	とくべつめもりいちえいく	特別メモリ1を探索する。
拡張	特別メモリ2へ行く	とくべつめもりにえいく	特別メモリ2を探索する。
拡張	特別メモリ3へ行く	とくべつめもりさんえいく	特別メモリ3を探索する。
拡張	特別メモリ4へ行く	とくべつめもりよんえいく	特別メモリ4を探索する。
拡張	特別メモリ5へ行く	とくべつめもりごえいく	特別メモリ5を探索する。

<地図に目的地を設定する>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	目的地セット	●もくてきちせっと ●いきさき	地図画面の中心位置に目的地を登録し、探索を開始する。

<メッセージ表示時に有効>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	セット	せっと	目的地を登録する。
標準	新規目的地	しんきもくてきち	既存の目的地を全て消去して新規に目的地を登録する。
標準	追加目的地	ついかもくてきち	直近（現在地から一番近い）目的地として追加登録する。
標準	中止	ちゅーし	音声認識モードを終了する。
標準	ヘルプ	へるぷ	ヘルプ画面を表示する。
標準	はい	はい	質問の内容を実行する。
標準	いいえ	いいえ	質問の内容をとりやめる。
標準	戻る	もどる	直前に発声した内容を取り消し、言い直すことができるようにする。

<数字入力中に有効>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	戻る	もどる	直前に発声した内容を取り消し、言い直すことができるようにする。
拡張	全消去	ぜんしょーきょ	入力したすべての数字を消去する。
拡張	検索	けんさく	音声認識した結果で地図を呼び出す。

<候補スイッチ表示中に有効>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	次の候補	つぎのこーほ	次の候補を表示する。
標準	候補	こーほ	候補リスト表示画面に切り替える。

周辺施設

<周辺の施設を探す>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	○○○ （施設ジャンル）	○○○（施設ジャンル）	現在地から半径10km内で指定されたジャンルの施設を地図上にロゴマーク表示する。
拡張	近くの○○○ （施設ジャンル）	ちかくの○○○ （施設ジャンル）	現在地から半径10km内で最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
拡張	この先の○○○ （施設ジャンル）	このさきの○○○ （施設ジャンル）	現在地から目的地までの案内ルート上で最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
標準	施設表示消去	しせつひょーじしょーきょ	地図画面上の周辺施設表示を消去する。

<次の周辺の施設を探す>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	次の施設	つぎのしせつ	候補にある次の施設（次に近い施設）の地点地図を表示する。

知りたインフォ

＜現在の情報を聞く＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	今日は何日？	きょーわなんにち	今日の日付を音声で案内する。
拡張	今何時ですか？	いまなんじ	現在の時刻を音声で案内する。
拡張	今日は何の日？	きょーわなんのひ	地図ＤＶＤ－ＲＯＭに登録されている今日の記念日を音声で案内する。
拡張	今走っている道路は？	いまはしっているどーろわ	現在走っている道路名を音声で案内する。
拡張	どっち向いているの？	どっちむいているの	現在走っている方向を音声で案内する。
拡張	今何キロ？	いまなんきろ	現在の走行時速を音声で案内する。※

※ 案内される走行時速は、実際の車速と異なることがあります。

＜ルートの情報を聞く＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	あとどれくらい？	あとどれくらい	現在地から最終目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
拡張	あと何キロ？	あとなんきろ	現在地から最終目的地までの残距離を音声で案内する。
拡張	あと何分？	あとなんぷん	現在地から最終目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
拡張	何時に着きますか？	●なんじにつきますか ●なんじにつくの	最終目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
拡張	次の目的地まであとどれくらい？	つぎのもくてきちまであとどれくらい	現在地から次の目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
拡張	次の目的地まであと何キロ？	つぎのもくてきちまであとなんきろ	現在地から次の目的地までの残距離を音声で案内する。
拡張	次の目的地まであと何分？	つぎのもくてきちまであとなんぷん	現在地から次の目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。

<ルートの情報を聞く>

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	次の目的地にいつ着きますか？	●つぎのもくてきちにいつつきますか ●つぎのもくてきちにいつつくの	次の目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
拡張	どこから乗るの？	どこからのるの	現在地が高速道路以外のときに、目的地までのルート上にある次に乗る高速道路のＩＣまでの到着予想残り時間と残距離を音声で案内する。
拡張	どこで降りるの？	どこでおりるの	現在地が高速道路のときに、目的地までのルート上にある次に降りる高速道路のＩＣまでの到着予想残り時間と残距離を音声で案内する。
拡張	この先渋滞は？	このさきじゅーたいわ	現在地から目的地までのルート上の渋滞・規制情報を音声で案内する。
拡張	次に通る施設は？	つぎにとおるしせつわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由するＳＡ／ＰＡ／ＩＣまでの残距離を、次々に音声で案内する。
拡張	次のサービスエリアは？	つぎのさーびすえりあわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由するＳＡ／ＰＡまでの残距離を、次々に音声で案内する。

知 識

ルート情報に関するコマンドについては、ルートからはずれたときは、認識されないコマンドがあります。

その他

＜オーディオを切替える＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ＤＶＤ	でぃーぶいでぃー	ＤＶＤプレーヤーに切り替える。

＜オーディオをオン／オフする＞

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	オーディオ	おーでぃお	（ＯＦＦ時）オーディオをＯＮにする。
			（ＯＮ時）オーディオをＯＦＦにする。

＜ディスクを操作する＞

次のコマンドは、ディスクを再生しているとき使用できます。

標準/拡張コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	トラックアップ	●とらっくあっぷ ●つぎのきょく	次の曲を頭出しする。
拡張	トラックダウン	●とらっくだうん ●あたまだし	再生中の曲を頭出しする。
拡張	前の曲	●まえのきょく ●いっきょくまえ	前の曲を頭出しする。

情報

情報画面

1 情報 を押すと、情報画面が表示されます。

2 情報画面から以下の操作を行うことができます。

●タッチスイッチにタッチして、項目を決定します。

表示順序／項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
1	ＦＭ多重	ＦＭ多重放送の表示	394
2	周辺モニター	バックガイドモニターの設定	461
3	メンテナンス	メンテナンス時期の設定・更新・消去	399
		販売店の設定・修正・消去	405
4	カレンダー	カレンダーの表示	408
5	情報付施設	情報付き施設の検索	409
6	ＥＴＣ	ＥＴＣメニュー画面の表示	475
7	設定	背景色の変更	393
ー	BEEP消	応答音のＯＮ・ＯＦＦ	393

応答音のＯＮ・ＯＦＦ

タッチスイッチにタッチしたときの応答音をＯＮ（出力する）にするか、ＯＦＦ（出力しない）にするか、選ぶことができます。

情報画面（前ページ）で、**ＢＥＥＰ消**にタッチします。

●ＯＦＦにしたときは、作動表示灯が点灯します。

背景色の変更

設定画面（地図以外の画面）の背景色を変更する（4種類）ことができます。

グリーン		ブルー	
グレー		ベージュ	

知 識

本書で使用している画面の背景色は、グリーンを使用しています。

1 情報画面（前ページ）で、**設定**にタッチします。

2 **グリーン**・**ブルー**・**グレー**・**ベージュ**のいずれかにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

3 **設定完了**にタッチします。

Ⅰ　ＦＭ多重放送

■ＦＭ多重放送の番組について

ＦＭ多重放送は１つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

ＦＭ音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

ＦＭ音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

知 識

走行中は表示させることができない番組もあります。また、ＦＭ多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。

ＦＭ多重放送の表示

情報画面（392ページ）で、ＦＭ多重 にタッチします。

●ＦＭモードで選ばれている放送局の連動情報番組が表示されます。

知 識

●オーディオの電源がＯＦＦのとき、またはＡＭ放送（交通情報放送を含む）を受信しているときは、ＦＭ多重放送を表示させることはできません。

●ＦＭ多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。（放送局側にて緊急情報を連続して更新しているときは、次ページに送ることができません。）

●ＦＭ多重放送を表示させているときは、そのＦＭ多重放送局の番組の音声のみ聞くことができます。
（文字情報を表示させているＦＭ多重放送局とは別のＦＭ放送局の番組の音声を聞くことはできません。）

放送局を切り替えるには

自動選局 にタッチします。

●ＦＭ多重放送を表示させている放送局の音声を聞いているときは、オーディオ本体のスイッチでも、切り替えることができます。
（オーディオ本体の操作については、**「センチュリー取扱書」**の**「オーディオの使い方」**の項目をご覧ください。）

番組を切り替えるには

1 目次 にタッチします。

●番組連動 にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。
（連動情報番組を受信しているときは、タッチスイッチの色が明るくなります。）

2 番組の番号にタッチします。

独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報（▲・▼が表示されます。）が発信される独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。

▲・▼、または 自動送り にタッチします。

●▲・▼にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。

● 自動送り にタッチすると、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。

●文字情報の自動送りを中止するときは、 停止 にタッチします。
また、自動送り中に▲・▼にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは中止されます。

知 識

走行中、および緊急情報を受信しているときは、自動送りはできません。

連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときや、もう一度見たいときは▲にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

▲・▼にタッチして、文字情報を切り替えます。

●タッチすると、文字情報の自動切り替えが中止されます。

●自動切り替えを中止したとき、最新情報にタッチすると、最新の文字情報にもどり、もとの状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

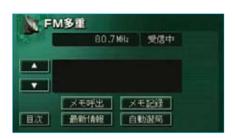
文字情報の記録・呼び出し・消去

記録するには

記録する文字情報を表示させ、メモ記録にタッチします。

●記録項目は最大20個です。

知識

記録する内容によっては、20個記録できないことがあります。

呼び出すには

1 メモ呼出 にタッチします。
- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

2 ▲・▼ にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

消去するには

1 メモ呼出 にタッチして、文字情報を呼び出します。

2 ▲・▼ にタッチして、消去する文字情報を表示させます。

3 消去 にタッチします。
- すべての文字情報を消去するときは、 全消去 にタッチします。

4 はい にタッチします。
- いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

Ⅱ　メンテナンス機能

メンテナンス機能とは、ＧＰＳ（39ページ参照）のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

●メンテナンス機能の内容・時期の設定については、トヨタ販売店にご相談ください。

知 識

車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスメニュー画面

情報画面（392ページ）で、メンテナンス にタッチします。
メンテナンスメニュー画面が表示されます。

項目	内容	項目	内容
	エンジンオイル交換		ワイパーゴム交換
	オイルフィルター交換		ＬＬＣ（冷却水）交換
	タイヤローテーション（タイヤ位置交換）		ブレーキフルード交換
	タイヤ交換		ＡＴＦ（オートマチックトランスミッションフルード）交換
	バッテリー交換	PERSONAL ITEMS	パーソナル項目（その他の項目を5つまで設定することができます。）
	ブレーキパッド交換		

知 識

未設定の項目は （灰色）、すでに設定されている項目は （緑色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は （橙色）で表示されています。

メンテナンス時期の設定

1 メンテナンスメニュー画面（前ページ）で、設定する項目にタッチします。

- （パーソナル項目）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。
- パーソナル項目がすでに設定されている、またはパーソナル項目以外にタッチしたときは、4の画面が表示されます。

2 パーソナル項目にタッチしたときは、次に表示された画面で、項目にタッチします。

- （名称入力項目）にタッチすると、名称を入力することができます。
- （名称入力項目）以外にタッチしたときは、4の画面が表示されます。

3 名称入力項目にタッチしたときは、次に表示された画面で、名称を入力します。

- 入力方法は、193ページ「メモリ地点の名称入力」と同じです。

4 お知らせ日、またはお知らせ距離にタッチします。

●日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

●日付入力画面

●距離入力画面

5 日付、距離を1つずつタッチして入力します。

●間違えたときは 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。

●「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、年・月・日にタッチして入力することができます。ただし、2～9月と4～9日は 月・日にタッチする必要はありません。

（例）

2010年6月1日と入力するときは、1・0・6・1・日または 1・0・6・0・1 と順にタッチします。

6 完了 にタッチします。

メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンス案内をONにしないと、メンテナンス案内は行われません。（次ページ参照）

7 設定完了 にタッチします。

8 複数のメンテナンス項目を設定するときは、1～7を繰り返します。

メンテナンス案内の設定

案内をＯＮ（する）にすると、時期を設定した項目の案内が行われます。

メンテナンスメニュー画面（399ページ）で、自動通知の する にタッチします。

●案内をＯＦＦにするには、再度この画面で、 しない にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

メンテナンスの案内

設定をした日がすぎる、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。

●5つ以上の項目があるときは、 etc. が表示されます。
名称入力項目のときは、入力した名称を表示します。

● 次回表示しない にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

メンテナンス設定の消去

1 メンテナンスメニュー画面（399ページ）で、設定を消去する項目にタッチします。

●すべての項目を消去するときは、設定全消去 にタッチします。（3の画面が表示されます。）

2 設定消去 にタッチします。

3 はい にタッチします。

●いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

メンテナンス設定の更新

1 メンテナンスメニュー画面（399ページ）で、設定を更新する項目にタッチします。
- すべての項目を更新するときは、 自動全更新 にタッチします。（3の画面が表示されます。）

2 自動更新 にタッチします。

3 はい にタッチします。
- いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。
- 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

知識

新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

4 パーソナル項目の免許証更新では、次に表示された画面で、 3年後 、または 5年後 にタッチします。

5 2の画面にもどったときは、 設定完了 にタッチします。

販売店の設定

1 メンテナンスメニュー画面（399ページ）で、 販売店設定 にタッチします。

2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。

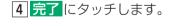
● 98～118ページ **「5.地図の呼び出し方法」、「6.呼び出した地図の操作」** 参照

3 セット にタッチします。

⊕ の位置に販売店が設定されます。

知識

「施設で地図を呼び出す」（104ページ）でトヨタ・ダイハツ販売店を呼び出し、地図が表示されたら、そのまま地図を動かさずに セット にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

4 完了 にタッチします。

販売店の修正・消去

1 メンテナンスメニュー画面（399ページ）で、販売店設定 にタッチします。

2 修正、入力する項目にタッチします。

●販売店名・スタッフの名前の修正、入力方法は、193ページ「メモリ地点の名称入力」、位置の修正方法は、197ページ「メモリ地点の位置修正」、電話番号の修正、入力方法は、198ページ「メモリ地点の電話番号入力」と同じです。

●販売店の消去 にタッチすると、販売店が消去されます。

●販売店に行く にタッチすると、販売店の地図が表示されます。

3 完了 にタッチします。

4 販売店の消去 にタッチしたときは、次に表示された画面で、はい にタッチします。

●いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

Ⅲ　カレンダー機能

カレンダーは、2029年まで表示させることができます。また、ＧＰＳ（39ページ参照）の時刻情報（ＧＰＳ時計）を利用して、日時を表示します。

知 識

●ＧＰＳからの時刻情報が受信されているときは、**「ＧＰＳ」**が表示されます。
●表示される時刻は、数秒程度の誤差が生じることがあります。

カレンダー画面

情報画面（392ページ）で、**カレンダー**にタッチします。

カレンダー画面が表示されます。

- **▲月**・**▼月**にタッチすると、月が切り替わります。
- **▲年**・**▼年**にタッチすると、年が切り替わります。
- 月、または年を切り替えたとき、**今月**にタッチすると、今月のカレンダーが表示されます。

Ⅳ　施設の情報の検索

情報付き施設の検索

登録されている施設の内容を表示させることができます。

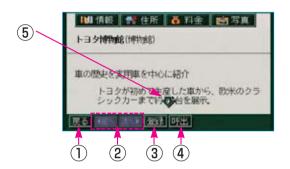
1 情報画面（392ページ）で、情報付施設 にタッチします。

2 施設のジャンルにタッチします。

3 都道府県名（路線名）にタッチします。

4 施設名称にタッチします。
●情報付き施設が検索されたときの操作は、次ページ「ブラウザ画面の操作」をご覧ください。

V　ナビブラウザ

ブラウザ画面の操作

コンテンツの閲覧中は、タッチスイッチにタッチすると、以下のことができます。

●〇〇（住所・写真など）にタッチすると、表示されている項目の情報が表示されます。

①戻るスイッチ

ブラウザ画面を表示する前の画面にもどります。

②ページ送りスイッチ

表示するページを切り替えることができます。

●◀前へにタッチすると前のページ、次へ▶にタッチすると次のページに切り替わります。表示するページがないときは、スイッチは灰色になります。

③登録スイッチ

表示中ページのタイトルをブックマークに登録できます。ブックマークは最大18件まで登録できます。

④呼出スイッチ

ブックマークリスト画面を表示します。

⑤スクロールスイッチ

表示中のページが画面に収まらないとき表示されます。⇧にタッチすると画面が移動して、隠れていた部分を見ることができます。

●ブックマークリスト画面

ブックマークしたコンテンツを見る

ブラウザ画面（前ページ）で、呼出にタッチします。
ブックマークリスト画面が表示されます。

希望のブックマークタイトルが表示されたスイッチにタッチすると、ブックマークしたコンテンツを表示します。

ブックマークを編集する

ブックマークのタイトルをお好みのタイトルに変更できます。

1 ブックマークリスト画面（前ページ）で、編集したいブックマークの右側にある 編集 にタッチします。

2 タイトル にタッチします。

3 タイトルを入力します。

●入力方法は、414ページ「**Ⅵ.ソフトウェアキーボード**」をご覧ください。

4 完了 にタッチします。

ブックマークを削除する

ブックマークは最大18件まで登録できます。18件を超えて登録しようとした場合はメッセージが表示されますので、不要なブックマークを削除してから登録してください。

1 ブックマークリスト画面（411ページ）で、削除したいブックマークの右側にある 編集 にタッチします。
- すべてのブックマークを削除するときは、 全削除 にタッチします。

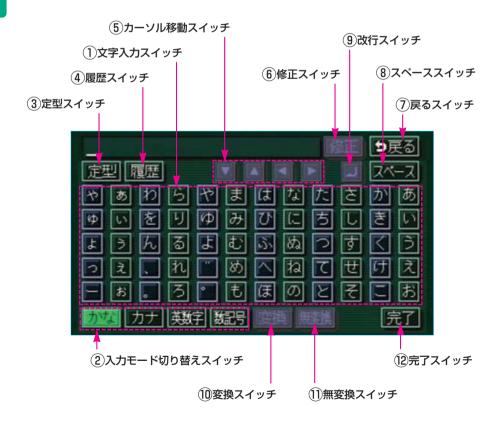
2 削除 にタッチします。

3 はい にタッチします。
- いいえ にタッチすると、もとの画面にもどります。

Ⅵ　ソフトウェアキーボード

入力画面の各スイッチの使い方

ブラウザなどで文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボードが表示されます。
各スイッチの働きは、次のようになっています。
(特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。)

●かな・漢字入力時

●カタカナ入力時

⑬全角／半角スイッチ

●英字・数字入力時

⑭大文字／小文字スイッチ

●数字・記号入力時

⑮ページ切り替えスイッチ

●定型文入力時

①文字入力スイッチ

●履歴入力時

⑯履歴消スイッチ

①文字入力スイッチ
スイッチにタッチして、各種文字を入力します。

②入力モード切り替えスイッチ
スイッチにタッチして、文字の入力モードを切り替えます。
かな…ひらがな、漢字を入力します。
カナ…カタカナを入力します。
英数字…アルファベット、数字を入力します。
数記号…数字、記号を入力します。

③定型スイッチ
定型入力画面を表示します。
定型文を入力するときに使用します。

④履歴スイッチ
履歴入力画面を表示します。
前回までに入力した文字列の履歴から入力するときに使用します。

⑤カーソル移動スイッチ
スイッチにタッチすると、カーソルが移動できます。
タッチし続けると、連続してカーソルが移動できます。
確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
なお、未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動できます。

⑥修正スイッチ
スイッチにタッチすると、1文字消去できます。
●カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字が消去できます。
●カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字が消去できます。
タッチし続けると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去できます。

⑦戻るスイッチ
ソフトウェアキーボードで入力した文字を入力しないで、キーボードを終了するときにタッチします。

⑧スペーススイッチ
スイッチにタッチすると、カーソル位置に空白が入力できます。

⑨改行スイッチ
タッチすると、改行ができます。

⑩変換スイッチ
漢字で入力するとき、かな文字入力後にタッチします。

⑪無変換スイッチ
ひらがなで入力するとき、かな文字入力後にタッチします。

⑫完了スイッチ
すべての文字を入力後にタッチします。
ソフトウェアキーボードが表示される前の画面（ブラウザ画面）にもどり、文字が入力されます。

⑬全角／半角スイッチ
タッチするたびに、半角入力と全角入力が切り替わります。

⑭大文字／小文字スイッチ
タッチするたびに、大文字入力と小文字入力が切り替わります。

⑮ページ切り替えスイッチ
タッチすると、ページの切り替えができます。

⑯履歴消スイッチ
入力履歴をすべて消去します。
次に表示された画面で はい にタッチすると、履歴が消去されます。

知 識

バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときには、履歴は消去されます。

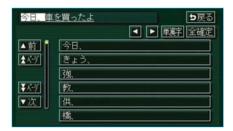
知 識

- 入力制限文字数を越えて入力しようとすると、メッセージが表示され、入力ができません。
- 未確定状態で入力可能な文字は最大20文字です。最大入力文字数を越えると、メッセージが表示され、入力ができなくなります。この場合は、**完了** または **無変換** にタッチして、文字を確定するか、**変換** にタッチして文字列を変換してください。
  なお、確定したとき、入力制限文字数を越えている場合は、越えた文字は削除されます。

漢字に変換する

1. かな入力状態で、文字を入力します。
2. **変換** にタッチします。
   漢字変換候補リストが表示されます。
3. すべての文字が変換されたままの状態でよければ、**全確定** にタッチします。
   入力したい文字でないときは、漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。
   - 変換範囲（文節）が間違っている場合は、**◀**・**▶** にタッチして変換範囲を変更すると、漢字変換候補リストが自動的に更新されます。

■入力したい漢字に変換されないときは

漢字変換候補リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を１つずつ変換してください。

1 漢字変換候補リストで 単漢字 にタッチします。
単漢字変換候補が表示されます。

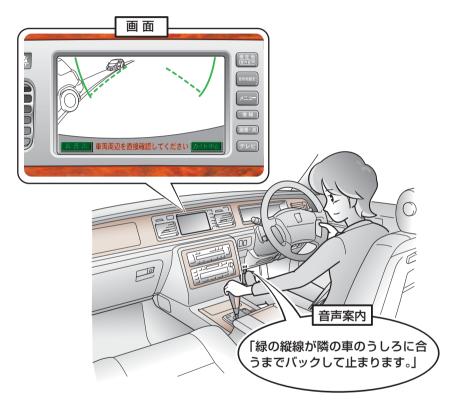
2 すべての文字が変換されたままの状態でよければ、 全確定 にタッチします。
入力したい文字でないときは、単漢字変換候補から、希望の候補を選択しタッチします。

- ●単漢字変換候補には、音読み、訓読みに対応した単漢字を表示します。
- ●単漢字変換候補が複数ページになる場合は、 ▲前 ・ ▼次 にタッチしてページを切り替えます。
- ●変換範囲（文節）が間違っている場合は、◀ ・ ▶ にタッチして変換範囲を変更すると、単漢字変換候補リストが自動的に更新されます。

バックガイドモニター

※本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

バックガイドモニターとは

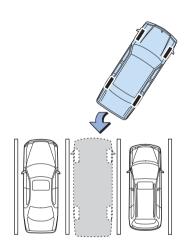
バックガイドモニターは、後退操作（とくに駐車時）を補助する装置です。車の後方の映像に後退操作の参考になるガイド線を合成して表示するとともに、さらに音声で案内します※。
※音声ガイドについては縦列ガイドモードのみ

イラストは縦列ガイドモード時の状況です

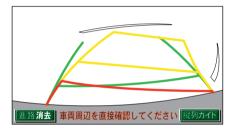
警告 **後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。**

●バックガイドモニターは後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。詳しくは453ページをお読みください。
●カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物の見え方は、実際の位置や距離と異なります。詳しくは457ページをお読みください。

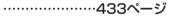
ガイド方法の選び方

並列駐車（車庫入れ）時に使用するときは

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

■進路表示モードで並列駐車をする

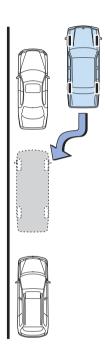
……………………428ページ

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

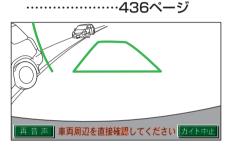
■駐車ガイド線表示モードで並列駐車をする

……………………433ページ

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

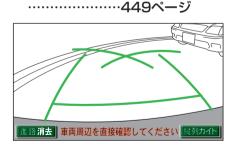
●車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

縦列駐車時に使用するときは

縦列駐車をするときは、縦列ガイドモードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

■縦列ガイドモードで縦列駐車をする

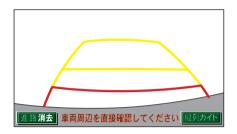
…………………436ページ

画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

■駐車ガイド線表示モードで縦列駐車をする

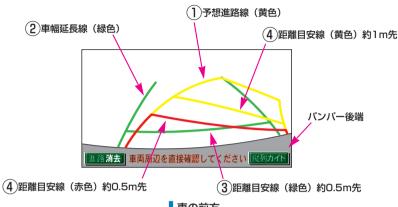
…………………449ページ

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

- 縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

ガイド画面の出し方

エンジン スイッチが“ ON ”のとき、シフトレバーをⓇにすると、バックガイドモニターの画面になります。

知 識

シフトレバーをⓇにしていても、 現在地 など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモードの画面に切り替わります。

並列駐車のしかた（進路表示モード）

画面の見方

①予想進路線（黄色）

車が後退していく進路の目安を示します。

- ●ハンドル操作と連動します。

②車幅延長線（緑色）

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- ●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。

③距離目安線（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- ●約0.5m先を示します。

④距離目安線（赤色／黄色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- ●ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。
- ●それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。
- ●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。
  上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約0.5m先、黄色：約1m先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

注意　必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分間以上走行してください。それでもなおらない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

知 識

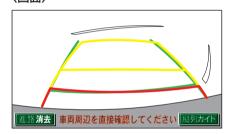
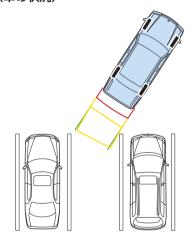
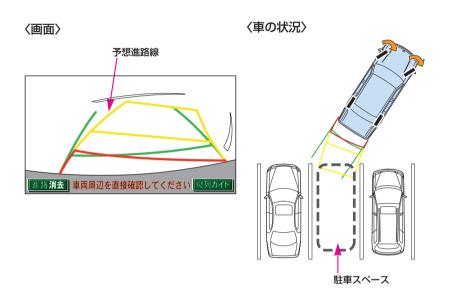
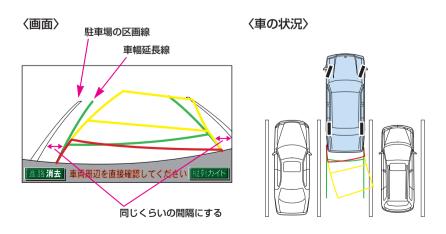
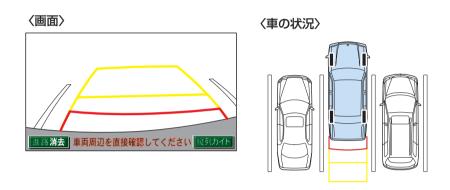
画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、予想進路線・車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。もとにもどすときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

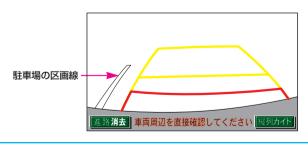
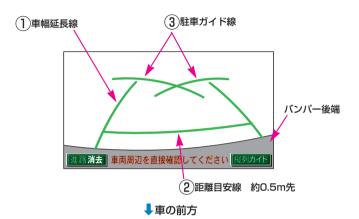
1 シフトレバーを🅡にします。

●進路表示モードになっていない場合は、461ページの **「バックガイドモニターの設定」** を参照して進路表示モードにしてください。

〈画面〉

〈車の状況〉

2 予想進路線が駐車スペースの中にはいるようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

3 車の後部が駐車スペースの中にはいったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作します。

4 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部はいるまで、ゆっくり後退します。

知識

駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。

●距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行ではないことがあります。

●駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。

並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方

①車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

②距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
●約0.5m先を示します。

③駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。
●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注意

乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

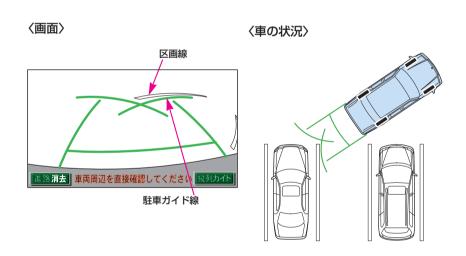
知識

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、車幅延長線が表示されなくなります。もとにもどすときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

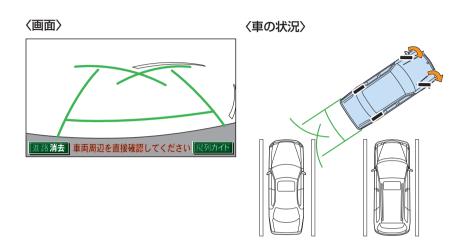
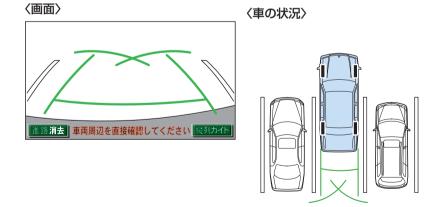
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーをⓇにします。
- ●駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、461ページの**「バックガイドモニターの設定」**を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

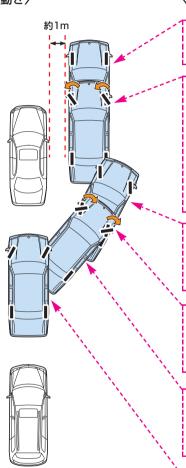
2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まります。

知識

画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。

4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉

〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置で止まる。

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。**（画面①）**

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。**（画面②）**

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。**（画面③）**

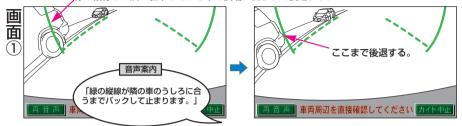
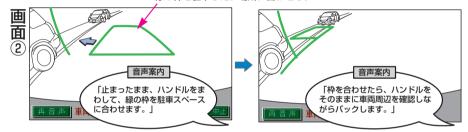
駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。**（画面④）**

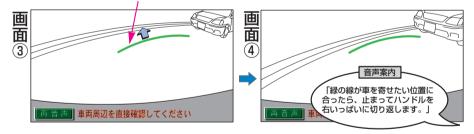
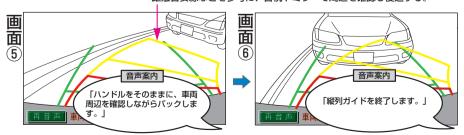
ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。**（画面⑤）**

車がほぼまっすぐになったら縦列ガイドモードが終了する。**（画面⑥）**

〈画面・音声案内の流れ〉

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。
画面①
音声案内
「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」
再音声
ここまで後退する。
車両周辺を直接確認してください
ガイド中止

緑の枠を駐車したい場所に合わせる。
画面②
音声案内
「止まったまま、ハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」
再音声
音声案内
「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。
画面③
再音声
車両周辺を直接確認してください
画面④
音声案内
「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。
画面⑤
音声案内
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」
再音声
画面⑥
音声案内
「縦列ガイドを終了します。」

注意 **カーブや坂道など平坦・まっすぐでない道路では正しく表示されないため、使用しないでください。**

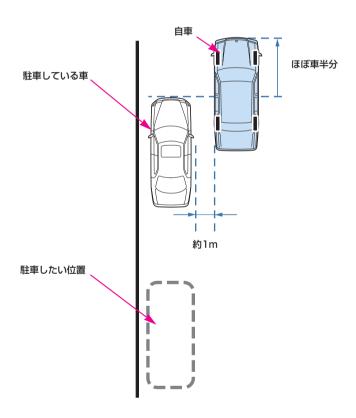
- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使用しないでください。
- ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

知識

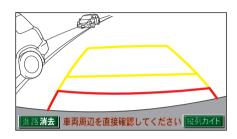
- ガイドを中止したいときは、ガイド中止にタッチすると、最初（シフトレバーをⓇにしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは再音声にタッチします。
- 音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進位置）にします。
●前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。

2 シフトレバーをⓇにします。

3 車の位置を確認し、画面の 縦列ガイド にタッチします。

- 画面で駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやりなおします。

4 表示された画面と同じ位置に、車が止まっていることを確認します。
車の位置を確認したら、 次へ にタッチします。

- ガイド中止 にタッチすると、前の画面にもどります。

知 識

次回からこの表示を省略 にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再び表示させたいときは、461ページの**「バックガイドモニターの設定」**を参照してください。

5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進位置）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まります。

〈画面〉　緑の縦線

音声案内
「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

再音声　車両周辺を直接確認してください　ガイド中止

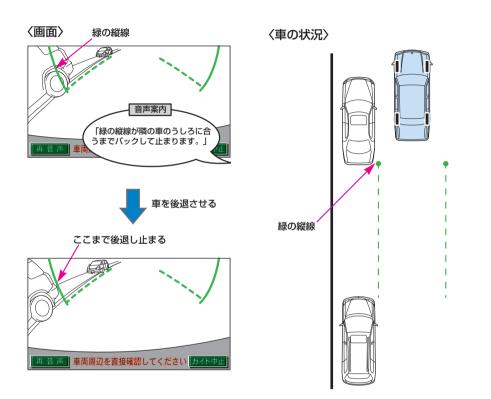
車を後退させる

ここまで後退し止まる

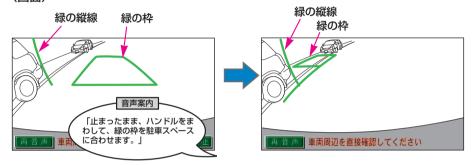
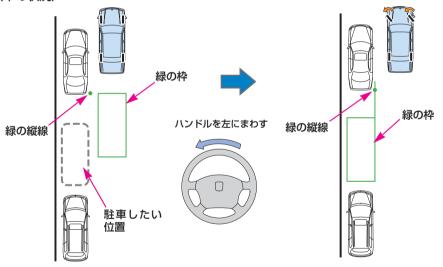
再音声　車両周辺を直接確認してください　ガイド中止

〈車の状況〉

緑の縦線

知識

●ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。
●シフトレバーをⓇ以外の位置にしても、約10秒以内にⓇの位置にもどせば、この画面にもどります。

6 音声で案内され、緑の枠が表示されます。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせます。

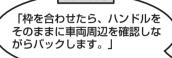
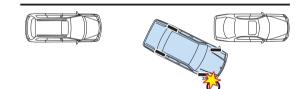
〈画面〉

〈車の状況〉

●緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。詳しくは447ページを参照してください。

●画面の中にメッセージが表示されることがあります。メッセージについては448ページを参照してください。

7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。

ハンドルはそのまま

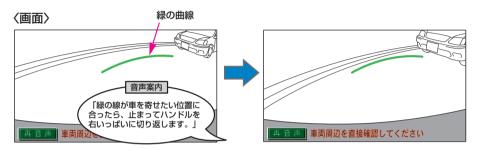
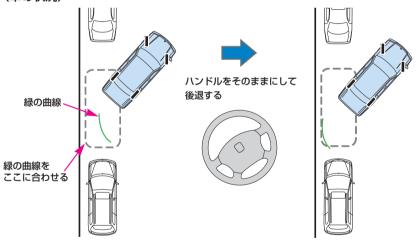
音声案内

注意

車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

知識

●後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。その場合は、シフトレバーをⓇ以外にしてから、再度Ⓡにして最初からやりなおしてください。

●ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。

●後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

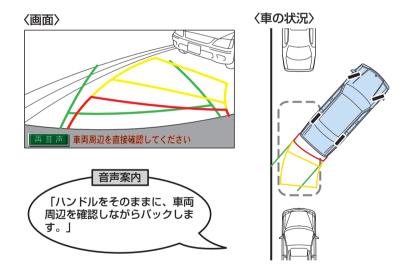
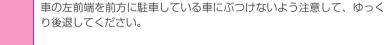
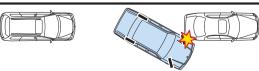
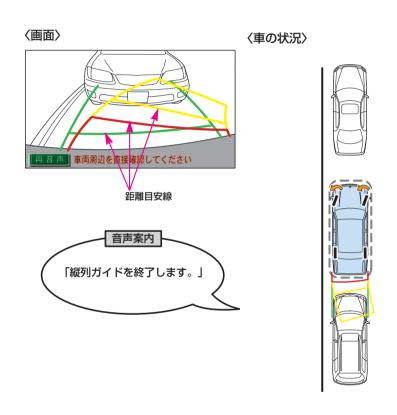
8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。

〈車の状況〉

知 識

後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

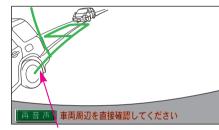
9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわします。
●必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

10 画面が切り替わって音声案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。

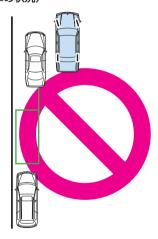
注意

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

11 車が道路（または路肩）と平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどします。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まります。
車がほぼまっすぐ（直進状態）になると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

注意　手順6（442ページ）のときに緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。

●緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。
●緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

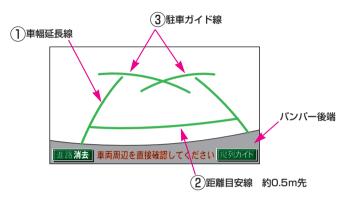
〈画面〉

延長線がタイヤにかかっている

〈車の状況〉

知識

●手順 6（442ページ）のときに枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。

●枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。

縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方

⬇車の前方

①車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

②距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
●約0.5m先を示します。

③駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。
●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、車幅延長線が表示されなくなります。もとにもどすときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

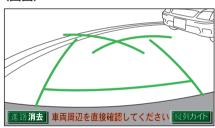
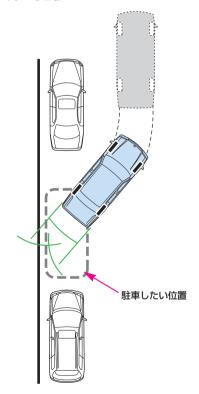
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

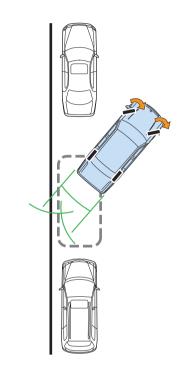
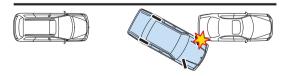
1 シフトレバーをⓇにします。

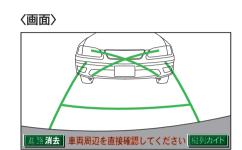
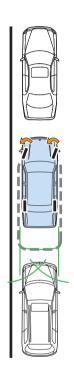
●駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、461ページの**「バックガイドモニターの設定」**を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まります。

〈画面〉

〈車の状況〉

3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。

〈画面〉

進路消去　車両周辺を直接確認してください　縦列ガイド

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

4 車が路肩と平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にします。
画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車します。

〈画面〉

〈車の状況〉

バックガイドモニターについての注意点

運転時の注意

注意 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●**バックガイドモニターを過信しないでください。**
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。
とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。

●**画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。**
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。

●以下のような状況では、使用しないでください。
- 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道。
- タイヤチェーンを使用しているとき。
- トランクが完全に閉まっていないとき。
- 坂道など平坦でない道路。

●バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。

●外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

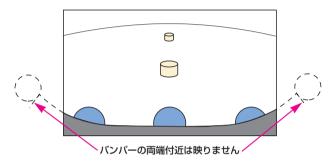
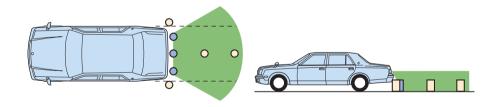
●タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

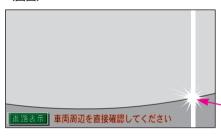
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

〈画面〉

〈映る範囲〉

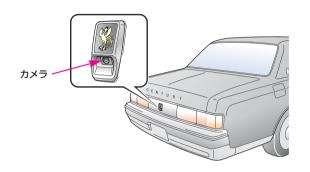
知識

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
●バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
- 暗いところ（夜間など）。
- レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
- カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- 太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき。
- 高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映ると、ＣＣＤカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

〈画面〉

※スミヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明に照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）

●バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（17ページ参照）

カメラ

エンブレム部にあります。

注意 **バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。**

●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
●カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
●カメラ部に有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
●洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

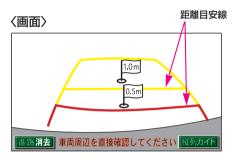
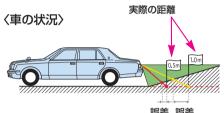
 知 識

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

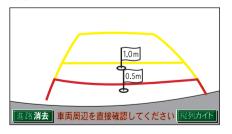
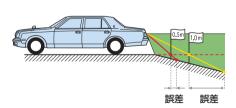
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

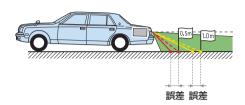
■急な上り坂が後方にあるとき

〈画面〉

〈車の状況〉

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき

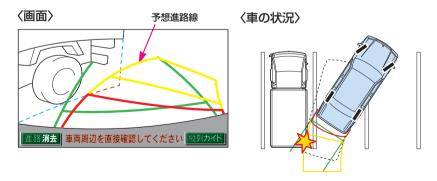
〈画面〉

〈車の状況〉

下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるとき

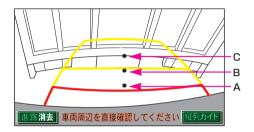
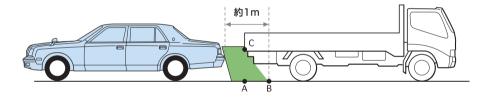
画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意して、ぶつからないようにしてください。

■予想進路線

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。

画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

■距離目安線

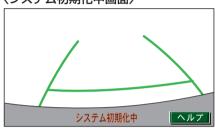
距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

〈画面〉

〈A、B、Cの位置〉

画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

バッテリー端子をはずしたときは

バッテリーの脱着などでバッテリー端子を再接続したときは、下図の画面が表示されます。この場合、次のどちらかの操作が必要となります。

〈システム初期化中画面〉

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします（左右どちらかが先でも可。）
- できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。

画面がもとにもどれば、バックガイドモニターの設定は終了です。
上の画面のままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

知 識

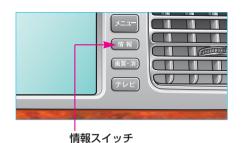
システム初期化中画面で、 ヘルプ にタッチすると、操作方法を表示させることができます。

画面に表示されているどちらかの操作をし、通常の画面にもどれば、設定終了です。
システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- 了解 にタッチすると、もとの画面にもどります。

バックガイドモニターの設定

「縦列ガイド音量設定」・「はじめのコツ表示」・「駐車ガイド線表示」の設定ができます。

情報スイッチ

1 情報 を押すと、情報画面が表示されます。

2 情報画面で、周辺モニター にタッチします。

3 バックガイドモニターの設定画面で、設定する項目にタッチします。

■縦列ガイド音量設定

音声案内の音量を調整することができます。

消 ・ 小 ・ ・ ・ ・ ・ 大 のいずれかにタッチします。

●消 にタッチしたときは、音声案内されません。

■はじめのコツ表示

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか、表示しないか、選ぶことができます。

表示させたいときは、 あり にタッチします。

表示させたくないときは、 なし にタッチします。

■駐車ガイド線表示

駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするか、選ぶことができます。
駐車ガイド線表示モードにしたいときは、 あり にタッチします。
進路表示モードにしたいときは、
なし にタッチします。

5 設定が完了したら、 戻る にタッチします。

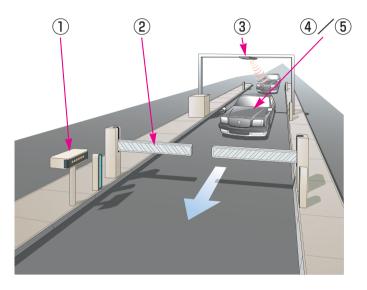
●バックガイドモニター設定画面にもどります。

●他の画面に切り替えたいときは、フロント エレクトロマルチビジョン本体（画面外）の 現在地 などの各モードスイッチを押します。

ＥＴＣシステム

1.ＥＴＣシステムの概要

ＥＴＣとは

ＥＴＣ（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両のＥＴＣユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。

①路側表示器…料金所のＥＴＣ車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
②発進制御装置（ゲート）…料金精算を確実にするために、料金所のＥＴＣ車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
③路側無線装置…料金所のＥＴＣ車線に設置されています。料金精算のため、車両のＥＴＣユニットとの通信を行うためのアンテナです。
④ＥＴＣユニット…車両に装着します。ＥＴＣカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
⑤ＥＴＣカード…ＥＴＣユニットに装着します。ＩＣチップを搭載した、ＥＴＣユニット用カードのことです。ＥＴＣカードでは、このＩＣチップに料金精算に必要なデータが保持されています。

ＥＴＣを利用する前に

ＥＴＣシステムを利用する際には、次の点に注意してください。

安全のため、運転者は走行中にＥＴＣカードの抜き差し、およびＥＴＣユニットの操作・表示部の確認を極力しないでください。
走行中の操作や表示部の確認はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

その他、ＥＴＣユニットを用いたサービス（スマートＩＣなど）には、様々な制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

ＥＴＣカードを挿入する前

ＥＴＣカードの有効期限切れにご注意ください。ＥＴＣカードの有効期限が切れていると、開閉バーが開きません。お手持ちのＥＴＣカードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。

ＥＴＣカードを挿入した後

注意

ＥＴＣを利用する際は、ＥＴＣユニットが正常に作動していることを確認してください。

- ＥＴＣを利用する際は、あらかじめＥＴＣカードが確実にＥＴＣユニットに挿入されていることと、ＥＴＣユニットが正常に作動していることを確認してください。
- ＥＴＣユニットがＥＴＣカードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前でのＥＴＣカードの挿入はエラーの原因となる場合があります。

料金所を通過するときは

注意

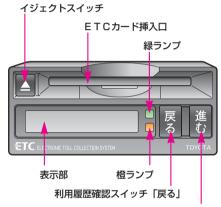
ＥＴＣレーンの進入は、十分な車間距離をとり、約20km/h以下の安全な速度で進入してください。

- ＥＴＣレーンの進入は、十分な車間距離をとり、約20km/h以下の安全な速度で進入してください。
- ＥＴＣレーンに設置されている開閉バーは、ＥＴＣユニットと路側無線装置の間の通信、あるいはＥＴＣユニットとＥＴＣカードとの通信が正常に行われなかった場合は、開かないことがありますので、ご注意ください。
- ＥＴＣレーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。

2.ＥＴＣユニットの使い方

ＥＴＣユニット

フロントコンソールボックス内にあります。
エンジン スイッチを “ ＡＣＣ ” または “ ＯＮ ” にすると、ＥＴＣユニットの電源が入ります。
初めてＥＴＣシステムをご利用される前に、ＥＴＣユニットのセットアップ手続きが必要です。トヨタ販売店にご相談ください。
（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）

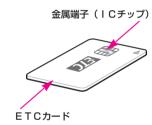
ＥＴＣユニット

注意　ＥＴＣユニットのアンテナ上方には物を置かないでください。

●路側無線装置との通信の妨げにならないよう、ＥＴＣユニットのアンテナ（インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。）上方には物を置かないでください。
●ＥＴＣユニットの内部に異物などを入れないでください。ＥＴＣユニットが故障するおそれがあります。
●ＥＴＣユニットに衝撃を与えないでください。ＥＴＣユニットが故障・破損するおそれがあります。
●濡れた手でＥＴＣユニットに触れたり、水（液体など）を付着させないでください。ＥＴＣユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。
●よごれたときは、柔らかい乾いた布でよごれをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。ＥＴＣユニットが変形・故障する場合があります。
●車両１台に対して複数のＥＴＣユニットを取りつけると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

知 識

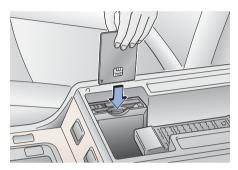
●本製品は電波法の基準に適合しています。製品に貼りつけられているシールはその証明ですので、はがさないでください。
また、本製品を分解・改造すると法律により、罰せられることがあります。
●お車のナンバープレートが変更になった場合は、再度ＥＴＣユニットのセットアップ手続きが必要となりますので、トヨタ販売店にご相談ください。
●フロントガラスのよごれや積雪がひどい場合は、それらを取り除いてください。

ＥＴＣカード

ＥＴＣカードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。

注意　ＥＴＣカードの取り扱いについては、ＥＴＣカード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。

●ＥＴＣカードの取り扱いについては、ＥＴＣカード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
●ＥＴＣカードには有効期限があります。
有効期限内のＥＴＣカードをご利用ください。
●セロハンテープ・シールなどが貼ってあるＥＴＣカードや金属端子（ＩＣチップ）がよごれているＥＴＣカードは使用しないでください。
ＥＴＣユニットが正常に作動しなくなったり、ＥＴＣカードが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。

ＥＴＣカードを挿入するには

1 エンジンを始動します。
●ＥＴＣユニットの電源が入り、全表示部が表示され、緑ランプと橙ランプが同時に点灯します。その後、しばらくすると消灯します。

2 フロントコンソールボックスを開け、図のように正しい挿入方向で、ＥＴＣカードをＥＴＣユニットにしっかり差し込みます。
●イジェクトスイッチが突き出すまで差し込みます。
●ＥＴＣカードを差し込むと、**「ポーン　ＥＴＣカードが挿入されました　確認中です」**と音声が出力され、緑ランプが点滅します。

3 ＥＴＣカードが認証されます。

［ 正しく認証された場合 ］

「ポーン　ＥＴＣカードを正常に受けつけました　ＥＴＣがご利用可能です」と音声が出力され、緑ランプが点灯したままになります。

※ＥＴＣシステムを利用するときは、この状態でご利用ください。
エンジン始動後、すぐにＥＴＣカードを挿入すると音声案内されないことがありますが、緑ランプが点灯していれば、ＥＴＣシステムを利用することができます。

［ 正しく認証されなかった場合 ］

橙ランプが点滅し、統一エラーコードがフロント エレクトロマルチビジョンの画面およびＥＴＣユニットの表示部に表示されます。（480ページ参照）
●ＥＴＣカードを抜くまで**「ピッピッ…」**とブザー音が出力されます。

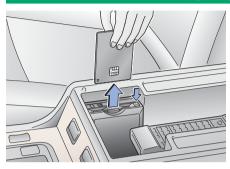
4 フロントコンソールボックスを閉めます。

注意 **緑ランプが点滅中はＥＴＣカードを抜かないでください。**

●緑ランプが点滅中はＥＴＣカードを抜かないでください。ＥＴＣカード内のデータが破損するおそれがあります。
●ＥＴＣユニットやＥＴＣカードにエラーが発生した場合は、橙ランプが点滅します。状況に応じて、次のように対応してください。
- 統一エラーコード（01～07）が表示された場合は、「統一エラーコード一覧」（480ページ参照）に記載されている対応方法にしたがってください。
- エンジン始動時にエラーが発生した場合、いったんエンジンを停止させ、再度始動してみてください。それでもエラー表示が続くときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ＥＴＣカード挿入時にエラーが発生した場合は、いったんＥＴＣカードを抜き、挿入方向を確認して再度差し込んでみてください。それでもエラー表示が続くときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

知 識

●橙ランプが点灯しているときはＥＴＣユニットのセットアップ手続きができていないので使用できません。
●有効期限切れや解約済みのＥＴＣカードをＥＴＣユニットに挿入してもエラー表示はされませんが、開閉バーは開きません。

ＥＴＣカードを抜くには

1 車を停車し、エンジンを停止させる前にＥＴＣユニットのイジェクトスイッチを押します。
- ●ＥＴＣカードを抜く前にエンジンを停止すると、カードの抜き忘れをお知らせするブザー音が出力されます。

2 ＥＴＣユニットからＥＴＣカードを抜きます。

ＥＴＣカードを放置してお車から離れないでください。車内の温度上昇により、ＥＴＣカードが変形したり、ＥＴＣカード内のデータが破損するおそれがあります。

ＥＴＣカードを放置してお車から離れないでください。ＥＴＣカードが盗難にあうおそれがあります。

カード抜き忘れ警告

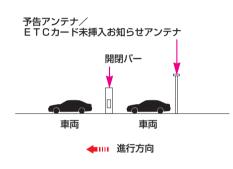
ＥＴＣカードを抜く前に、エンジンを停止すると、ＥＴＣユニットから**「ピー」**とブザー音が出力されます。

 知 識

カード抜き忘れ警告は、「する／しない」を選択することができます。
設定する場合は、車を停車し、ＥＴＣユニットにＥＴＣカードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で、利用履歴確認スイッチの「進む」と「戻る」を同時に約2秒間押し続けます。操作をするごとに「する／しない」が切り替わり、以後選択した設定が保持されます。
なお、この設定はＥＴＣ設定画面でも行えます。（478ページ参照）

車両走行中のＥＴＣユニットの表示と音声案内について

走行中は、次のようにＥＴＣユニットのランプ表示と通知が行われます。ただし、運転者は走行中にランプと表示部を見ないでください。

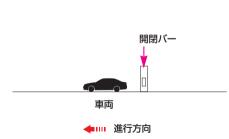
ＥＴＣゲート（入口）、検札所、予告アンテナ、ＥＴＣカード未挿入お知らせアンテナを通過したとき

［ 通信が正常に行われた場合 ］

緑ランプは点灯したままです。

［ 通信が正常に行われなかった場合 ］

橙ランプが点滅し、統一エラーコードがフロント エレクトロマルチビジョンの画面およびＥＴＣユニットの表示部に表示されます。（480ページ参照）

● **「ピー」**とブザー音が出力されます。

ＥＴＣゲート（出口／精算用）を通過したとき

［ 通信が正常に行われた場合 ］

通行料金が表示（フロント エレクトロマルチビジョンの画面およびＥＴＣユニットの表示部）と音声で案内されます。
緑ランプは点灯したままです。

［ 通信が正常に行われなかった場合 ］

橙ランプが点滅し、統一エラーコードがフロント エレクトロマルチビジョンの画面およびＥＴＣユニットの表示部に表示されます。（480ページ参照）

● **「ピー」**とブザー音が出力されます。

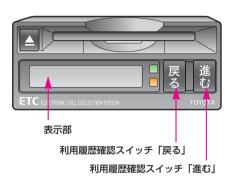
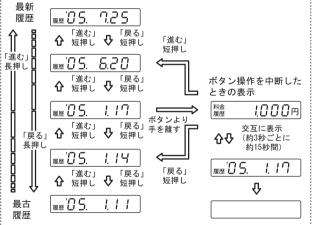
注意　ＥＴＣゲート進入時は、十分減速してください。

●ＥＴＣゲート進入時は、十分減速してください。
●ＥＴＣゲート通過時は、ＥＴＣゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。
●ＥＴＣゲートの開閉バーが開かない場合は、料金所係員の指示にしたがってください。
●その他、道路事業者の発行する利用方法にしたがってください。
●ＥＴＣゲート、検札所、予告アンテナ、ＥＴＣカード未挿入お知らせアンテナ付近では、ＥＴＣカードを抜かないでください。ＥＴＣカード内のデータが破損するおそれがあります。
●必ずＥＴＣゲート（入口）で使用したＥＴＣカードで、ＥＴＣゲート（出口／精算用）または検札所を通過してください。

知 識

●道路側システムにより通信が正常に行われた場合、1つのＥＴＣゲートで2回通知されることがあります。
●予告アンテナは、料金所の手前に設置され、ＥＴＣユニットと通信し、ＥＴＣゲートを利用できるかどうかをＥＴＣユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
●ＥＴＣカード未挿入お知らせアンテナは、料金所の手前に設置され、ＥＴＣユニットと通信し、ＥＴＣユニットに正しくＥＴＣカードが挿入されていない場合に、ＥＴＣユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
●予告アンテナ・ＥＴＣカード未挿入お知らせアンテナは、道路側のシステムにより、設置されている場合と設置されていない場合があります。
●ＥＴＣカードを挿入していないときに予告アンテナやＥＴＣカード未挿入お知らせアンテナを通過した場合は、橙ランプが点滅し、**「ポーン　ＥＴＣゲートを通過できません」**または**「ポーン　ＥＴＣカードが挿入されていません」**と案内されます。
これはＥＴＣが利用できないことをお知らせするもので、ＥＴＣユニットが故障したわけではありません。
●通行料金の表示・音声による案内は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の表示・音声による案内は行われない場合があります。

ＥＴＣユニットでの利用履歴の確認

有料道路の利用日および通行料金をＥＴＣユニットの表示部で確認できます。

ＥＴＣカードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で、利用履歴確認スイッチの「進む」と「戻る」を押して表示します。

ＥＴＣゲート付近では、利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるおそれがあります。

知 識

●利用履歴はＥＴＣカードに記録されるため、最大記録件数は使用するＥＴＣカードにより異なります。（最大100件）
●利用履歴の最大記録件数を超えた場合は、最も古い利用履歴が消去されます。
●走行中に利用履歴確認スイッチの「進む」または「戻る」を押すと、前回の通行料金が表示されます。ただし、運転者は走行中に表示部を見ないでください。
●利用履歴はフロント エレクトロマルチビジョンの画面でも確認することができます。（477ページ参照）

3.ＥＴＣ画面

ＥＴＣカードメッセージ

ＥＴＣメニュー画面

情報画面（392ページ）で、
ＥＴＣ にタッチします。
ＥＴＣメニュー画面が表示されます。

ＥＴＣカードメッセージ

現在のＥＴＣシステムの状態が表示されます。

● **「ＥＴＣカード未挿入」**
ＥＴＣカードが挿入されていません。

● **「認証中」**
ＥＴＣカードを読み込んでいます。

● **「ＥＴＣ利用可能」**
ＥＴＣが利用可能な状態です。

● **「ＥＴＣカード異常」**
ＥＴＣカードを読み込むことができません。

● **「システム異常」**
ＥＴＣシステムに何らかの異常が発生しています。

● **「未セットアップ」**
ＥＴＣがセットアップされていない状態。

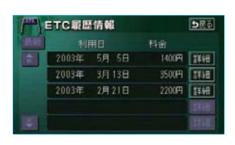
● **「セットアップ完了」**
ＥＴＣがセットアップ完了している状態。

ＥＴＣ割り込み表示

ETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

●割り込み表示

知識

表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割り込み表示・音声による案内は行われない場合があります。

履歴表示

1 ＥＴＣメニュー画面(475ページ)で、 履歴情報表示 にタッチします。

2 表示させる履歴を切り替えます。
- ●履歴を切り替えたとき、 最新 にタッチすると、最も新しい履歴にもどります。
- ● 詳細 にタッチすると、利用区間が表示されます。

知 識

- ●表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- ●ＥＴＣゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。
- ●道路事業者の設定する料金所情報に追加、変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードの表示

エラー発生時、ＥＴＣメニュー画面(475ページ)で 登録情報表示 にタッチすると、最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

ＥＴＣ登録情報の表示

ＥＴＣメニュー画面(475ページ)で、 登録情報表示 にタッチします。
お客様の車のＥＴＣユニットに登録された情報が表示されます。
また、エラー発生時は、最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ＥＴＣの設定

1 ＥＴＣメニュー画面（475ページ）で、設定にタッチします。

2 ＥＴＣの項目のする、またはしないにタッチします。
●タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

●ＥＴＣ割込表示
476ページ参照。

●ＥＴＣ音声案内
ＥＴＣを利用するときに、音声が出力されます。

●ＡＣＣオン時警告表示
エンジン スイッチを“ＬＯＣＫ”から“ＡＣＣ”にしてから約20秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。

●ＡＣＣオン時警告音声案内
エンジン スイッチを“ＬＯＣＫ”から“ＡＣＣ”にしてから約20秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。

●カード抜き忘れ警告
エンジン スイッチを“ＡＣＣ”から“ＬＯＣＫ”にしたとき、お客様の車のＥＴＣユニットからカードの抜き忘れを警告します。

3 完了にタッチします。

4.表示とエラーコードについて

ＥＴＣユニット表示部の表示一覧

作動状況	表示部とランプ	ブザー音
エンジン スイッチを“ＡＣＣ”または“ＯＮ”にする。 ＥＴＣユニットの電源が入る。	全セグメントと全ランプが表示・点灯し、しばらくすると消灯します。 料金 履歴 888888 円 緑ランプ：点灯 橙ランプ：点灯	
	万一、ＥＴＣユニットに異常が発生した場合、橙ランプが点滅し続け、統一エラーコードが表示されます。 04 緑ランプ：消灯 橙ランプ：点滅	**「ピー」** ＥＴＣカードが挿入されている場合、カードを抜き取るまで**「ピッピッ…」**が鳴り続けます。
ＥＴＣカードを挿入する。	**［ ＥＴＣカードが正しく認証された場合 ］** 認証中に緑ランプが点滅し、認証終了後に緑ランプが点灯します。 緑ランプ：点灯 橙ランプ：消灯	
	［ ＥＴＣカードが正しく認証されなかった場合 ］ 橙ランプが点滅し、統一エラーコードが表示されます。 05 緑ランプ：消灯 橙ランプ：点滅	**「ピッピッ…」** ＥＴＣカードが挿入されている場合、カードを抜き取るまで**「ピッピッ…」**が鳴り続けます。
ＥＴＣ車線の入口（料金所、検札所）、ＥＴＣカード未挿入お知らせアンテナを通過した。	表示部およびランプに変化はありません。（緑ランプは点灯したままです。） 緑ランプ：点灯 橙ランプ：消灯	
ＥＴＣ車線の出口（料金所）を通過した。	通行料金が表示されます。 料金 1,500 円 緑ランプ：点灯 橙ランプ：消灯	
ＥＴＣ車線を通過したが、通信が正常に行われなかった。	橙ランプが点滅し、統一エラーコードが表示されます。 01 緑ランプ：消灯 橙ランプ：点滅	**「ピー」**

統一エラーコードについては、次ページ「統一エラーコード一覧」をご覧ください。

統一エラーコード一覧

エラーが発生すると、統一エラーコードがフロント エレクトロマルチビジョンの画面とＥＴＣユニットの表示部に表示されます。
この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

（例）エラー02が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが表示されます。
音声案内：**「ポーン　カードが読めません　カードをお確かめください」**
画面　　：**「カードが読めません　カードをお確かめください　02」**
表示部　：**「02」**

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
01	ＥＴＣカード挿入異常	●ＥＴＣカードが通信時に挿入されていない ●ＥＴＣカードの挿入状態が悪い	ＥＴＣカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	データ処理異常	●ＥＴＣカードへの読出し、書込みエラー ●ＥＴＣカードとＥＴＣユニットの接点不良（ＥＴＣカードアクセス中の瞬断） ●読出し中、書込み中カードのイジェクト	**［ＥＴＣカード挿入時］** 挿入されたＥＴＣカードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、トヨタ販売店へお問い合わせください。 **［ＥＴＣゲート通過前］** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **［ＥＴＣゲート通過後］** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、料金所係員のいる一般レーン（ＥＴＣ／一般共用レーンを含む）へ侵入してください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
03	ＥＴＣカード異常	●ＥＴＣカードが故障している ●ＩＣカード以外のカードが挿入され、通信しない ●ＥＴＣカードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードがＥＴＣカードであると認識できませんでした。正しいＥＴＣカードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、トヨタ販売店へお問い合わせください。
04	ＥＴＣユニット故障	自己診断結果により、ＥＴＣユニットが故障している	再度エンジンを始動してみてください。それでも異常のときは、トヨタ販売店へお問い合わせください。
05	ＥＴＣカード情報の異常	●ＥＴＣカードとの認証エラー ●ＥＴＣカード以外のＩＣカードが挿入 ●認証中ＥＴＣカードのイジェクト ●未セットアップ状態でのＥＴＣカードの挿入	挿入されたカードがＥＴＣカードであると認識できませんでした。正しいＥＴＣカードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、トヨタ販売店へお問い合わせください。
06	ＥＴＣユニット情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ＥＴＣユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	

知識

●以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ＥＴＣユニットからブザー音のみが出力されます。
- ●ＥＴＣ設定画面で、ＥＴＣ音声案内（478ページ）を「しない」に設定したとき
- ●ナビゲーションの音量設定画面（54ページ）で、「消音」に設定したとき

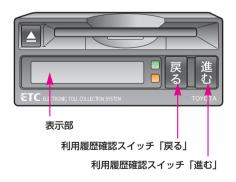
●ＥＴＣカード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード（07）と通知されることがありますが、ＥＴＣユニットの故障ではありません。

●ＥＴＣユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・登録情報表示で確認できる統一エラーコードが（01）もしくは（07）と表示されることがありますが、ＥＴＣユニットの故障ではありません。

●ＥＴＣゲート通過後にエラーが発生した場合、ＥＴＣカードを抜くとエラー音が停止します。この場合、再度ＥＴＣカードを挿入して緑ランプが点灯しても、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。

記録されている統一エラーコードの確認方法

ＥＴＣユニットは、最後に発生した統一エラーコードを記録しています。コードの確認をする場合は、次のように行います。

1 ＥＴＣカードが挿入されている場合は、ＥＴＣカードを抜きます。

2 利用履歴スイッチの「進む」と「戻る」を同時に約2秒以上押します。

●最後に案内された統一エラーコードが表示部に表示されます。なお、統一エラーコードの確認は、フロント エレクトロマルチビジョンの画面でも行うことができます。（477ページ参照）

リヤ エレクトロマルチビジョン

I リヤ エレクトロマルチビジョンについて

リヤ エレクトロマルチビジョンでできること

フロント エレクトロマルチビジョンでは、走行中にご覧いただくことのできないＤＶＤビデオ・ビデオＣＤやデジタルテレビなどの映像を、リヤ エレクトロマルチビジョンでご覧いただくことができます。
リヤ エレクトロマルチビジョンにナビゲーション画面を表示することができます。また、フロント エレクトロマルチビジョンでは、走行中に規制がある操作も、リヤ エレクトロマルチビジョンでは行うことができます。

作動条件

エンジン スイッチが“ＡＣＣ”、または“ＯＮ”のとき使用できます。

バッテリー上がりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。

タッチスイッチについて

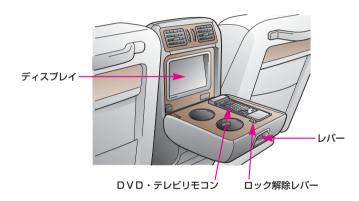
ディスプレイに表示されているタッチスイッチに直接タッチしてもスイッチを操作することはできません。ディスプレイに表示されているタッチスイッチの操作は、リモコンで行います。
タッチスイッチの機能が働いているときは、以下のようになります。
●タッチスイッチの色が明るくなる
●タッチスイッチの作動表示灯があるものは、作動表示灯が点灯する

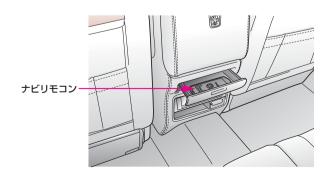
操作できないタッチスイッチは、灰色で表示され、操作できません。

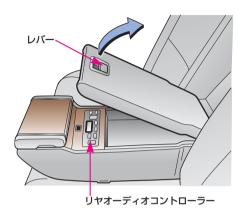
Ⅱ 構成機器について

リヤ エレクトロマルチビジョンは、ディスプレイ・リモコン・リヤオーディオコントローラーで構成されています。
ディスプレイとリモコンはリヤコンソールタワーに、リヤオーディオコントローラーはリヤセンターアームレストにあります。

リヤコンソールタワー上部

使用するときは、レバーを引いて開けます。
●格納するときは、ロック解除レバーを手前に引いてから、持ち上げます。

リヤコンソールタワー下部

ナビリモコンがプッシュオープンタイプの小物入れに収納されています。

リヤセンターアームレスト

使用するときは、レバーを引いて開けます。

Ⅲ ディスプレイ

ディスプレイ

リヤコンソールタワーにあります。

ここに7ページの各画面が映り、画面のタッチスイッチは、リモコンを使用して操作します。

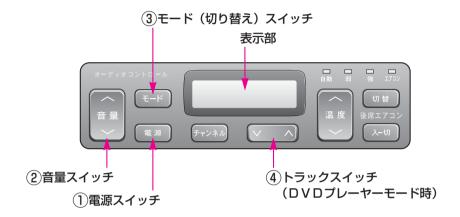
●ディスプレイに表示されているタッチスイッチに直接タッチしても、操作することはできません。

知 識

●液晶ディスプレイは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
●太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
●偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

Ⅳ リヤオーディオコントローラー

リヤオーディオコントローラー

リヤセンターアームレストにあります。

※その他のスイッチについては、**「センチュリー後席用取扱書」**をご覧ください。

知 識

ＤＶＤプレーヤーに異常が生じたときは、表示部に次の表示でプレーヤーの状態を知らせます。

●ディスクが汚れているときや、ディスクが裏表逆などで読み取りができないとき

「dVd　ERR1」

●プレーヤーに異常があるとき

「dVd　ERR3」
「dVd　ERR4」

●プレーヤーの温度異常を検出すると、表示部に次の表示が出て自動的にプレーヤーの機能が停止します。この場合、しばらくしてプレーヤーの温度が常温に復帰すると表示が消えて使用可能になります。

「WAIT」

電源の入れ方

①電源スイッチ
押すごとに、電源がＯＮとＯＦＦに切り替わります。

音量調整・モードの切り替え

②音量スイッチ
音量を調整することができます。
●音量を、
　●大きくするときはスイッチの︿側、
　●小さくするときはスイッチの﹀側、
　を押します。
●スイッチを押してすぐ（約1秒未満）に手を離すと、音量を1ステップずつ調整できます。
●スイッチを1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

③モード（切り替え）スイッチ
モードの切り替えをすることができます。
●電源がＯＮのときは、モードを切り替えることができます。
　●スイッチを押すごとに、「ＦＭ→テープ→ＣＤオートチェンジャー→ＤＶＤプレーヤー→デジタルテレビ→ＡＭ→ＳＷ（短波）→ＦＭ」の順にモードが切り替わります。

※ＤＶＤプレーヤー、デジタルテレビ以外のモードの操作については、**「センチュリー後席用取扱書」**の**「オーディオの使い方」**の項目をご覧ください。

知識
●テープ、ＣＤオートチェンジャー、ＤＶＤプレーヤーは使用可能な状態以外のときは、飛ばされて選択することができません。
●フロント エレクトロマルチビジョンでは、音声のみが切り替わり、画面は切り替わりません。

ＤＶＤプレーヤーの操作

④トラックスイッチ

■音楽用ＣＤを再生させているとき

曲の頭出しをすることができます。

●頭出しをしたい曲が、
- ●うしろにあるときはスイッチの∧側、
- ●前にあるときはスイッチの∨側、

を押します。

●表示部に曲番が表示されますので、希望の曲番を選びます。

■ＤＶＤビデオ・ＤＶＤオーディオ・ビデオＣＤを再生させているとき

ＤＶＤビデオ

チャプター番号を選択することができます。

●チャプター番号を、
- ●大きい方へ選択するときはスイッチの∧側、
- ●小さい方へ選択するときはスイッチの∨側、

を押します。

●表示部にチャプター番号が表示されますので、希望のチャプター番号を選びます。

ＤＶＤオーディオ・ビデオＣＤ

トラック番号を選択することができます。

●トラック番号を、
- ●大きい方へ選択するときはスイッチの∧側、
- ●小さい方へ選択するときはスイッチの∨側、

を押します。

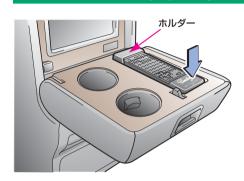
●表示部にトラック番号が表示されますので、希望のトラック番号を選びます。ＤＶＤビデオはディスクにより、表示されないことがあります。

●ディスクにより、画面に🚫マークが表示され、操作できないことがあります。
●ビデオＣＤはディスクにより、操作できなかったり、異なる作動をすることがあります。

V リモコン

使用する前に

リモコンには、ＤＶＤ・テレビリモコンとナビリモコンの2種類があります。

ＤＶＤ・テレビリモコンの取りはずし方

リモコンの「**押**」の位置を押すと、リモコンが起き上がり、ホルダーから取りはずすことができます。

ＤＶＤ・テレビリモコンの取りつけ方

リモコンをホルダーに取りつけ、「**押**」の位置を押すと、固定されます。

●リモコンは、ホルダーに取りつけたままでも、操作することができます。

ナビリモコンを使用する前に

はじめてリモコンを使用するときは、裏面の電池ケースから出ている絶縁シートを引き抜きます。

操作のしかた

リヤ エレクトロマルチビジョンの操作は、リモコンをディスプレイの受光部に向けて操作します。

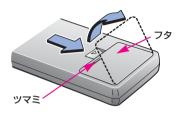
前席用リモコンと同時に操作をしないでください。誤操作の原因になります。

リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときにリモコンが運転席の足下に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

リモコンの取り扱いにはご注意ください。

●リモコンは、高温になる場所（パッケージトレイ上面など）に長時間、放置しないでください。
●リモコンを落としたり、衝撃をあたえないでください。
●リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
●リモコンを分解しないでください。
●受光部にリモコンを近づけないと操作できないときは、電池を交換してください。
●受光部に直接日光が当たると、リモコンの操作ができないことがあります。このときは、受光部の日光をさえぎってから操作してください。

DVD・テレビリモコンの電池の入れ方

1 リモコンの裏側のツマミを押しながら、フタを開けます。

2 単3形乾電池を、向きに注意して図のように入れます。

3 フタを閉めます。

注意 **電池の取り扱いにはご注意ください。**

- 電池の⊕極と⊖極は必ず正しい向きにして取りつけてください。
- 電池を交換するときは2個とも新品の同銘柄のものに交換してください。

ナビリモコンの電池を交換するには

電池を交換するときは、リチウム電池（ＣＲ2025）をセットしてください。

1 リモコンの裏面にある電池ケースを引き出します。

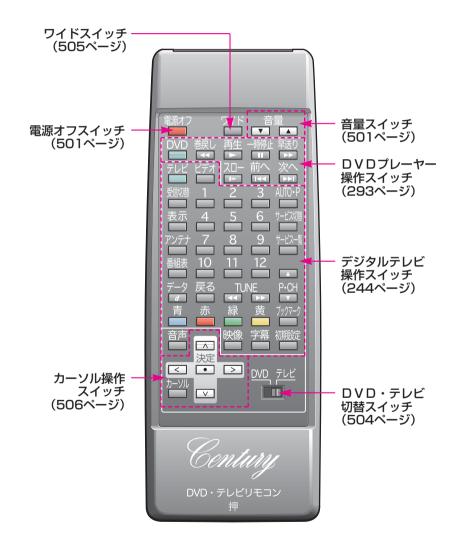
2 電池を入れ替えます。
●電池は⊕表示を上にしてセットしてください。

3 電池ケースを閉じます。

取りはずした電池と部品をお子さまに触らせないでください。
部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

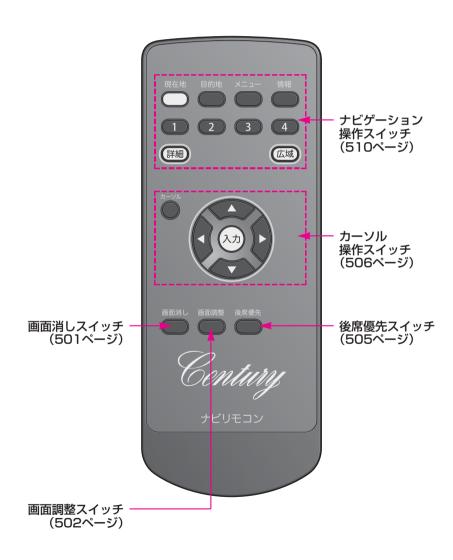
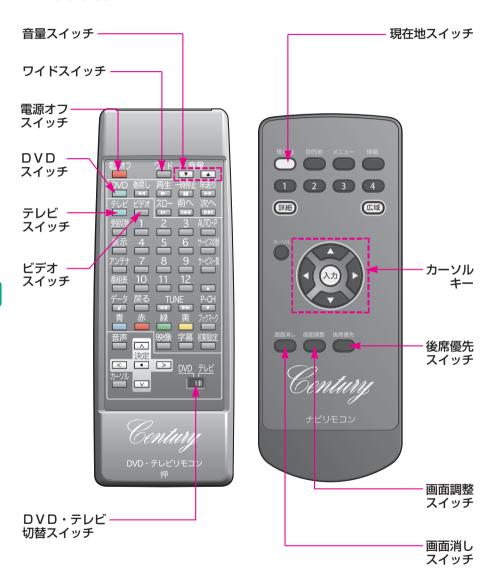
電池の⊕極と⊖極は必ず正しい向きにして取りつけてください。

DVD・テレビリモコン

リヤコンソールタワー上部にあります。

ナビリモコン

リヤコンソールタワー下部にあります。

基本操作スイッチ

音量スイッチ
ワイドスイッチ
電源オフ
スイッチ
ＤＶＤ
スイッチ
テレビ
スイッチ
ビデオ
スイッチ
ＤＶＤ・テレビ
切替スイッチ
現在地スイッチ
カーソル
キー
後席優先
スイッチ
画面調整
スイッチ
画面消し
スイッチ
DVD・テレビリモコン
ナビリモコン

画面を消すときは

ＤＶＤ・テレビリモコンの電源オフ、またはナビリモコンの画面消しを押します。

●再度、画面を表示させるには、各モードのスイッチを押します。

音量調整

音量を、

●大きくするときはＤＶＤ・テレビリモコンの音量スイッチの▲側、

●小さくするときはＤＶＤ・テレビリモコンの音量スイッチの▼側、

を押します。

スイッチを押してすぐ（約1秒未満）に手を離すと、音量を1ステップずつ調整できます。

スイッチを1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。

画質調整

画面の調整をしたいときは、以下の方法で行います。
17ページもあわせてご覧ください。

●ナビゲーションなどの画質調整画面例（昼画表示）

●ＤＶＤなどの画質調整画面例（昼画表示）

1 ナビリモコンの 画面調整 を押します。

2 画質調整画面で、ナビリモコンのカーソルキーの▲、または▼を押して、項目を選択します。
●画質調整画面の操作については、次項目「画質調整」をご覧ください。

3 画面調整 を押す、または約20秒以上操作しなかったときは、画質調整画面は自動的に解除されます。

画質調整

■色あい※
緑色を強くするときはナビリモコンのカーソルキーの▷、赤色を強くするときは◁を押します。

■色の濃さ※
色を濃くするときはナビリモコンのカーソルキーの▷、色を淡くするときは◁を押します。

■コントラスト
強くするときはナビリモコンのカーソルキーの▷、弱くするときは◁を押します。

■明るさ
明るくするときはナビリモコンのカーソルキーの▷、暗くするときは◁を押します。

※色合い、色の濃さは、ＤＶＤなどの映像を表示しているときに調整できます。
　ナビゲーション画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

知 識

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

ＤＶＤ・テレビ切替スイッチ

ＤＶＤプレーヤーの操作をするときはＤＶＤ側、デジタルテレビ／ビデオの操作をするときはテレビ側にします。

画面の切り替え

次の操作することにより、画面（モード）の切り替えをすることができます。

■現在地

ナビリモコンの 現在地 を押すと、現在地画面になります。
（ＧＰＳボイスナビゲーション・情報の操作方法は24、391ページをご覧ください。）

■デジタルテレビ

ＤＶＤ・テレビリモコンのＤＶＤ・テレビ切替スイッチがテレビ側のとき、 テレビ を押すと、デジタルテレビモードになります。
（デジタルテレビの操作方法は244ページをご覧ください。）

■ビデオ

デジタルテレビモードのとき、 ビデオ を押すと、ビデオモードになります。
ビデオ端子に接続した機器（ビデオなど）の映像を表示させることができます。
（ビデオ端子については23ページをご覧ください。）

■ＤＶＤプレーヤー

ＤＶＤ・テレビリモコンのＤＶＤ・テレビ切替スイッチがＤＶＤ側のとき、 ＤＶＤ を押すと、ＤＶＤプレーヤーモードになります。
（ＤＶＤプレーヤーの操作方法は293ページをご覧ください。）

ワイド画面モード切り替え

ワイド画面モードの切り替えについては、以下の方法で行います。
20ページもあわせてご覧ください。

デジタルテレビなどをご覧になっているとき、ＤＶＤ・テレビリモコンの ワイド を押すごとに、

の順にワイド画面モードが切り替わります。

後席優先モード

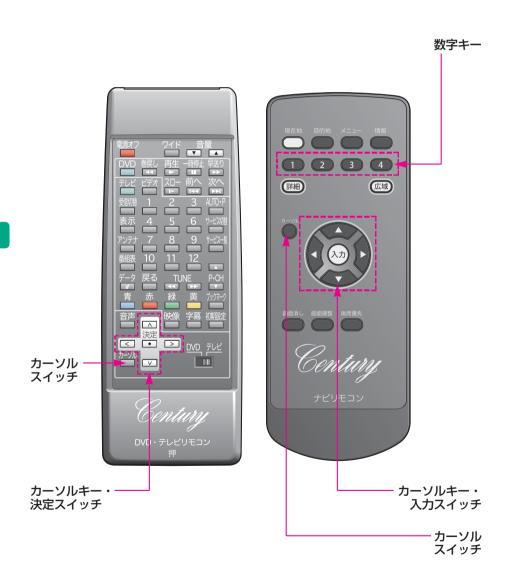
走行中は、安全上の配慮から操作できなくなる機能がありますが、後席優先モードをＯＮにすると、後席でのみすべての機能を操作することができます。

ナビリモコンの 後席優先 を押すごとに、後席優先モードがＯＮとＯＦＦに切り替わります。
●フロント エレクトロマルチビジョン本体のスイッチを押す、またはエンジン スイッチを“ ＬＯＣＫ ”にすると、後席優先モードは自動的にＯＦＦになります。

知 識

●走行中、後席優先モードがＯＮのときは、フロント エレクトロマルチビジョンには現在地画面が表示されます。
●停車中にフロント エレクトロマルチビジョンを操作すると、後席優先モードは自動的にＯＦＦになります。
●フロントとリヤで異なる画面を表示させているときは、後席優先モードをＯＮにすることはできません。

カーソル操作スイッチ

ディスプレイに表示されているタッチスイッチに直接タッチしても、操作することはできません。リモコンのカーソル操作スイッチを使用して、ディスプレイに表示されているタッチスイッチの操作をします。

タッチスイッチの操作

タッチスイッチを操作するには、以下の種類があります。
いずれの場合もカーソル操作スイッチを使用して操作します。

カーソルバーでの選択

カーソルバー

1 ナビリモコンの カーソル を押します。
- ●ディスプレイに ◇ （**カーソルバー**）が表示されます。
- ●ナビリモコンのカーソルキーを押しても、カーソルバーが表示されます。

2 ナビリモコンのカーソルキーを押して、操作するタッチスイッチの場所にカーソルバーを動かします。

3 ナビリモコンの 入力 を押します。

知 識

カーソルバーが表示されているときに、カーソル を押すと、カーソルバーが表示されなくなります。

タッチスイッチの選択

まわりがオレンジ色（ＤＶＤプレーヤー）、黄色（デジタルテレビ）で囲まれているタッチスイッチがある画面を操作するときは、以下の方法で行います。

●タッチスイッチのまわりのオレンジ色、黄色の枠は、そのタッチスイッチが選択されていることを表わします。

〈例：ＤＶＤ操作画面の場合〉

このタッチスイッチが
選択されています。

1 ＤＶＤ・テレビリモコンのカーソルキーを押して、操作したいタッチスイッチを選択します。

2 ＤＶＤ・テレビリモコンの 決定 を押します。

メニュー項目の選択

ＤＶＤのディスク独自のメニュー項目、情報画面を操作するときは、以下の方法で行います。
ＤＶＤプレーヤーの操作ではＤＶＤ・テレビリモコンを、情報画面ではナビリモコンを使用します。

ＤＶＤ・テレビリモコン

〈ＤＶＤのディスク独自のメニュー項目〉

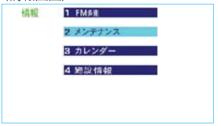
1 ＤＶＤ・テレビリモコンのカーソルキーを押して、メニュー項目を選択します。

2 ＤＶＤ・テレビリモコンの 決定 を押します。

ナビリモコン

〈情報画面〉

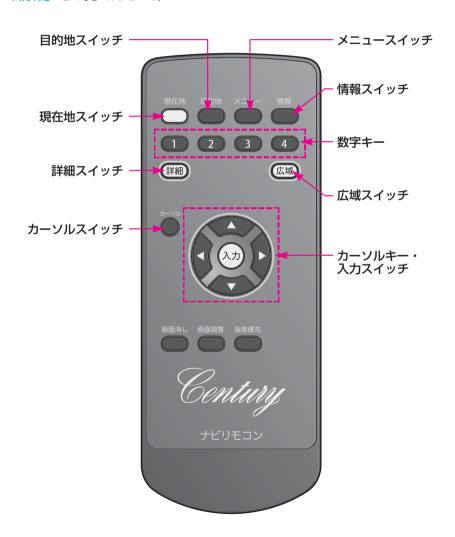
■「カーソルバー」での操作

1 ナビリモコンのカーソルキーを押して、メニュー項目を選択します。

2 ナビリモコンの 入力 を押します。

■「数字キー」での操作

ナビリモコンの数字キー（ 1 〜 4 ）を押すと、押した数字キーの番号の項目の画面が表示されます。

ＧＰＳボイスナビゲーション・情報

ＧＰＳボイスナビゲーション・情報の操作をすることができます。
（ここではリモコンを使用した操作のみを記載しています。表示された画面の操作方法は24ページ「ＧＰＳボイスナビゲーション」・391ページ「情報」をご覧ください。）

現在地の表示

現在地以外の地図やメニュー画面などを表示させているときは、
現在地 を押すと、現在地画面にもどります。

●現在地画面で、 現在地 を押すと、現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

 知識

地図ＤＶＤ－ＲＯＭに情報のない路線名・路線番号は表示されません。

地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図～1/5千図まで希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

地図の範囲を、広くするときは 広域
狭くするときは 詳細 を押します。

●スイッチを押すごとに、１段階ずつ切り替わります。

● 広域 または、 詳細 を約１秒以上押し続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。

地図の移動

地図を移動させたいときは、以下の方法で行います。

1 地図を表示させているときに、 カーソル を押します。

●ディスプレイに （**カーソルバー**）が表示されます。

●カーソルキーを押しても、カーソルバーが表示されます。

2 カーソルキーを押して、地図の中心にしたい位置にカーソルバーを動かします。

3 タッチスイッチ以外の位置で、 入力 を押すと、その地点が地図の中心になります。

知 識

カーソルバーが表示されているときに、 カーソル を押すと、カーソルバーが表示されなくなります。

メニュー画面の表示

メニュー を押すと、メニュー画面が表示されます。

●この画面から、ナビゲーションの各機能の設定ができます。

目的地の設定

目的地 を押すと、目的地設定画面が表示されます。

●この画面から、目的地を設定することができます。

情報画面の表示

情報 を押すと、情報画面が表示されます。

20秒以上操作しなかったときは、情報画面は自動的に解除されます。

●この画面からエレクトロマルチビジョンの各機能の設定ができます。

デジタルテレビ・ＤＶＤプレーヤー

●デジタルテレビの操作方法は244ページ「デジタルテレビ」をご覧ください。
●ＤＶＤプレーヤーの操作方法は293ページ「ＤＶＤプレーヤー」をご覧ください。

さくいん

あ

い

う

え

お

か

き

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

に

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

や

ゆ

よ

り

る

れ

わ

ＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりＶＩＣＳ情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）ＶＩＣＳサービス
　当センターが自動車を利用中の加入者のために、ＦＭ多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）ＶＩＣＳサービス契約
　当センターからＶＩＣＳサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
　当センターとＶＩＣＳサービス契約を締結した者

（4）ＶＩＣＳデスクランブラー
　ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（ＶＩＣＳサービスの種類）

第4条　ＶＩＣＳサービスには､次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
　文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
　簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
　車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（ＶＩＣＳサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のＶＩＣＳサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、ＶＩＣＳデスクランブラー１台毎に1のＶＩＣＳサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　ＶＩＣＳサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりＶＩＣＳサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　ＶＩＣＳサービスは、ＶＩＣＳ対応ＦＭ受信機（ＶＩＣＳデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（ＶＩＣＳサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、ＶＩＣＳサービスの種類に対応したＶＩＣＳ対応ＦＭ受信機を購入することにより、第4条に示すＶＩＣＳサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がＶＩＣＳサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がＶＩＣＳデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するＶＩＣＳデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条

1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、ＶＩＣＳサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、ＶＩＣＳサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、ＶＩＣＳサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、ＶＩＣＳサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するＶＩＣＳサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するＶＩＣＳサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、ＶＩＣＳサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりＶＩＣＳサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するＶＩＣＳサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりＶＩＣＳサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、ＶＩＣＳサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、ＶＩＣＳサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　ＶＩＣＳサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるＶＩＣＳサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、ＶＩＣＳサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表 視聴料金]

視聴料金：315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2006年6月1日変更時のものを掲載しています。

センチュリー
エレクトロマルチビジョン

セ-86

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター

全国共通・フリーコール

フリーコール **0800-700-7700**

オープン時間　365日　9:00～18:00

所在地　〒450-0002　名古屋市中村区名駅四丁目10の27
第二豊田ビル西館7階

「個人情報保護方針」については、
http://www.toyota.co.jpにて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社

http://toyota.jp

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷　NAB-2011年７月25日　●発行 -2011年８月１日　初版

M 40444
01999－40444